平成２９年度第１回有識者会議	資料５
平成 29 年 6 月 22 日	

かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略

アクションプラン進行管理表

（H29.３月末現在）（案）

かすみがうら市　地方創生・事業推進担当

かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン進行管理表《目次》

●表の見方

◆表の見方 …… 1

●達成状況等一覧

◆成果目標達成状況 …… 5

◆施策の重要業績評価指標（KPI）達成状況及び取り組み進捗状況（平成 28 年度）…… 6

◆達成（進捗）状況一覧 …… 10

◆達成（進捗）状況一覧〈施策別一覧〉（施策全体） …… 12

◆達成（進捗）状況一覧〈施策別一覧〉（基本目標１） …… 13

◆達成（進捗）状況一覧〈施策別一覧〉（基本目標２） …… 13

◆達成（進捗）状況一覧〈施策別一覧〉（基本目標３） …… 14

◆達成（進捗）状況一覧〈施策別一覧〉（基本目標４） …… 14

◆施策推進部署別一覧 …… 15

●基本目標１：かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する

◆第１次産業の活性化

〇1-1-1　農業公社等の設立支援 …… 31

〇1-1-2　法人（企業等）の参入支援 …… 35

〇1-1-3　新規就農・就漁者への支援 …… 39

〇1-1-4　地産地消の推進 …… 43

◆６次産業化の推進

〇1-2-1　販路の拡大 …… 47

〇1-2-2　付加価値のある加工品の開発 …… 51

◆新たな企業進出の支援

〇1-3-1　積極的な企業誘致 …… 55

〇1-3-2　窓口の一本化 …… 59

〇1-3-3　都市計画区域の見直し …… 63

〇1-3-4　インフラ整備 …… 67

◆創業・起業の支援

〇1-4-1　創業・起業の推進 …… 71

◆就業環境の改善促進

〇1-5-1　女性の活躍できる場づくり …… 79

●基本目標２：地域の魅力を磨き新しい人の流れをつくる

◆スポーツによる地域活性化

〇2-1-1　自然環境を活かしたスポーツイベント開催 …… 87

〇2-1-2　ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実 …… 95

◆体験型観光の推進

〇2-2-1　体験型観光の推進 …… 99

〇2-2-2　新たな「食」メニューの開発 …… 103
〇2-2-3　リピーターの確保 …… 107
◆Ｕターン定住の推進
〇2-3-1　子どもたちへ地域の魅力（良さ）を伝える …… 111
〇2-3-2　住居の確保 …… 115

●基本目標３：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
◆結婚・子育て支援の充実
〇3-1-1　婚活支援 …… 119
〇3-1-2　成婚定住者への助成 …… 127
〇3-1-3　妊婦等への助成 …… 131
〇3-1-4　子育て支援の充実 …… 135
◆教育環境の充実
〇3-2-1　特色ある教育の実施 …… 143
〇3-2-2　学費負担の軽減 …… 151
〇3-2-3　非行防止と健全育成の推進 …… 155
●基本目標４：安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する
◆コミュニティの活性化
〇4-1-1　コミュニティ活動の拠点の確保及び拡充 …… 163
〇4-1-2　地縁的コミュニティの活性化 …… 167
◆新たな拠点の整備
〇4-2-1　神立駅周辺の開発 …… 175
〇4-2-2　千代田石岡インターチェンジ周辺等の活用 …… 179
〇4-2-3　情報発信のための拠点づくり …… 183
〇4-2-4　廃校の活用 …… 187
◆災害に備えたまちづくり
〇4-3-1　防災体制の拡充 …… 191
〇4-3-2　災害マップづくり（危険箇所・災害発生時の避難等） …… 195
◆環境に配慮した暮らしやすい環境づくり
〇4-4-1　住居の確保（再掲） …… 199
〇4-4-2　エネルギーの地産地消 …… 203
〇4-4-3　田舎暮らしの良さ、自然との触れ合いの場の提供 …… 207
◆公共交通ネットワーク等の充実
〇4-5-1　通学しやすい環境づくり …… 211
〇4-5-2　生活利便性の向上 …… 215

【表の見方】

基本目標１	達　成　度 25%　50%　75%	目標値（H31）
かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	20.0% 6 人	新規雇用者数　30 人 （現状値：0 人）
	58.3% 7 人	新規就農・就漁者数　12 人(年 3 人) （現状値：3 人）
	35.4% 11 品目	湖山の宝推奨品登録数　31 品目 （現状値：11 品目(11 団体 18 品目)）

基本目標２	達　成　度 25%　50%　75%	目標値（H31）
地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	98.4% 301,990　人	交流人口　307,000 人 （現状値：278,647 人＋28,353 人増）

『上段』
◇基本目標の成果指標に対する達成度を割合で表示している。

『下段』
◇実績値を表示している。

第１次産業の活性化	25% 50% 75%	KPI（H31）
1-1-1 農業公社等の設立支援 取り組み進捗状況	50.0%	農業公社等の設立に向けた取り組み 進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
1-1-2 法人(企業等)の参入支援 取り組み進捗状況	50.0%	1 団体以上の参入
1-1-3 新規就農・就漁者への支援 取り組み進捗状況	58.3% 7 人 50.0%	新規就農・就漁者数　12 人増
1-1-4 地産地消の推進 取り組み進捗状況	40.0%	特産品認証店　4 店舗

『上段』
◇KPI(H31)に対する達成度を割合で表示している。

『中段』
◇実績値を表示している。

『下段』
◇平成 28 年度の取り組みに対する進捗度を割合で表示している。

施策コード	1-3-2
基本目標	かすみがうら市の特色を生かして、安定した雇用を創出する
施策	新たな企業進出の支援
施策名	**窓口の一本化**
施策推進部署	地方創生・事業推進担当
関連部署	
現在の課題	利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を生かした企業誘致が十分に行われていない
必要	情報発信を行う。また、進出希望企業に対して意向を把握すると　相談や支 。 査 ・立　　ＰＲ（ポスター・チラシ・ＨＰ等）

基本目標-施策-施策名

●ＫＰＩ（H31）に対する達成度を割合で表示している。
●達成度の説明は、その割合とした説明を記載している。

●年度別の計画の概要を表示している。

年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
調査・研究					
検討					
実施					
評価					

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	50.0%			コンシェルジュ１人
年度	H28			
結果	１人配置　（兼務）			
達成度説明	H28…1 人配置をしているが、兼務であるため 50.0%とした。			

項目	25%	50%	75%
H27 進捗度	75.0%		
H28 進捗度	87.5%		
H29 進捗度			
H30 進捗度			
H31 進捗度			

●取り組みに対する年度の進捗度を割合で表示している。

●その年度に実施した取り組みと取り組み予定を記載している。
●今回は、平成 29 年度まで表示している。

進捗状況	年度	取り組み実	組み予定
	H27	・ＰＲパンフレット作成 ・○○○○○	
	H28	・コンシェルジュ配置 ・○○○○○	・首都圏等の企業への積極的な誘致活動
	H29		
	H30		

・コンシェルジュ配置
・企業の意向調査
・立地場所のＰＲ（ポスター・チラシ・ＨＰ等）

	H31		
説明	H27…○○○○○（地方創生先行型交付金）に取り組んだため 100.0%とした。 H28…○○○に取り[illegible]だが、○○○が未実施となっているため 87.5%とした。（3[illegible]		

●総合戦略期間内の取り組み項目の工程概要を表示している。

項　目					平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6				4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
実施																
企業訪問																
企業立地実務研修																
○○○○																

●その年度の取り組み計画に対する進捗度を割合で表示している。
●平成 27 年度については、先行型交付金活用事業のみ記載している。
●説明は、その割合とした説明を記載している。

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果			
平成２７年度	【地方創生先行型交付金活用】	[内容] ・企業誘致やシティプロモーションと[illegible]てのＰＲ用パンフレットの作成 ・○○○○○ [結果] ・ＰＲ用パンフレット作成 ・○○○○○	0.0%	[illegible]企業の情報[illegible]換の場づくり	
平成２８年度	[illegible]等の[illegible]集を行い、あっ旋やマッチング[illegible] ・首都圏等の企業に対し、積極的な誘致に向けた取組みを行う。	[内容] ・コンシェルジュ配置１名 ・○○○○○ [結果] ・コンシェルジュ配置１名(兼務) ・○○○○○	50.0%		
平成２９年度	・専任のコンシェルジュを配置し、企業立地や創業等の相談をできるよう体制づくりを行う。 ・○○○○○				
平成３０年度					
平成３１年度					

●ＫＰＩ（H31）に対する達成度を割合で表示している。
●評価をしない場合には、―で表示している。

●平成 28 年度の状況（見込含む）を記載している。
●平成 29 年度取組計画については、現時点での計画を記載している。

【成果目標達成状況】

基本目標１	達　成　度（25%　50%　75%）	目標値（H31）
かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	20.0% 6 人	新規雇用者数　30 人 （現状値：0 人）
	75.0% 9 人	新規就農・就漁者数　12 人(年 3 人) （現状値：3 人）
	54.8% 17 品目	湖山の宝推奨品登録数　31 品目 （現状値：11 品目(11 団体 18 品目)）

基本目標２	達　成　度（25%　50%　75%）	目標値（H31）
地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	96.9% 297,456　人	交流人口　307,000 人 （現状値：278,647 人＋28,353 人増）

基本目標３	達　成　度（25%　50%　75%）	目標値（H31）
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	92.6% 287 人　（暫定値）	出生数　310 人 （現状値：308 人）

基本目標４	達　成　度（25%　50%　75%）	目標値（H31）
安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する		都市基盤満足度　15%
		居住環境満足度　30%
		住みやすさ　50%
	77.0% 0.77	転入者数／転出者数(25～44 歳)　1.0 （現状値：0.80）

※平成 27 年度実績

【施策の重要業績評価指標（KPI）達成状況及び取り組み進捗状況（平成 28 年度）】

(1)　基本目標１【かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

第１次産業の活性化	25% 50% 75%	KPI（H31）
1-1-1 農業公社等の設立支援		農業公社等の設立に向けた取り組み 進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
取り組み進捗状況	66.7%	
1-1-2 法人(企業等)の参入支援	200% 2 団体	1 団体以上の参入
取り組み進捗状況	75.0%	
1-1-3 新規就農・就漁者への支援	75.0% 9 人	新規就農・就漁者数　12 人増
取り組み進捗状況	60.0%	
1-1-4 地産地消の推進		特産品認証店　4 店舗
取り組み進捗状況	57.1%	
６次産業化の推進	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
1-2-1 販路の拡大	50.0 % 3,113 人	設備　1 か所 交流人口　2,000 人(交流イベント等参加者)
取り組み進捗状況	60.0%	
1-2-2 付加価値のある加工品の開発	40.0% 8 品目	新商品　20 品目
取り組み進捗状況	60.0%	
新たな企業進出の支援	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
1-3-1 積極的な企業誘致	25.0 % 本社以外　1 社	本社　1 社・本社以外　1 社・新規雇用 30 人 新たな設備投資をする企業数　5 社
取り組み進捗状況	100.0%	
1-3-2 窓口の一本化	50.0 % 1 人 (兼務)	コンシェルジュ　1 人
取り組み進捗状況	90.0%	
1-3-3 都市計画区域の見直し		工専地域　10 ㌶拡大
取り組み進捗状況	100.0%	

1-3-4 インフラ整備 取り組み進捗状況	50.0%	スマートインター設置に向けた取り組み進捗率50%(方向性・取り組みの検討)・新規参入企業1社
創業・起業の支援	25% 50% 75%	**KPI（H31）**
1-4-1 創業・起業の推進 取り組み進捗状況	37.5% 21社 100.0%	創業・起業　56社
就業環境の改善促進	25% 50% 75%	**KPI（H31）**
1-5-1 女性の活躍できる場づくり 取り組み進捗状況	66.7%	託児所設置個所数　5か所

(2)　基本目標２【地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる】

スポーツによる地域活性化	25% 50% 75%	**KPI（H31）**
2-1-1 自然環境を活かしたスポーツイベント開催 取り組み進捗状況	3.4% 190人 66.7%	交流人口　5,600人増加 講座開講　8回・イベント開催　4回
2-1-2 ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実 取り組み進捗状況	60.0%	施設1か所
体験型観光の推進	25% 50% 75%	**KPI（H31）**
2-2-1 体験型観光の推進 取り組み進捗状況	16.1% 161人 62.5%	体験者数　1,000人
2-2-2 新たな「食」メニューの開発 取り組み進捗状況	25.0%	新規作成　5食(種類)
2-2-3 リピーターの確保 取り組み進捗状況	9.1% 91件 60.0%	登録者数　1,000人

Ｕターン定住の推進	25% 50% 75%	KPI（H31）
2-3-1 子どもたちへ地域の魅力(良さ)を伝える		18 歳定住率　維持
取り組み進捗状況	100.0%	
2-3-2 住居の確保	20.0% 4 件	空き家バンク成約数　20 件
取り組み進捗状況	60.0%	

(3)　基本目標３【若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

結婚・子育て支援の充実	25% 50% 75%	KPI（H31）
3-1-1 婚活支援		成婚定住者数　10 組
取り組み進捗状況	66.7%	
3-1-2 成婚定住者への助成		
取り組み進捗状況	50.0%	
3-1-3 妊婦等への助成		満足度・住みやすさ　50% 都市公園設置に向けた取り組み進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
取り組み進捗状況	100.0%	
3-1-4 子育て支援の充実		
取り組み進捗状況	62.5%	
教育環境の充実	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
3-2-1 特色ある教育の実施		6 歳～23 歳人口割合　16.8%の維持
取り組み進捗状況	71.4%	
3-2-2 学費負担の軽減		
取り組み進捗状況	50.0%	
3-2-3 非行防止と健全育成の推進		地域見守り隊　3 団体
取り組み進捗状況	80.0%	

(4)　基本目標４【安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

コミュニティの活性化	25% 50% 75%	KPI（H31）
4-1-1 コミュニティ活動の拠点の確保および拡充	145.0% 58 人	地域のリーダー育成　40 人
取り組み進捗状況	33.3%	
4-1-2 地縁的コミュニティの活性化	145.0% 58 人	
取り組み進捗状況	100.0%	
新たな拠点の整備	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
4-2-1 神立駅周辺の開発		用途区域の見直し　1 個所 神立駅を中心とした住宅用地面積　5 ﾍｸﾀｰﾙ増
取り組み進捗状況	66.7%	
4-2-2 千代田石岡インターチェンジ周辺等の活用		拠点整備に向けた取り組み 進捗率 50%（方向性・取り組みの検討）
取り組み進捗状況	100.0%	
4-2-3 情報発信のための拠点づくり		
取り組み進捗状況	50.0%	
4-2-4 廃校の活用	16.7% 1 箇所	6 箇所
取り組み進捗状況	100.0%	
災害に備えたまちづくり	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
4-3-1 防災体制の拡充	15.0% 自主活動　6 団体	民間企業消防協力隊　5 団体 自主活動実施団体　20 団体
取り組み進捗状況	83.3%	
4-3-2 災害マップづくり（危険箇所・災害発生時の避難等）		マップ作成コミュニティ　20 団体
取り組み進捗状況	87.5%	
環境に配慮した暮らしやすい環境づくり	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
4-4-1 住居の確保（再掲）	20.0% 4 件	空き家バンク成約数　20 件
取り組み進捗状況	60.0%	

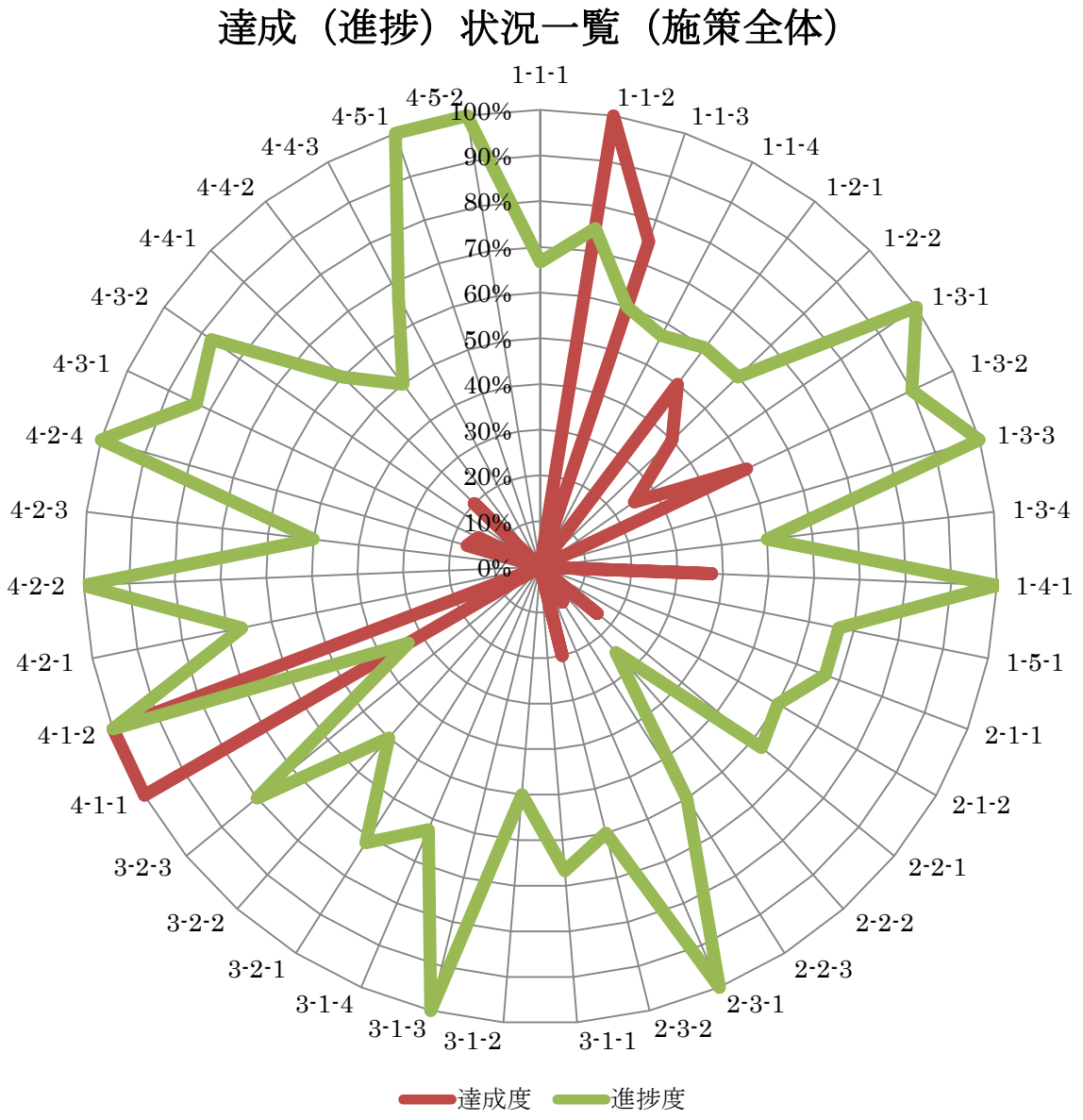
4-4-2 エネルギーの地産地消 取り組み進捗状況	50.0%	再生可能エネルギー施設　1ヵ所 実験地域の設定　1ヵ所
4-4-3 田舎暮らしの良さ、自然との触れ合いの場の提供 取り組み進捗状況	66.7%	補助件数　12件
公共交通ネットワーク等の充実	**25%　50%　75%**	**KPI（H31）**
4-5-1 通学しやすい環境づくり 取り組み進捗状況	100.0%	6歳～23歳人口割合　16.8%の維持(再掲)
4-5-2 生活利便性の向上 取り組み進捗状況	100.0%	新規バス路線　1路線新設

【達成・進捗状況一覧】

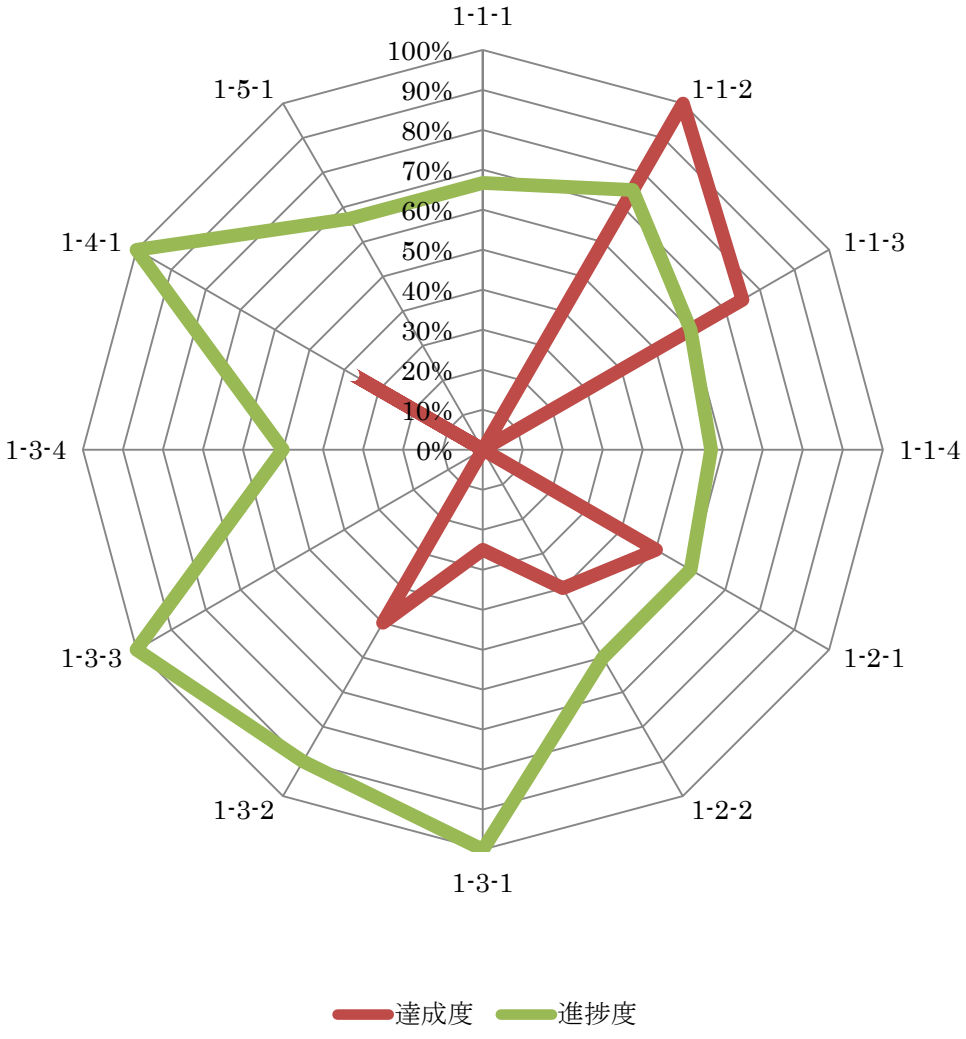
達成(進捗)度	成果目標		ＫＰＩ(H31)		施策の取組(H28)	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
0%			２３件	５９．０%		
1%～10%			２件	５．１%		
11%～20%	１件	１１．１%	５件	１２．８%		
21%～30%			１件	２．６%	１件	２．６%
31%～40%			２件	５．１%	１件	２．６%
41%～50%			２件	５．１%	５件	１２．８%
51%～60%	１件	１１．１%			８件	２０．５%
61%～70%					８件	２０．５%
71%～80%	２件	２２．２%	１件	２．６%	３件	７．７%
81%～90%					３件	７．７%
91%～100%	２件	２２．２%	３件	７．７%	１０件	２５．６%
その他	３件	３３．３%				
合　　計	９件		３９件		３９件	

1-1-1 農業公社等の設立支援	2-3-2 住居の確保
1-1-2 法人(企業等)の参入支援	3-1-1 婚活支援
1-1-3 新規就農・就漁者への支援	3-1-2 成婚定住者への助成
1-1-4 地産地消の推進	3-1-3 妊婦等への助成
1-2-1 販路の拡大	3-1-4 子育て支援の充実
1-2-2 付加価値のある加工品の開発	3-2-1 特色ある教育の実施
1-3-1 積極的な企業誘致	3-2-2 学費負担の軽減
1-3-2 窓口の一本化	3-2-3 非行防止と健全育成の推進
1-3-3 都市計画区域の見直し	4-1-1 コミュニティ活動の拠点の確保および拡充
1-3-4 インフラ整備	4-1-2 地縁的コミュニティの活性化
1-4-1 創業・起業の推進	4-2-1 神立駅周辺の開発
1-5-1 女性の活躍できる場づくり	4-2-2 千代田石岡インターチェンジ周辺等の活用
2-1-1 自然環境を活かしたスポーツイベント開催	4-2-3 情報発信のための拠点づくり
2-1-2 ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実	4-2-4 廃校の活用
2-2-1 体験型観光の推進	4-3-1 防災体制の拡充
2-2-2 新たな「食」メニューの開発	4-3-2 災害マップづくり
2-2-3 リピーターの確保	4-4-1 住居の確保(再掲)
2-3-1 子どもたちへ地域の魅力(良さ)を伝える	4-4-2 エネルギーの地産地消
	4-4-3 田舎暮らしの良さ、自然との触れ合いの場の提供
	4-5-1 通学しやすい環境づくり
	4-5-2 生活利便性の向上

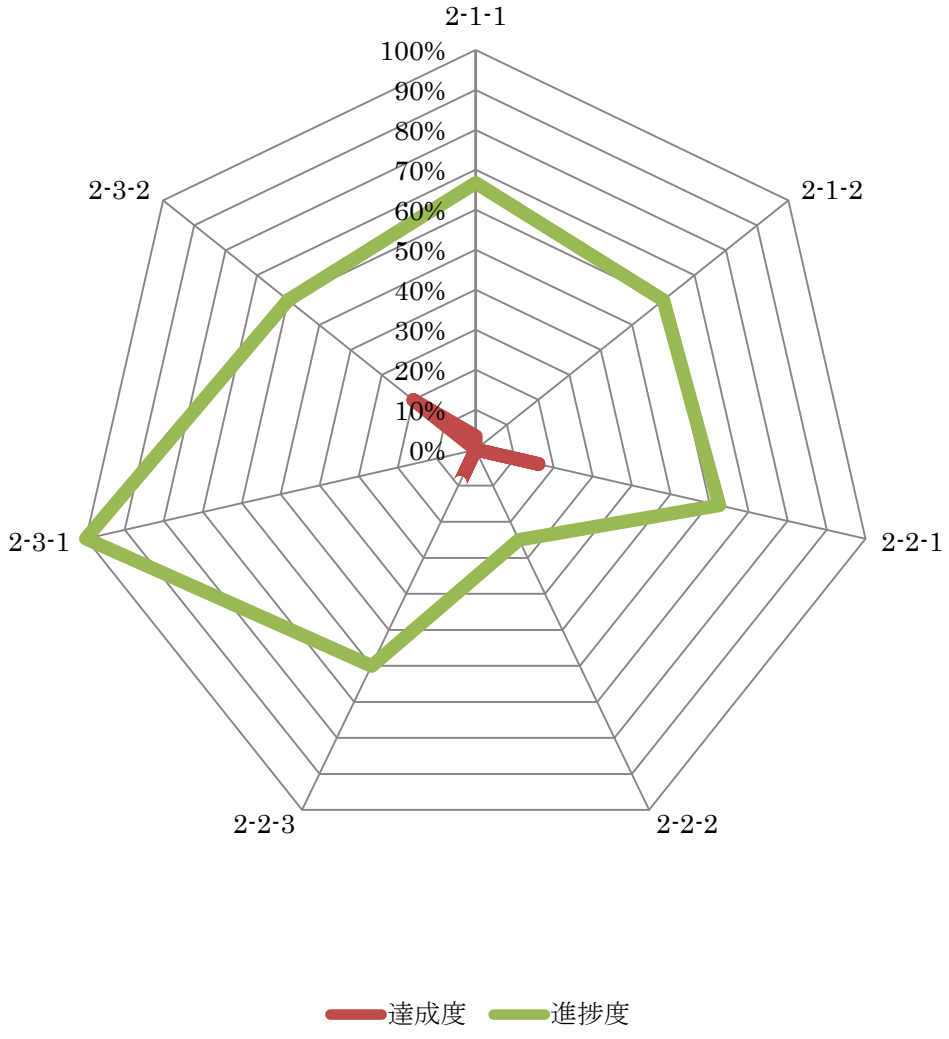
＜施策別一覧＞


達成（進捗）状況一覧（施策全体）
1-1-1
1-1-2
1-1-3
1-1-4
1-2-1
1-2-2
1-3-1
1-3-2
1-3-3
1-3-4
1-4-1
1-5-1
2-1-1
2-1-2
2-2-1
2-2-2
2-2-3
2-3-1
2-3-2
3-1-1
3-1-2
3-1-3
3-1-4
3-2-1
3-2-2
3-2-3
4-1-1
4-1-2
4-2-1
4-2-2
4-2-3
4-2-4
4-3-1
4-3-2
4-4-1
4-4-2
4-4-3
4-5-1
4-5-2
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
達成度
進捗度

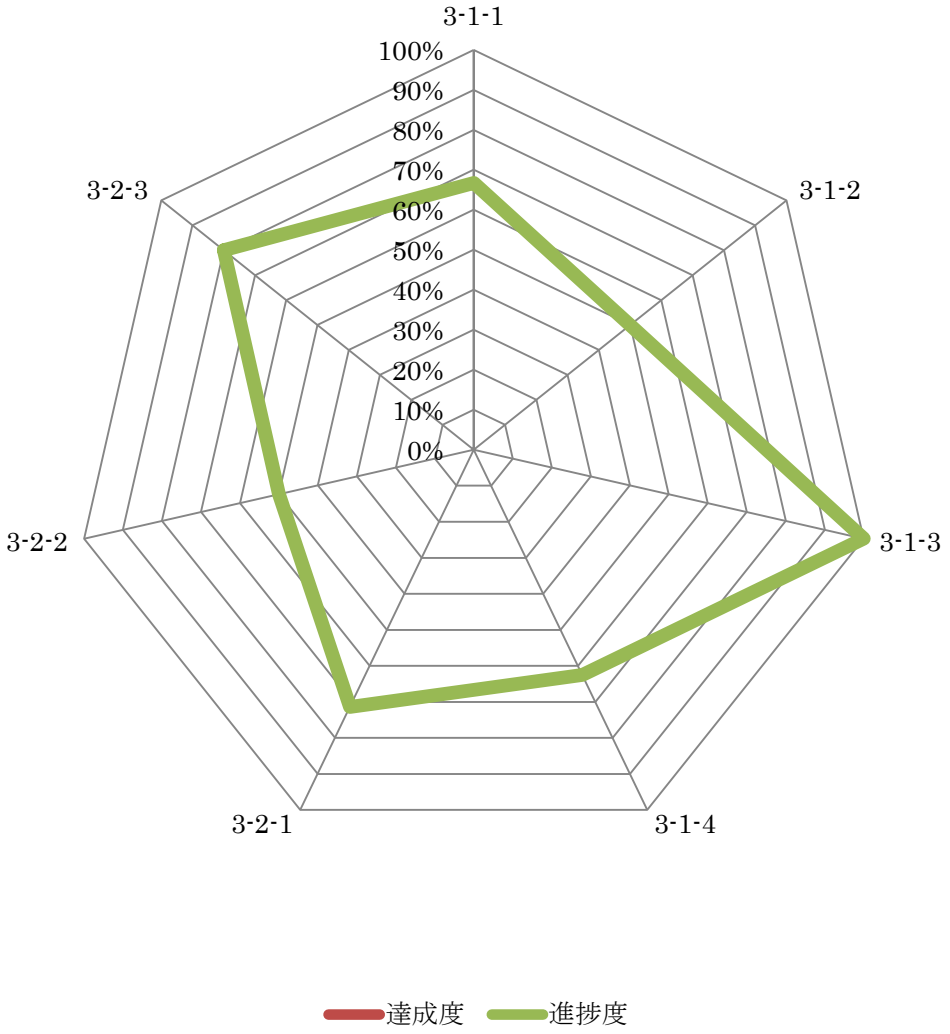
達成（進捗）状況一覧（基本目標１）



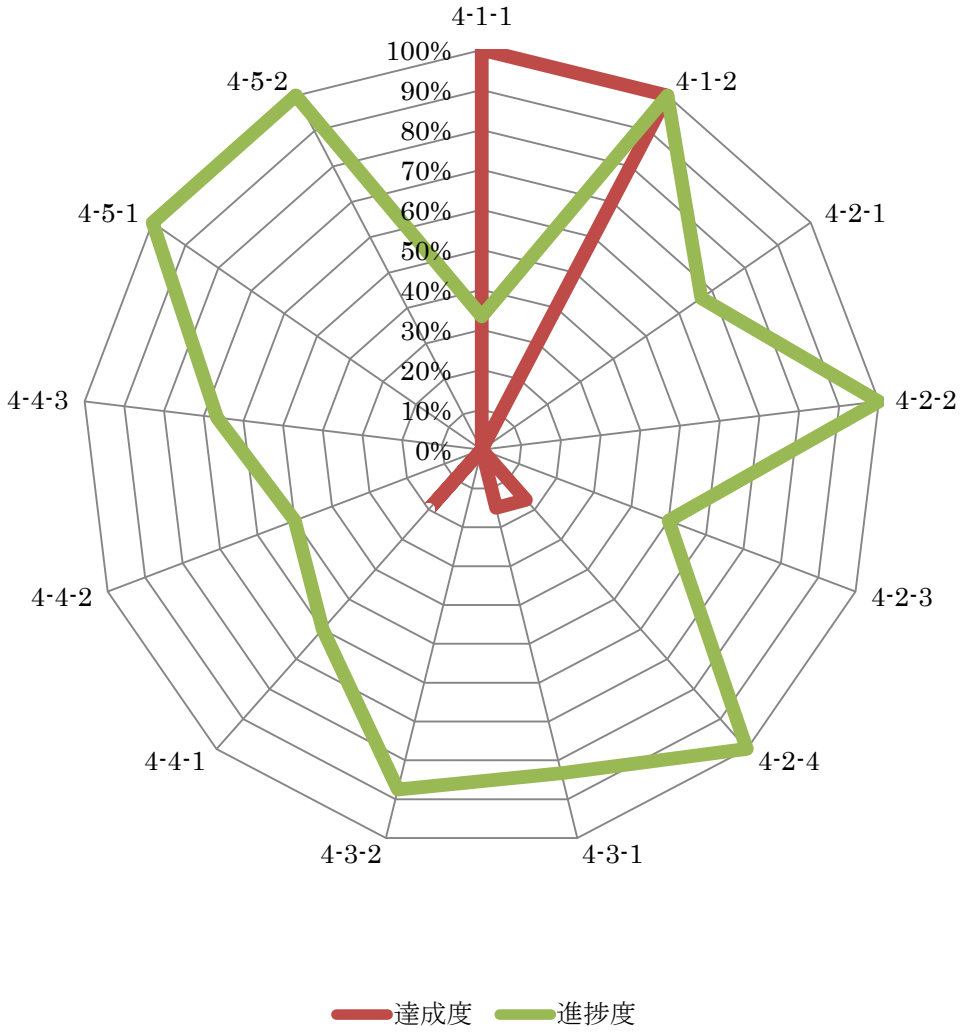
達成（進捗）状況一覧(基本目標２）



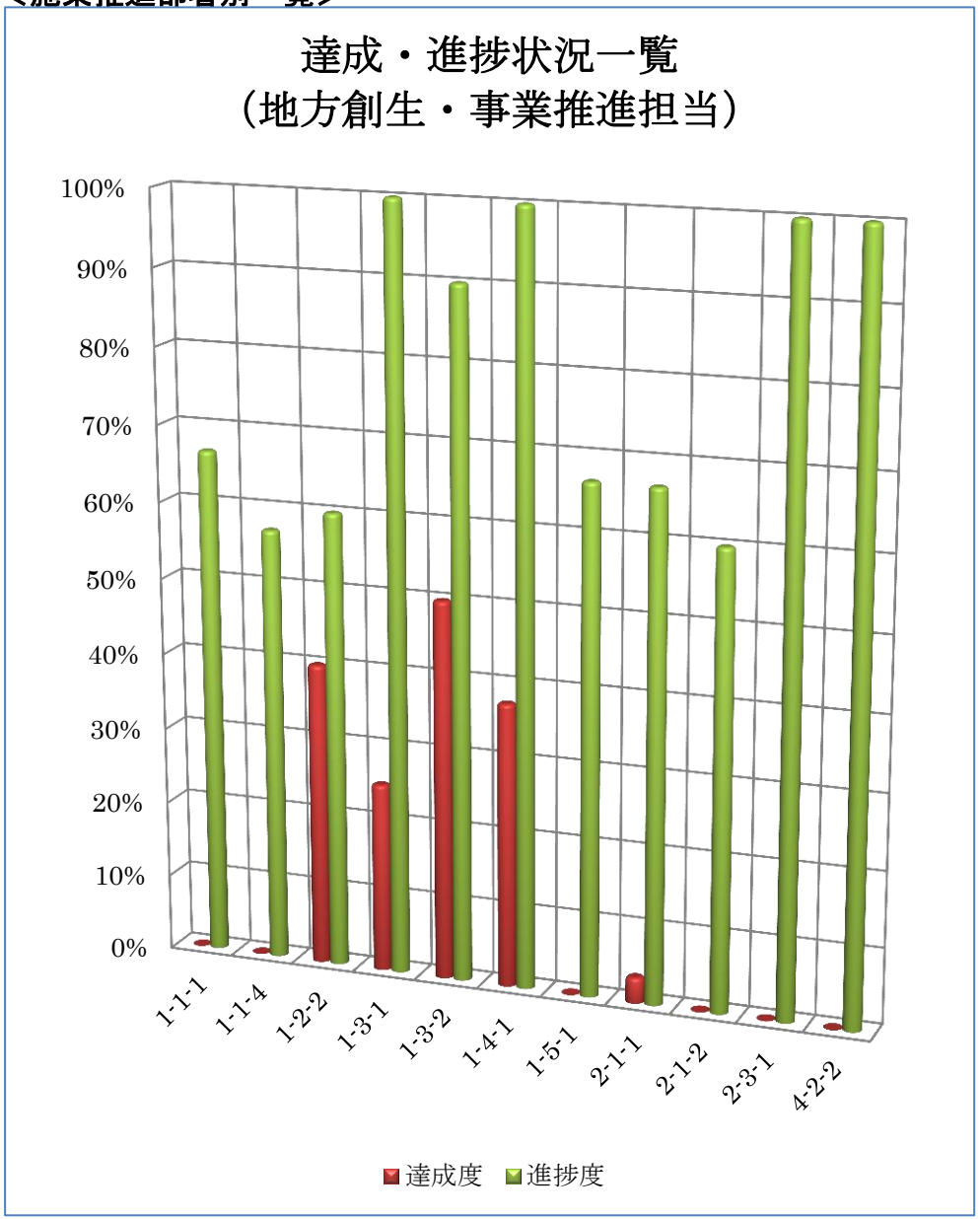
達成（進捗）状況一覧（基本目標３）

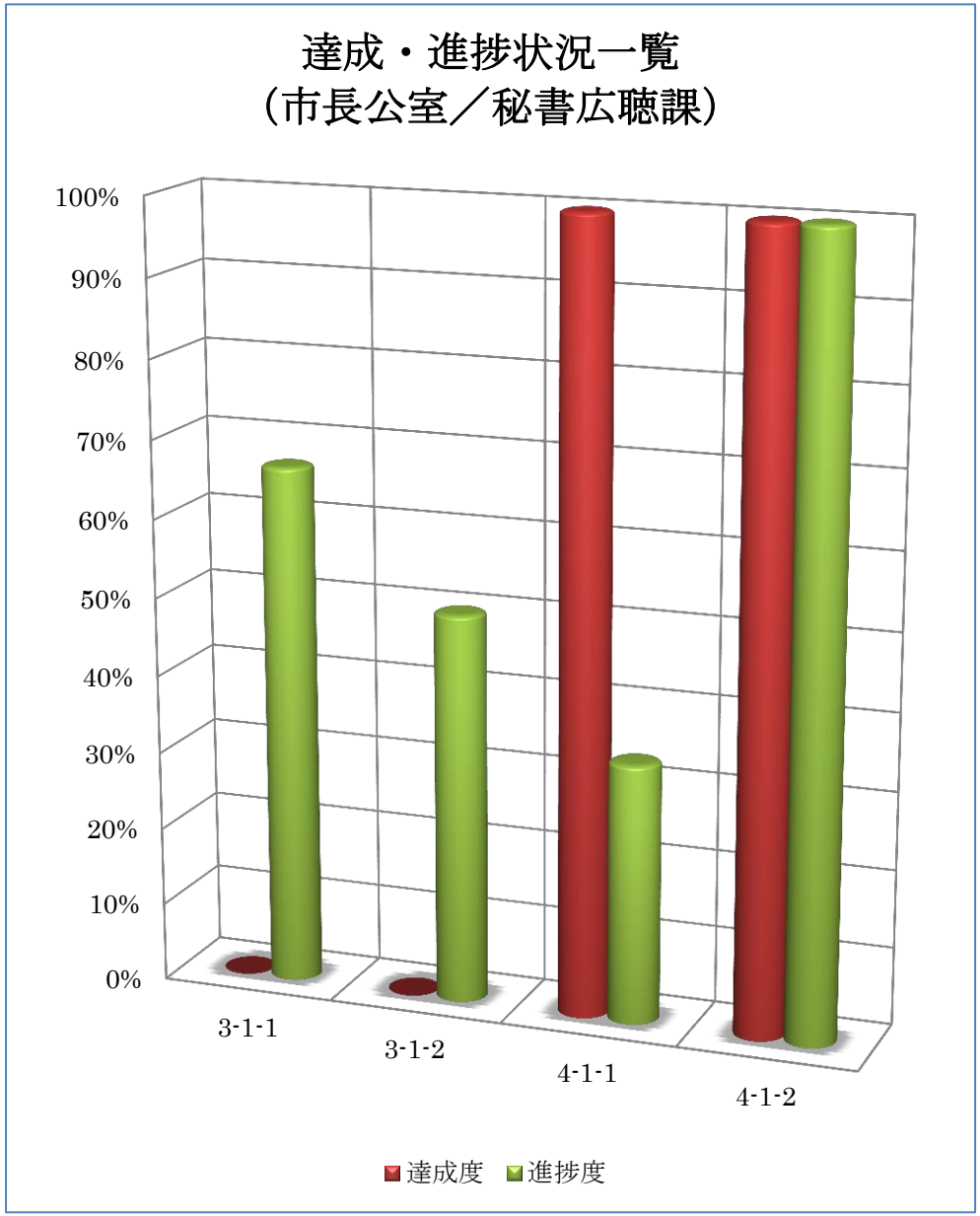


達成（進捗）状況一覧（基本目標４）

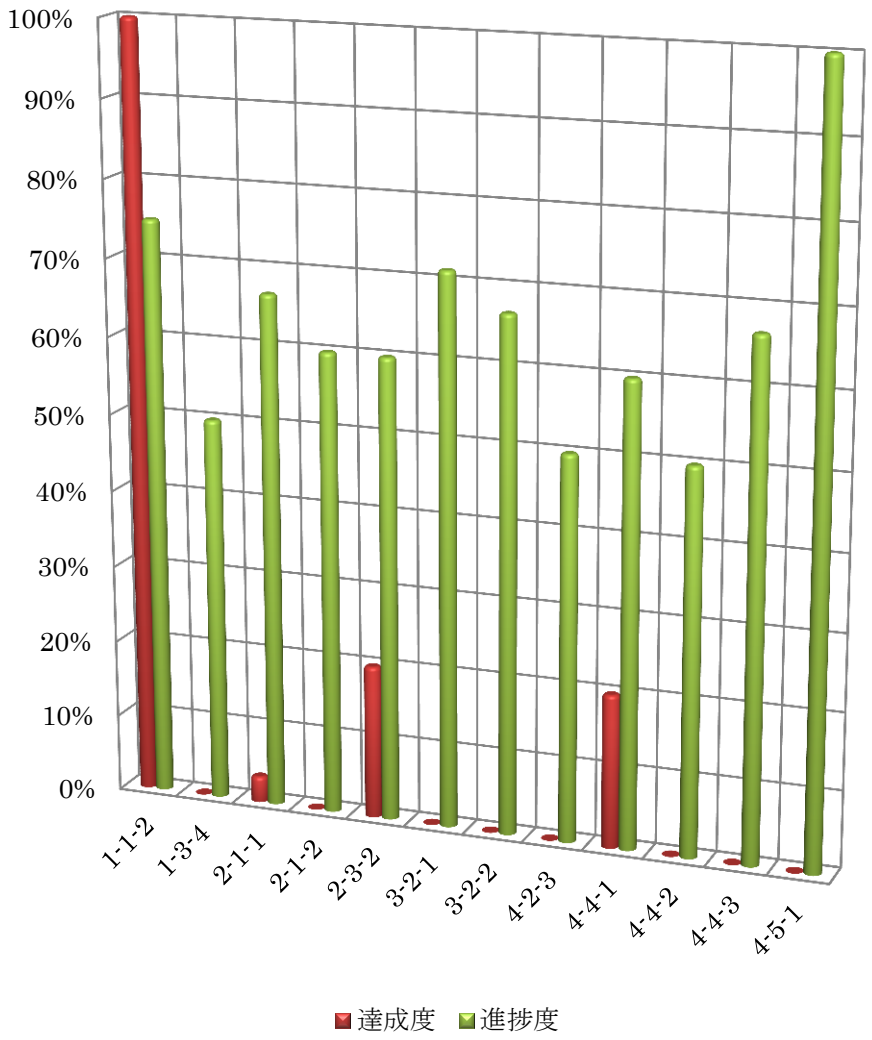


＜施策推進部署別一覧＞

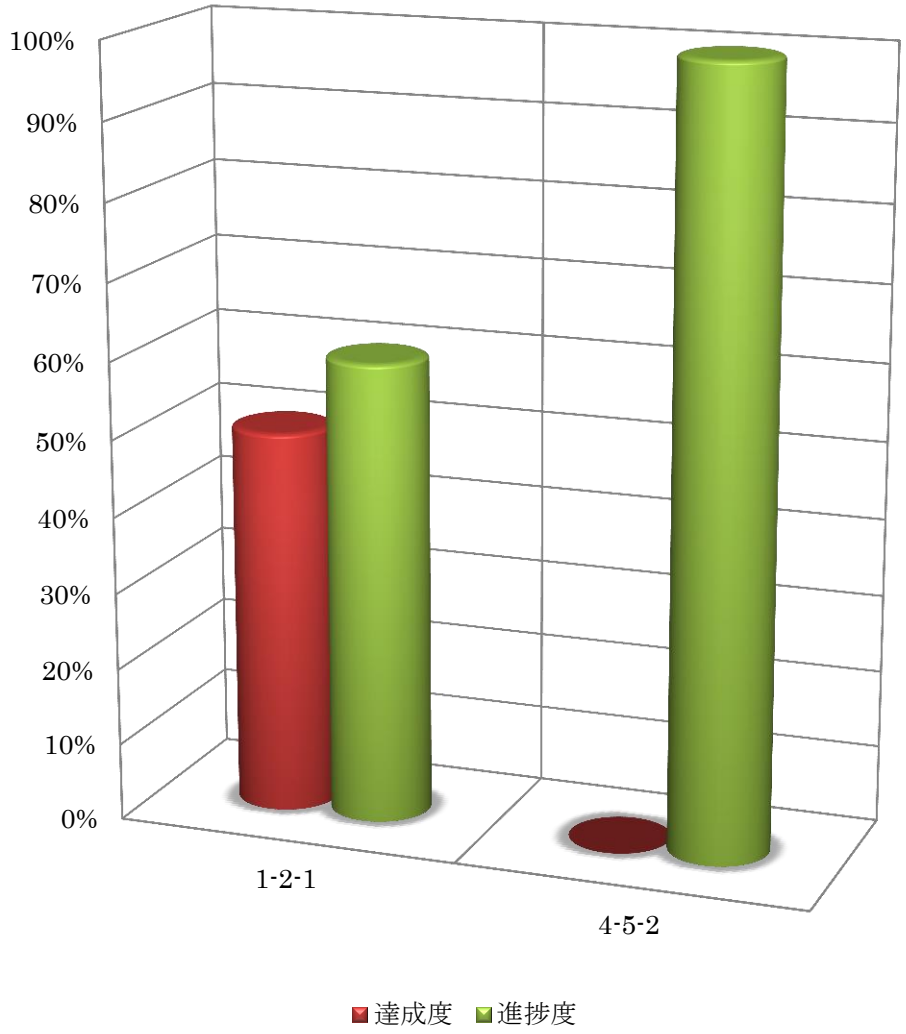

達成・進捗状況一覧
（地方創生・事業推進担当）
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
1-1-1
1-1-4
1-2-2
1-3-1
1-3-2
1-4-1
1-5-1
2-1-1
2-1-2
2-3-1
4-2-2
達成度
進捗度

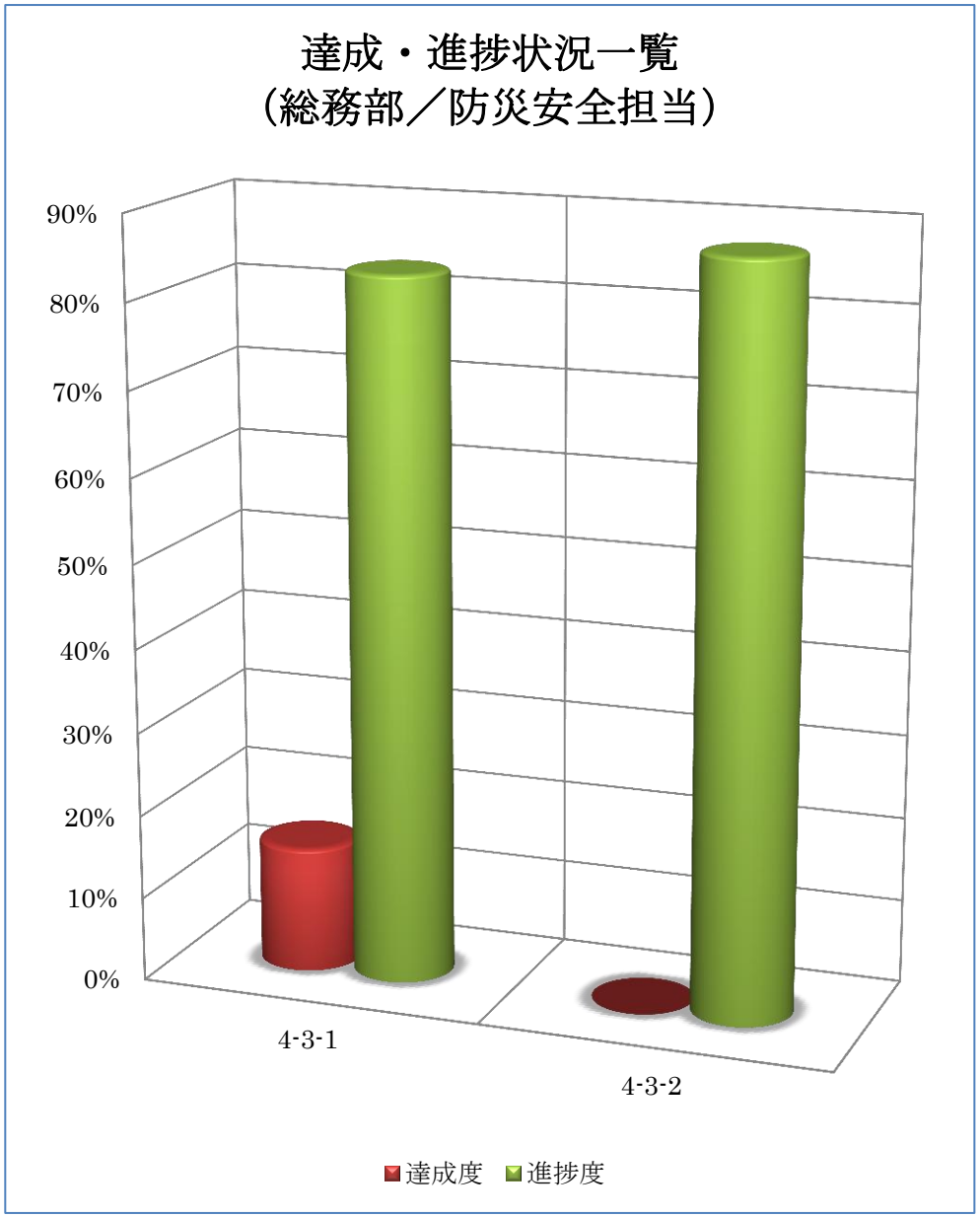

達成・進捗状況一覧
（市長公室／秘書広聴課）
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
3-1-1
3-1-2
4-1-1
4-1-2
達成度
進捗度

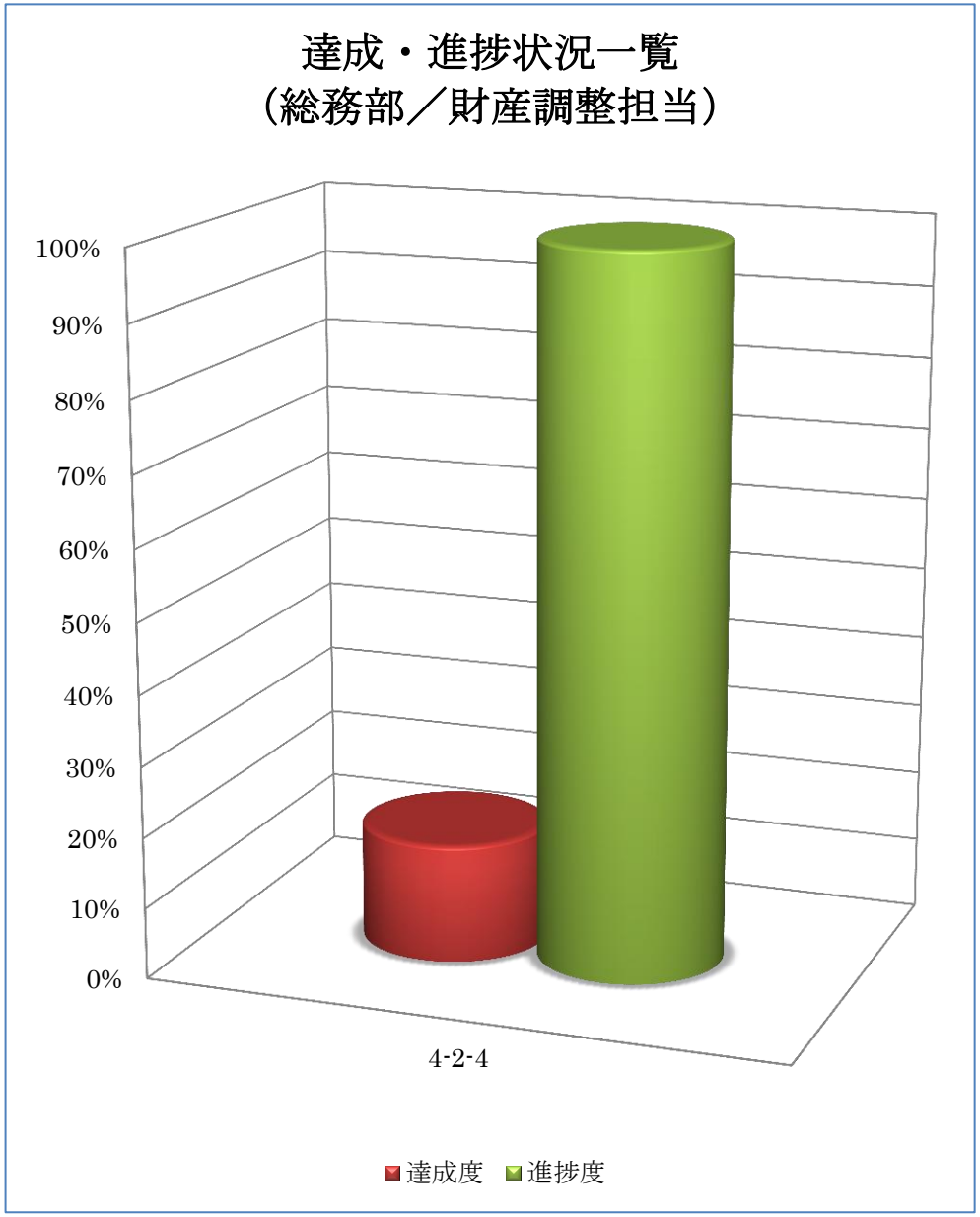
達成・進捗状況一覧
（市長公室／政策経営課）

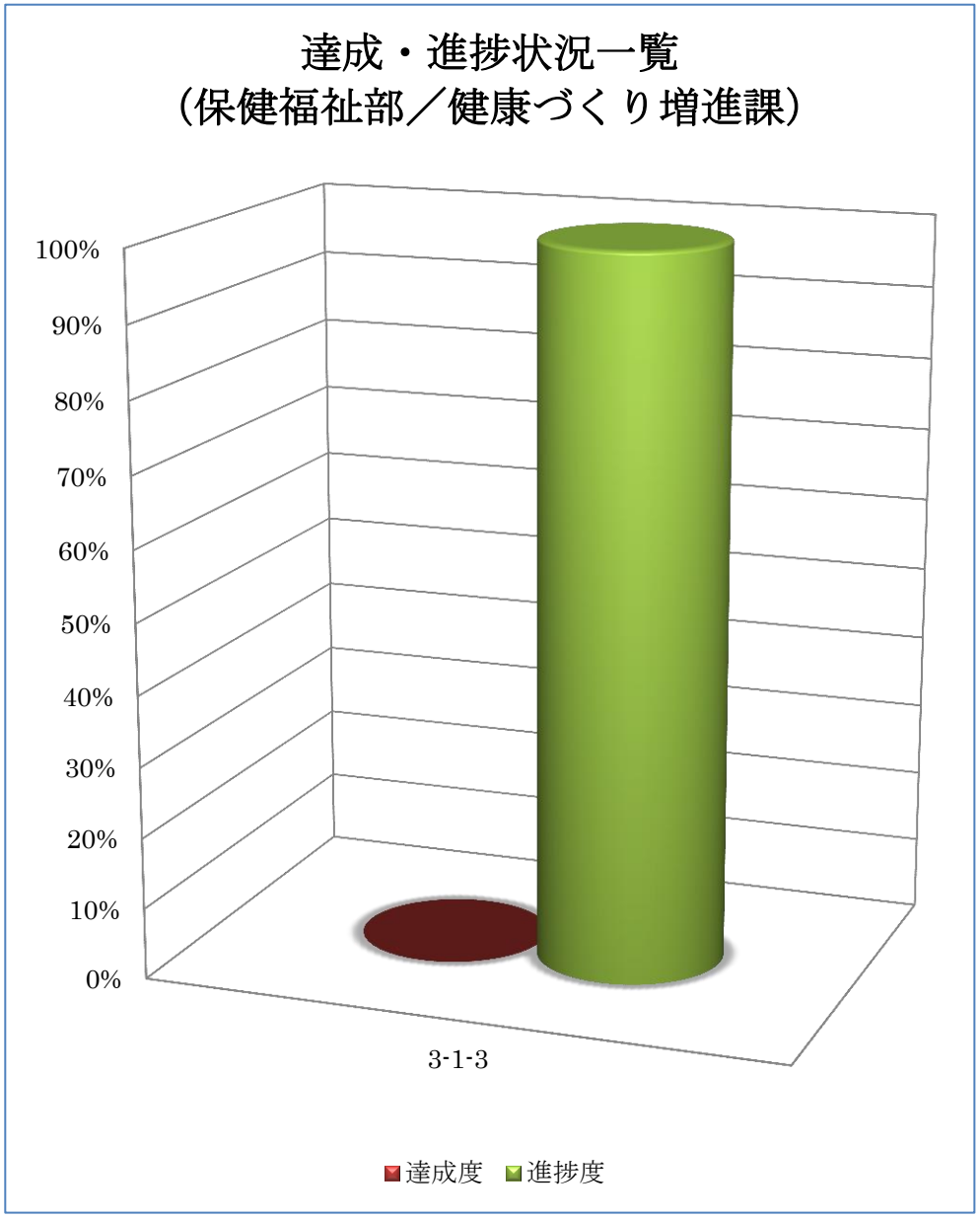


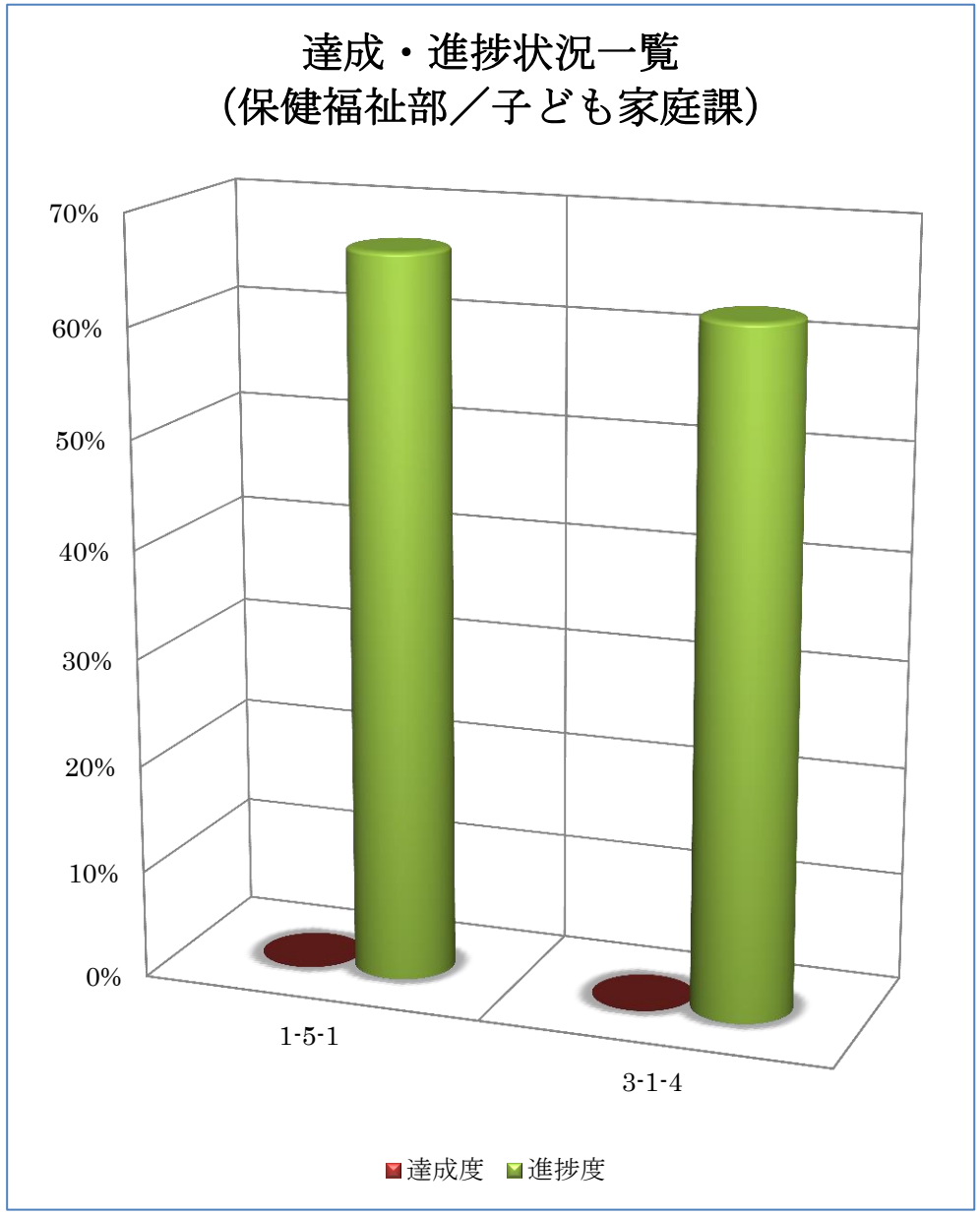
達成・進捗状況一覧
（市長公室／まちづくり計画担当）



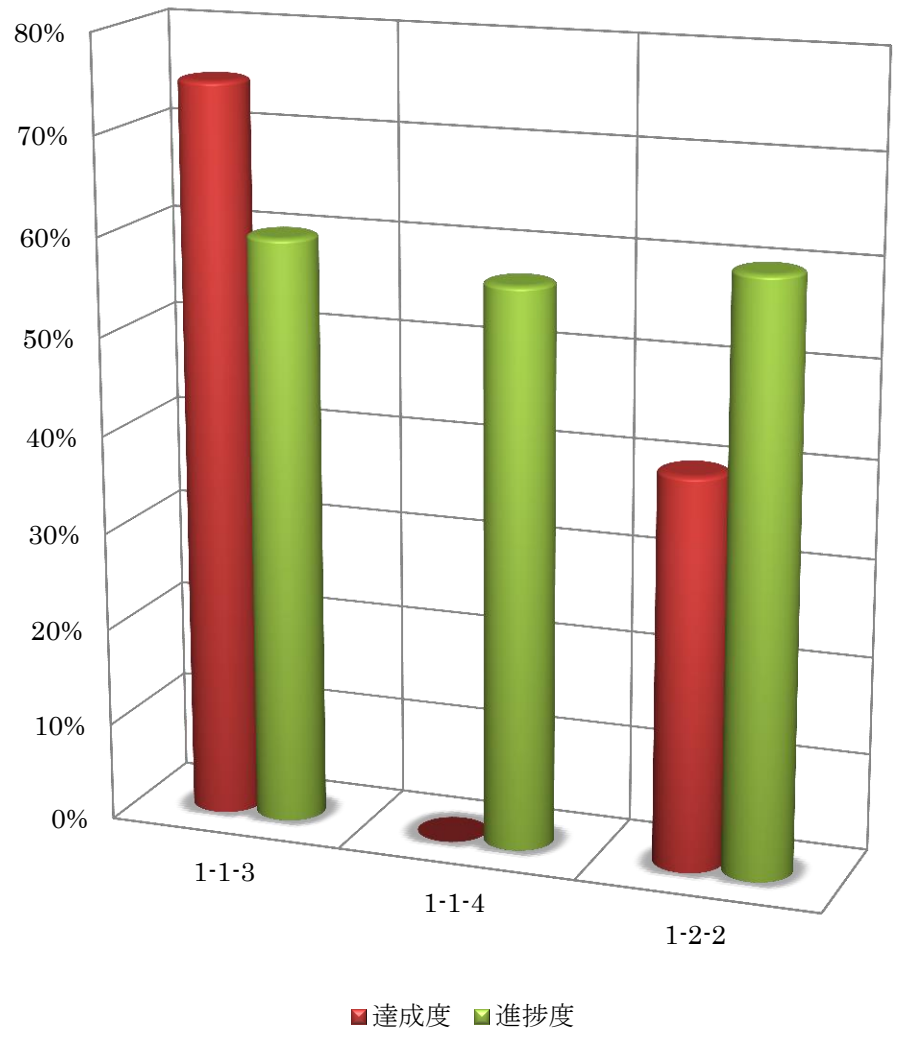

達成・進捗状況一覧
（総務部／防災安全担当）
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
4-3-1
4-3-2
達成度
進捗度


達成・進捗状況一覧
（総務部／財産調整担当）
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
4-2-4
達成度
進捗度

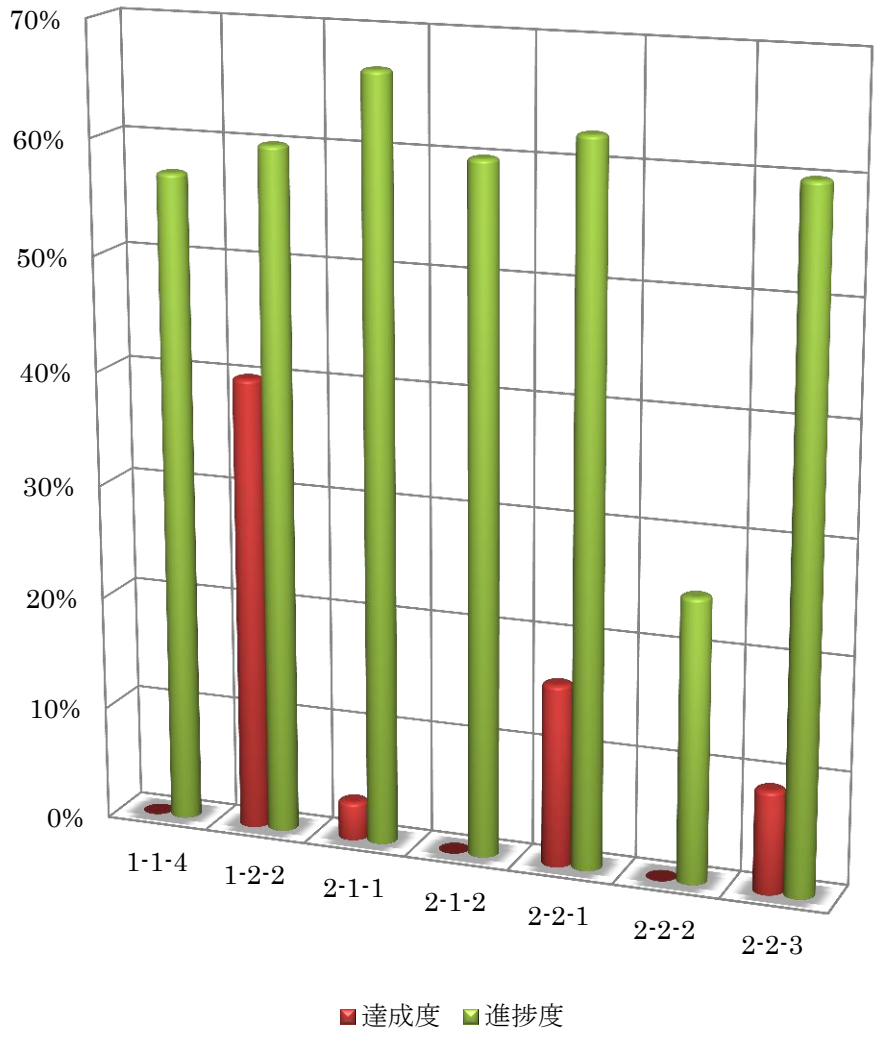

達成・進捗状況一覧
（保健福祉部／健康づくり増進課）
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
3-1-3
達成度
進捗度

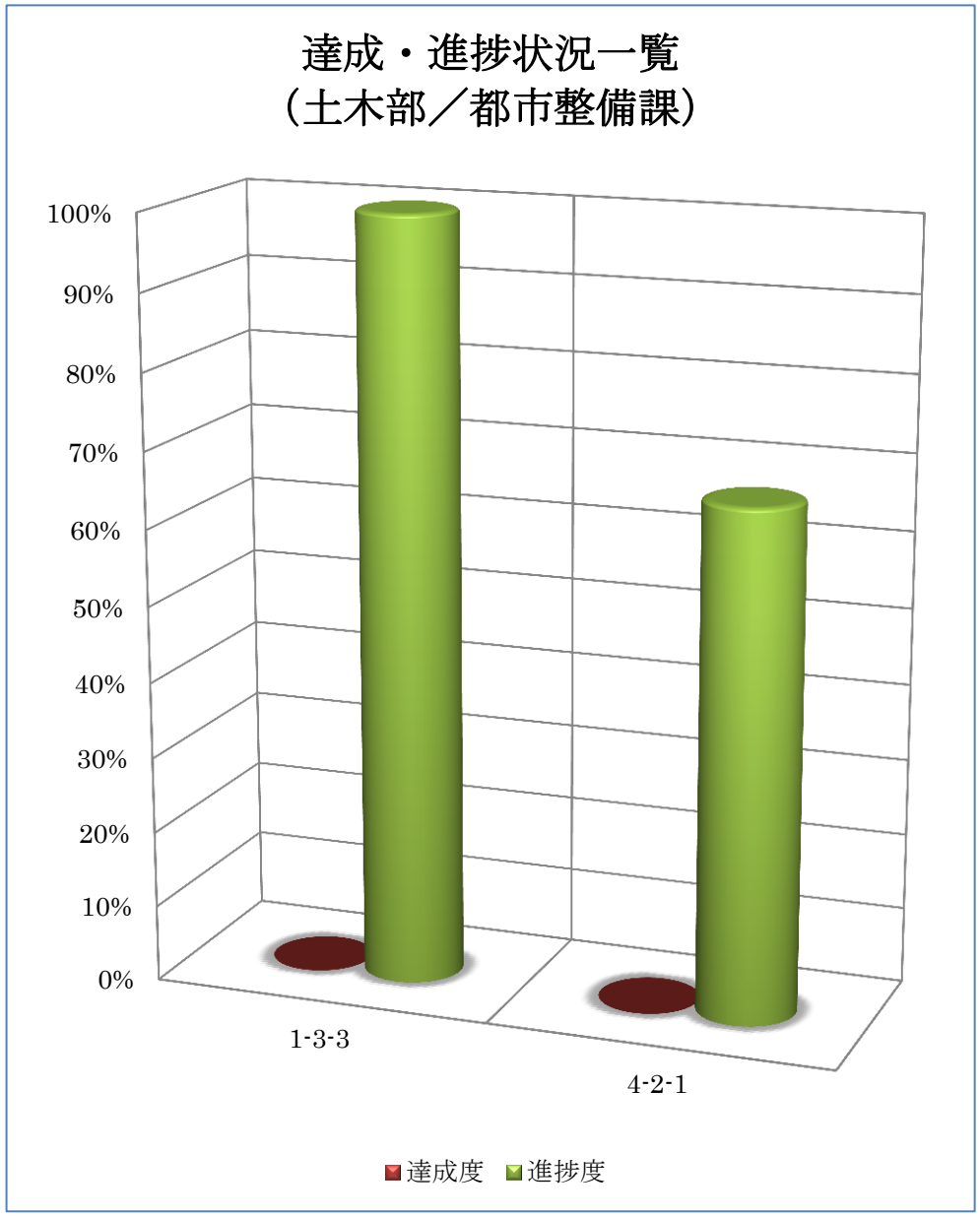

達成・進捗状況一覧
（保健福祉部／子ども家庭課）
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
1-5-1
3-1-4
達成度
進捗度

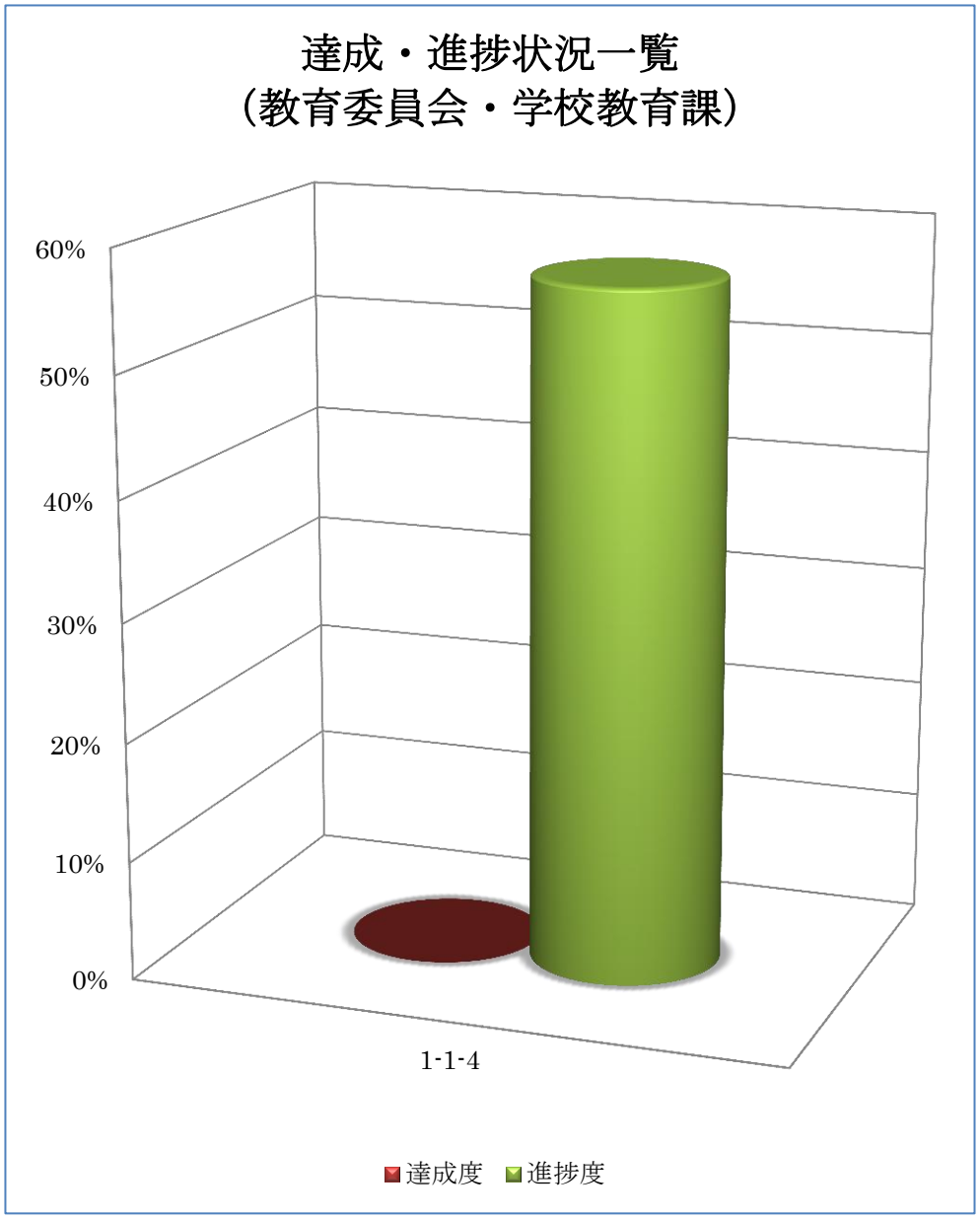
達成・進捗状況一覧
（環境経済部／農林水産課）

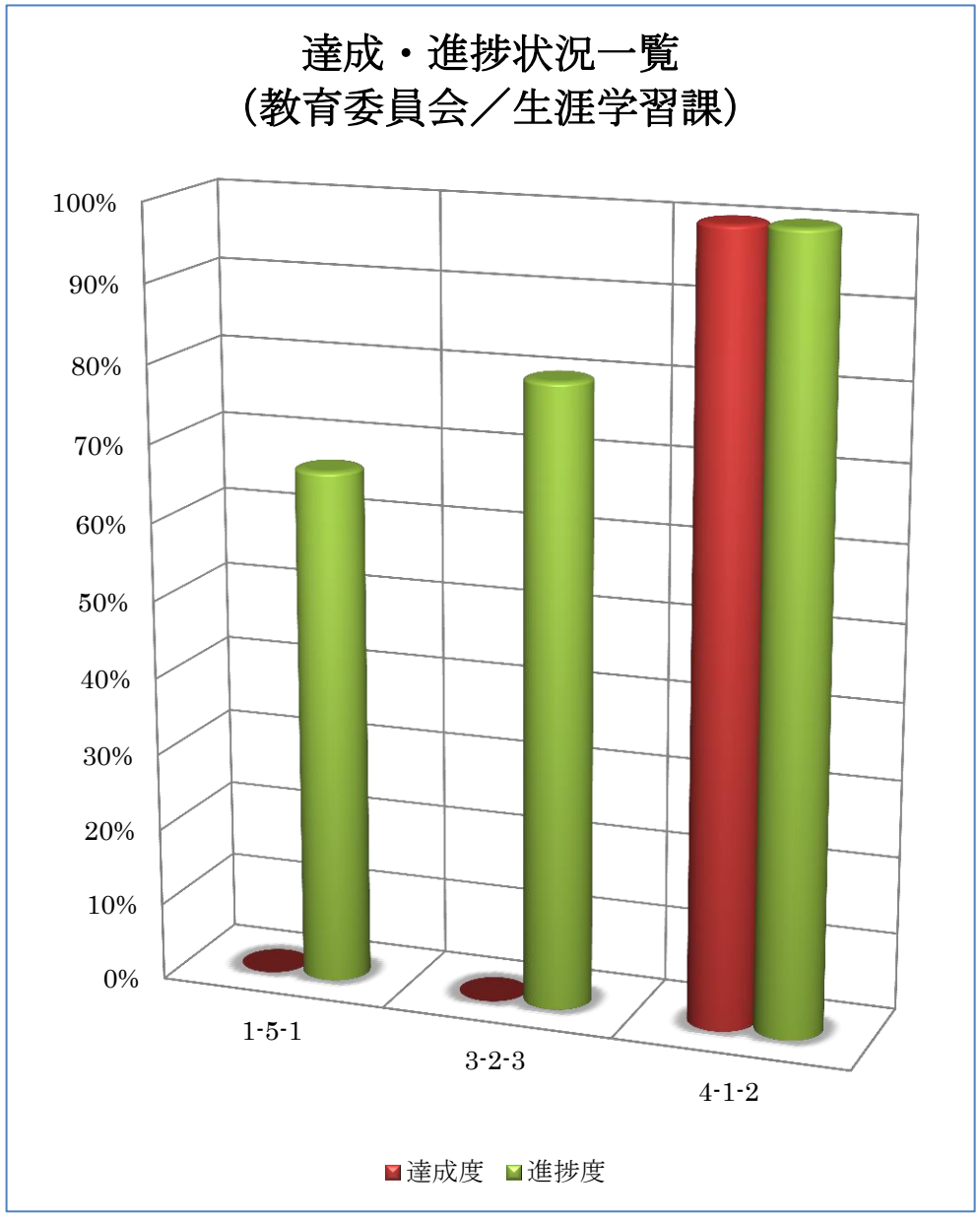


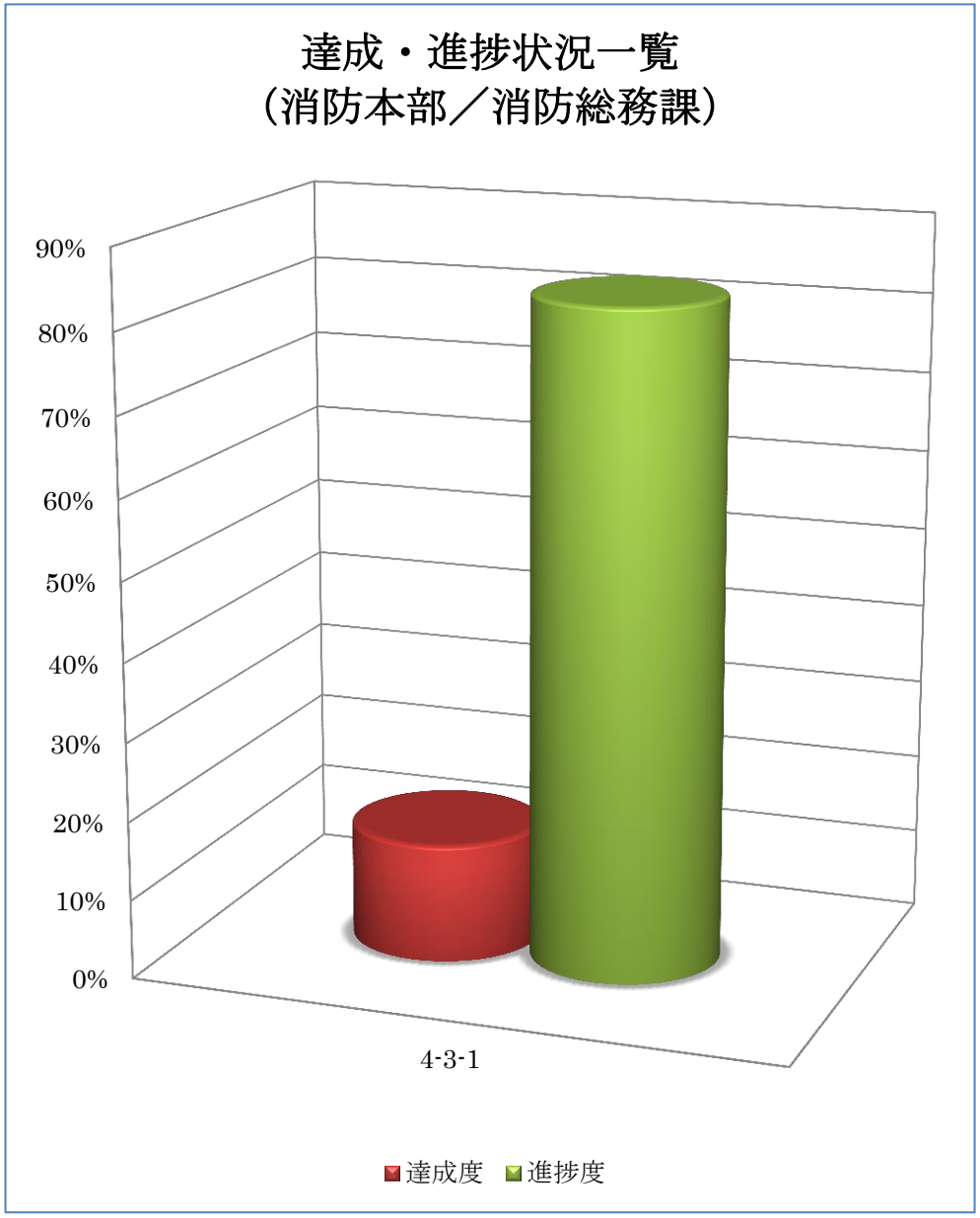
達成・進捗状況一覧
（環境経済部／観光商工課）




達成・進捗状況一覧
（土木部／都市整備課）
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
1-3-3
4-2-1
達成度
進捗度


達成・進捗状況一覧
（教育委員会・学校教育課）
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
1-1-4
達成度
進捗度


達成・進捗状況一覧
（教育委員会／生涯学習課）
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
1-5-1
3-2-3
4-1-2
達成度
進捗度


達成・進捗状況一覧
（消防本部／消防総務課）
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
4-3-1
達成度
進捗度

【地方創生・事業推進担当】

第１次産業の活性化	25% 50% 75%	KPI（H31）
1-1-1 農業公社等の設立支援		農業公社等の設立に向けた取り組み 進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
取り組み進捗状況	66.7%	
1-1-4 地産地消の推進		特産品認証店　4 店舗
取り組み進捗状況	57.1%	
６次産業化の推進	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
1-2-2 付加価値のある加工品の開発	40.0% 8 品目	新商品　20 品目
取り組み進捗状況	60.0%	
新たな企業進出の支援	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
1-3-1 積極的な企業誘致	25.0　% 本社以外　1 社	本社　1 社・本社以外　1 社・新規雇用 30 人 新たな設備投資をする企業数　5 社
取り組み進捗状況	100.0%	
1-3-2 窓口の一本化	50.0　% 1 人　（兼務）	コンシェルジュ　1 人
取り組み進捗状況	90.0%	
創業・起業の支援	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
1-4-1 創業・起業の推進	37.5% 21 社	創業・起業　56 社
取り組み進捗状況	100.0%	
就業環境の改善促進	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
1-5-1 女性の活躍できる場づくり		託児所設置個所数　5 か所
取り組み進捗状況	66.7%	
スポーツによる地域活性化	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
2-1-1 自然環境を活かしたスポーツイベント開催	3.4% 190 人	交流人口　5,600 人増加 講座開講　8 回・イベント開催　4 回
取り組み進捗状況	66.7%	

2-1-2 ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実		施設 1 か所
取り組み進捗状況	60.0%	
Uターン定住の推進	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
2-3-1 子どもたちへ地域の魅力(良さ)を伝える		18 歳定住率　維持
取り組み進捗状況	100.0%	
新たな拠点の整備	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
4-2-2 千代田石岡インターチェンジ周辺等の活用		拠点整備に向けた取り組み 進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
取り組み進捗状況	100.0%	

【市長公室／秘書広聴課】

結婚・子育て支援の充実	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
3-1-1 婚活支援		成婚定住者数　10 組
取り組み進捗状況	66.7%	
3-1-2 成婚定住者への助成		
取り組み進捗状況	50.0%	
コミュニティの活性化	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
4-1-1 コミュニティ活動の拠点の確保および拡充	145.0% 58 人	地域のリーダー育成　40 人
取り組み進捗状況	33.3%	
4-1-2 地縁的コミュニティの活性化	145.0% 58 人	地域のリーダー育成　40 人
取り組み進捗状況	100.0%	

【市長公室／政策経営課】

第１次産業の活性化	25% 50% 75%	KPI（H31）
1-1-2 法人(企業等)の参入支援	200% 2 団体	1 団体以上の参入
取り組み進捗状況	75.0%	
新たな企業進出の支援	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
1-3-4 インフラ整備		スマートインター設置に向けた取り組み進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)・新規参入企業 1 社
取り組み進捗状況	50.0%	
スポーツによる地域活性化	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
2-1-1 自然環境を活かしたスポーツイベント開催	3.4% 190 人	交流人口　5,600 人増加 講座開講　8 回・イベント開催　4 回
取り組み進捗状況	66.7%	
2-1-2 ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実		施設 1 か所
取り組み進捗状況	60.0%	
Ｕターン定住の推進	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
2-3-2 住居の確保	20.0% 4 件	空き家バンク成約数　20 件
取り組み進捗状況	60.0%	
教育環境の充実	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
3-2-1 特色ある教育の実施		6 歳～23 歳人口割合　16.8%の維持
取り組み進捗状況	71.4%	
3-2-2 学費負担の軽減		
取り組み進捗状況	50.0%	
新たな拠点の整備	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
4-2-3 情報発信のための拠点づくり		拠点整備に向けた取り組み 進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
取り組み進捗状況	50.0%	

環境に配慮した暮らしやすい環境づくり	25% 50% 75%	KPI（H31）
4-4-1 住居の確保（再掲）	20.0% 4 件	空き家バンク成約数　20 件
取り組み進捗状況	60.0%	
4-4-2 エネルギーの地産地消		再生可能エネルギー施設　1 ヵ所 実験地域の設定　1 ヵ所
取り組み進捗状況	50.0%	
4-4-3 田舎暮らしの良さ、自然との触れ合いの場の提供		補助件数　12 件
取り組み進捗状況	66.7%	
公共交通ネットワーク等の充実	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
4-5-1 通学しやすい環境づくり		6 歳～23 歳人口割合　16.8%の維持（再掲）
取り組み進捗状況	100.0%	

【市長公室／まちづくり計画担当】

６次産業化の推進	25% 50% 75%	KPI（H31）
1-2-1 販路の拡大	50.0 % 3,113 人	設備　1 か所 交流人口　2,000 人（交流イベント等参加者）
取り組み進捗状況	60.0%	
公共交通ネットワーク等の充実	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
4-5-2 生活利便性の向上		新規バス路線　1 路線新設
取り組み進捗状況	100.0%	

【総務部／防災安全担当】

災害に備えたまちづくり	25% 50% 75%	KPI（H31）
4-3-1 防災体制の拡充	15.0% 自主活動　6 団体	民間企業消防協力隊　5 団体 自主活動実施団体　20 団体
取り組み進捗状況	83.3%	
4-3-2 災害マップづくり（危険箇所・災害発生時の避難等）		マップ作成コミュニティ　20 団体
取り組み進捗状況	87.5%	

【総務部／財産調整担当】

新たな拠点の整備	25% 50% 75%	KPI（H31）
4-2-4 廃校の活用	16.6% 1 箇所	6 箇所
取り組み進捗状況	100.0%	

【保健福祉部／健康づくり増進課】

結婚・子育て支援の充実	25% 50% 75%	KPI（H31）
3-1-3 妊婦等への助成 取り組み進捗状況	100.0%	満足度・住みやすさ　50% 都市公園設置に向けた取り組み 進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)

【保健福祉部／子ども家庭課】

就業環境の改善促進	25% 50% 75%	KPI（H31）
1-5-1 女性の活躍できる場づくり 取り組み進捗状況	66.7%	託児所設置個所数　5 か所
結婚・子育て支援の充実	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
3-1-4 子育て支援の充実 取り組み進捗状況	62.5%	満足度・住みやすさ　50% 都市公園設置に向けた取り組み 進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)

【環境経済部／農林水産課】

第１次産業の活性化	25% 50% 75%	KPI（H31）
1-1-3 新規就農・就漁者への支援 取り組み進捗状況	75.0% 9 人 60.0%	新規就農・就漁者数　12 人増
1-1-4 地産地消の推進 取り組み進捗状況	57.1%	特産品認証店　4 店舗
６次産業化の推進	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
1-2-2 付加価値のある加工品の開発 取り組み進捗状況	40.0% 8 品目 60.0%	新商品　20 品目

【環境経済部／観光商工課】

第１次産業の活性化	25% 50% 75%	KPI（H31）
1-1-4 地産地消の推進 取り組み進捗状況	57.1%	特産品認証店　4 店舗
６次産業化の推進	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
1-2-2 付加価値のある加工品の開発 取り組み進捗状況	40.0% 8 品目 60.0%	新商品　20 品目
スポーツによる地域活性化	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
2-1-1 自然環境を活かしたスポーツイベント開催 取り組み進捗状況	3.4% 190 人 66.7%	交流人口　5,600 人増加 講座開講　8 回・イベント開催　4 回
2-1-2 ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実 取り組み進捗状況	60.0%	施設 1 か所
体験型観光の推進	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
2-2-1 体験型観光の推進 取り組み進捗状況	16.1% 161 人 62.5%	体験者数　1,000 人
2-2-2 新たな「食」メニューの開発 取り組み進捗状況	25.0%	新規作成　5 食(種類)
2-2-3 リピーターの確保 取り組み進捗状況	9.1% 91 件 60.0%	登録者数　1,000 人

【土木部／都市整備課】

新たな企業進出の支援	25% 50% 75%	KPI（H31）
1-3-3 都市計画区域の見直し		工専地域　10㌶拡大
取り組み進捗状況	100.0%	
新たな拠点の整備	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
4-2-1 神立駅周辺の開発		用途区域の見直し　1個所 神立駅を中心とした住宅用地面積　5㌶増
取り組み進捗状況	66.7%	

【教育委員会／学校教育課】

第１次産業の活性化	25% 50% 75%	KPI（H31）
1-1-4 地産地消の推進		特産品認証店　4店舗
取り組み進捗状況	57.1%	

【教育委員会／生涯学習課】

就業環境の改善促進	25% 50% 75%	KPI（H31）
1-5-1 女性の活躍できる場づくり		託児所設置個所数　5か所
取り組み進捗状況	66.7%	
教育環境の充実	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
3-2-3 非行防止と健全育成の推進		地域見守り隊　3団体
取り組み進捗状況	80.0%	
コミュニティの活性化	**25% 50% 75%**	**KPI（H31）**
4-1-2 地縁的コミュニティの活性化	145.0% 58人	地域のリーダー育成　40人
取り組み進捗状況	100.0%	

【消防本部／消防総務課】

災害に備えたまちづくり	25%	50%	75%	KPI（H31）
4-3-1 防災体制の拡充	15.0% 自主活動　6 団体			民間企業消防協力隊　5 団体 自主活動実施団体　20 団体
取り組み進捗状況	83.3%			

施策コード	1-1-1							1-1-1
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	第１次産業の活性化		調査・研究					
施策名	**農業公社等の設立支援**		検討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当		実施					
関連部署	総務課　農業委員会　観光商工課　農林水産課		評価					
現在の課題	担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経営の抜本的な見直しが求められている。							
必要な対応	市内の荒廃農地等を活用し、計画的・効率的な農業経営を実現するため、農業公社等の設立を支援し、またその活動（商品開発、販路拡大、農業機材確保等）を支援する。 ・荒廃農地の解消 ・農地集約・新商品開発 （日本酒等） ・販路拡大の推進（海外輸出・首都圏市場等へのＰＲ） ・安定した農産物の提供できる仕組みづくり							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				農業公社等の設立に向けた取組み　進捗率 0%%⇒50% ※進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・荒廃農地の解消 ・農地集約・新商品開発（日本酒等） ・販路拡大の推進（海外輸出・首都圏市場等へのＰＲ） ・安定した農産物の提供できる仕組みづくり
H28 進捗度	66.7%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・農地中間管理機構受付業務	
	H28	・農地中間管理機構受付業務 ・販路拡大の推進(全国うまいもの交流サロンの活用) ・検討機関(勉強会等)の設置及び組織形態等研究	・海外プロモーションによる販路開拓調査 ・地域ブランディングの推進

		・先進事例研究		
	H29		・農地中間管理機構受付業務 ・販路拡大の推進(都内飲食店との連携) ・組織形態等研究 ・先進事例研究 ・海外プロモーションによる販路開拓検討 ・地域ブランディングの推進	
	H30			
	H31			
説明	H28…販路拡大の推進として、全国うまいもの交流サロン等に取り組んだが、海外プロモーションによる販路開拓等が未実施となっているため 66.7%とした。(4 項目÷6 項目＝66.7%)			

項目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
研究・調査																				
先進地事例研究																				
組織形態研究																				
検討																				
組織化検討																				
海外プロモーション販路																				
実施																				
農地中間管理機構受付																				
都内飲食店との連携																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		[内容] ・農地中間管理機構の受付業務 [結果] ・182 筆(地権者 103 人)、391,567 ㎡ 耕作者 25 人、水田活用	―	・市単独事業の実施など、主体的な取組みの実施	
平成２８年度	・先進地の事例研究や調査等を行い、本市における可能性、方向性（作物・商品)、組織形態の研究。観光協会の法人化と連携した取組として検	[内容] ・先進地の事例研究 愛媛県西予市	0.0%	・次年度以降の開催月と地域食材の選定	・都内飲食店での消費拡大を呼び水とした販路拡大への展開。※実需者へのＰＲなど

	討する。 ・荒廃農地等の集約にあたっては、農地中間管理機構の取組みも踏まえ進めていく。併せて農地利用集積円滑化団体に、市及びＪＡ土浦がなっていることから、団体としての活動を再検討する。 ・販路拡大にあたっては、ジェトロ茨城と連携するなど、海外へ向けた可能性の調査を実施するほか、首都圏の全国うまいもの交流サロンなどを活用したＰＲを実施。	地域商社＋観光＋農産物 ・農業公社、地域商社、観光協会の各連携も含め、勉強会あるいはプロジェクトチームにより、組織形態を研究する。 ・全国うまいもの交流サロンの活用 地域食材を活かしたシティプロモーション支援業務 ・農地中間管理機構の受付業務 ［結果］ ・しまゆし（9/1～11/30）：約 6,000 人に市産食材を PR ・なみへい（9/1～11/30）：約 1,200 人に市産食材をＰＲ ・338 筆(地権者 119 人)、486,807 ㎡ 耕作者 40 人、田・畑活用 ・農地中間管理機構が行う特例事業(売買)…実績１件（1,959 ㎡）			
平成２９年度	・農業公社、地域商社、観光協会の各連携も含め、勉強会あるいはプロジェクトチームにより、組織形態を研究する。 ・先進事例の研究 ・農地中間管理機構の取り組み推進を引き続き図る。 ・海外プロモーションによる販路開拓を検討する。 ・都内飲食店との連携を推進し、販路拡大と併せた地域ブランディングを展開する。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	1-1-2							1-1-2
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	第１次産業の活性化		調査・研究					
施策名	**法人（企業等）の参入支援**		検討					
施策推進部署	政策経営課		実施					
関連部署	地方創生・事業推進担当　農業委員会		評価					
現在の課題	担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経営の抜本的な見直しが求められている。							
必要な対応	農地集積バンクを設立し、農地等のあっ旋を行い、新たに農業経営に参入する法人（企業等）へ農地貸出、初期投資等への支援を行う。 ・農地の確保（貸付希望者とのマッチング） ・農地集積バンクの設立 ・企業等への農地貸出 ・資金面での支援							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度		200.0%		
年度		H28		1団体以上の参入
結果		2団体		
達成度説明	H28…2団体÷1団体＝200.0%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27進捗度				・農地の確保（貸付希望者とのマッチング） ・農地集積バンクの設立 ・企業等への農地貸出 ・資金面での支援
H28進捗度	75.0%			
H29進捗度				
H30進捗度				
H31進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・経営規模拡大希望農家の相談受付	
	H28	・経営規模拡大希望農家の相談受付 ・先進地事例研究 ・検討機関(勉強会等)で方向性及び組織形態の検討	・遊休農地の利用権設定の仕組みづくりの検討
	H29		・検討機関(勉強会等)で方向性及び組織形態の検討 ・経営規模拡大希望農家等の相談受付

			・遊休農地について、利用権を設定する仕組みづくりの方向性の決定など。	
	H30			
	H31			
説明	H28…相談事業、先進地事例研究及び検討機関（勉強会）に取り組んだが、遊休農地利用権設定の仕組みづくりの検討が未実施となっているため 75.0%とした。（3 項目÷4 項目＝75.0%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
研究・調査																				
先進事例研究																				
組織形態研究																				
検討																				
方向性の検討																				
組織形態検討																				
組織設立の検討																				
実施																				
農家の相談受付																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		[内容] ・農業委員が経営規模拡大希望農家の相談を受け、売買・賃貸借・使用貸借を実施している。	―	・企業等とのマッチング	
平成２８年度	・農業委員が経営規模拡大希望農家の相談を受け、売買・賃貸借・使用貸借を実施する。 ・農地中間管理機構における取組との調整を図りつつ、未利用農地の掘起こしなど、農地の集積に向けた取組みを実施。 ・企業等が農業へ参入できるよう、農地バンク機能を有した組織設立の検討。 ・遊休農地について、利用権を設定する仕組みづくりの検討など。	[内容] ・第２回地域商社協議会へ出席 平成 28 年 9 月 30 日 ・先進地の事例研究 愛媛県西予市 地域商社＋観光＋農産物 ・農業委員が経営規模拡大希望農家の相談を受け、売買・賃貸借・使用貸借を実施している。	200.0%	・方向性の決定内容によって事業の進め方を再検討する。	・農地中間管理機構との各種事業調整

		・農業公社、地域商社、観光協会の各連携も含めた勉強会あるいはプロジェクトチームの中で、方向性を検討する。 ［結果］ 営農型太陽光発電施設 ・シャインマスカット栽培に法人が参入（自社所有地含む)1 件（10,902 ㎡） ・アシタバ栽培に法人が参入（借地）2 件（44,733 ㎡） ・キクラゲ栽培に個人が参入（自己所有地）1 件（9,365 ㎡）			
平成２９年度	・農業公社、地域商社、観光協会の各連携も含めた勉強会あるいはプロジェクトチームの中で、方向性を検討する。 ・農業委員が経営規模拡大希望農家の相談を受け、売買・賃貸借・使用貸借を実施する。 ・農地中間管理機構における取組との調整を図りつつ、未利用農地の掘起こしなど、農地の集積に向けた取組みの方向性を決定する。 ・農業委員会で地権者の意向調査結果を農地中間管理機構に情報提供し、農林水産課で土地改良区を中心に事業を推進する。 ・企業等が農業へ参入できるよう、農地バンク機能を有した組織設立の方向性を決定。 ・遊休農地について、利用権を設定する仕組みづくりの方向性の決定など。				
平成３０年度					
平成３１年度					

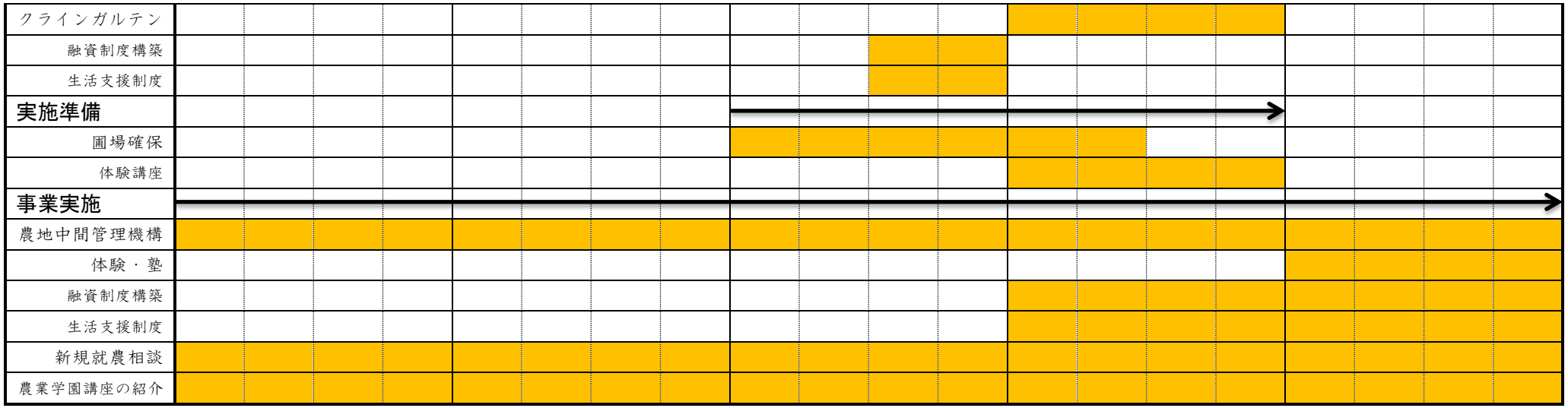
施策コード	1-1-3							1-1-3
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	第１次産業の活性化		調査・研究					
施策名	**新規就農・就漁者への支援**		検討					
施策推進部署	農林水産課		実施					
関連部署	政策経営課　観光商工課　都市整備課　農業委員会		評価					
現在の課題	担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経営の抜本的な見直しが求められている。							
必要な対応	新たに就農、就漁を促進するため、体験農業や漁業体験等を実施し、気軽に農漁業に触れられるようにするとともに、就農、就漁に対する総合的な支援を実施する。 ・農業体験や漁業体験等の実施（定住・移住促進型クラインガルテン等） ・農業塾の実施 ・融資制度構築（金融機関等との連携） ・経営指導・技術指導の強化 ・生活支援制度創設							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	58.3%		75.0%	新規就農・就漁者数 12人増
年度	H27		H28	
結果	7人		2人	
達成度説明	H27…7人÷12人＝58.3% H28…(7人＋2人)÷12人＝75.0%			
H27 達成度	233.3%	7人		年3人
H28 達成度	66.7%・2人			
H29 達成度				
H30 達成度				
H31 達成度				
達成度説明	H27…7人÷3人＝233.3% H28…2人÷3人＝66.7%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・農業体験や漁業体験等の実施（定住・移住促
H28 進捗度	60.0%			

H29 進捗度					進型クラインガルテン等） ・農業塾の実施 ・融資制度構築（金融機関等との連携） ・経営指導・技術指導の強化 ・生活支援制度創設
H30 進捗度					
H31 進捗度					
進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定		
	H27	・新規就農相談 ・農業学園講座の紹介(技術指導等)			
	H28	・新規就農相談 ・農業学園講座の紹介(技術指導等) ・新規就農・農業担い手発掘推進チームを設置	・体験講座等の実施検討 ・農地や住居のあっ旋(農地中間管理機構や空き家バンク等の活用など)		
	H29		・農・漁業体験事業や農業塾の実施検討 ・新規就農者に対する、農地や住居のあっ旋(農地中間管理機構や空き家バンク等の活用など) ・農家へのアンケート調査の実施（水稲担い手農家及び特に果樹類農家の実態把握や第三者継承及び販路拡大（輸出）意向など） ・漁業者の実態・状況把握の実施		
	H30				
	H31				
説明	H28…新規就農相談等に取り組んだが、体験講座等の検討、アンケート調査、状況調査が未実施となっているため60.0%とした。（3 項目÷5 項目＝60.0%）				

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究									→	→	→	→								
体験・塾																				
クラインガルテン																				
融資制度構築																				
生活支援制度																				
アンケート調査																				
実態状況調査																				
検討									→	→	→	→	→	→	→	→				
公社等連携																				
体験・塾																				



年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容］ ・新規就農相談支援及び青年等就農計画に係る認定業務 ［結果］ ・新規就農者数７人(夫婦２組を含む。)	58.3%	・市単独事業の実施など、主体的な取組みの実施	
平成２８年度	・農・漁業体験事業を実施するにあたり、技術指導・経営指導者や漁協との調整、圃場の確保を行う。 ・新規就農者に対する、農地や住居のあっ旋(農地中間管理機構や空き家バンク等の活用など) ・年間を通した体験講座の実施検討。	［内容］ ・新規就農相談支援及び青年等就農計画に係る認定業務 ・農業学園の講座(土浦地域農業改良普及センター)の紹介 ・県、農協、市の担当で情報共有を図り、3 者連携による体制強化を推進 ［結果］ ・相談件数：8 件 ・新規就農者数２人 ・市新規就農・農業担い手発掘推進チームを設置（H28.8.1） 推進会議を 2 回開催し、平成 29 年度実	75.0%		

		施のアンケート調査内容を協議			
平成２９年度	・農・漁業体験事業や農業塾の実施検討に向けた、農協・漁協との調整や技術・経営指導者の確保と併せ圃場等の確保を進める。 ・新規就農者に対する、農地や住居のあっ旋（農地中間管理機構や空き家バンク等の活用など） ・農家へのアンケート調査の実施（水稲担い手農家及び特に果樹類農家の実態把握や第三者継承及び販路拡大（輸出）意向など） ・漁業者の実態・状況把握の実施				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	1-1-4							1-1-4
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	第１次産業の活性化		調査・研究					
施策名	**地産地消の推進**		検討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当　農林水産課　観光商工課　学校教育課		実施					
関連部署	生涯学習課　健康づくり増進課　環境保全課　子ども家庭課		評価					
現在の課題	担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経営の抜本的な見直しが求められている。							
必要な対応	地元農水産品を積極的に取り扱う市内の飲食店に「特産品認証」を交付するとともに、広くＰＲし、地元農水産品の地産地消を推進する。 また、学校給食等でも積極的に使用し、子どもたちに市内産物を紹介する。 ・市内農水産物を取り扱う市内飲食店の PR 強化 ・特産品認証の店（飲食店）制度創設 ・学校給食等で市内農水産物の使用 ・地域（かすみがうら市産）ブランド米への取り組み（県推奨品種：ふくまる）							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				特産品認証店 4 店舗
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・市内農水産物を取り扱う市内飲食店の PR 強化 ・特産品認証の店（飲食店）制度創設 ・学校給食等で市内農水産物の使用
H28 進捗度	57.1%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27		
	H28	・交流センターを活用したレストラン事業実施 ・市産米地域ブランド化の取り組み ・検討機関(勉強会等)の設置による取り組み検討 ・「市産米ふくまる」のイベントＰＲ実施	・特産品認証の店制度構築のための研究、調査 ・給食への地場産品使用率向上の取り組み ・食育、循環型社会の教育の場づくりの推進

	H29		・検討機関(勉強会等)の設置による取り組み検討 ・市内農産物等を扱う飲食店を認証する制度の構築 ・地域ポイント制度との連携検討 ・地産地消レストラン(かすみキッチン) ・市産米地域ブランド化の取り組み ・学校等給食における「市産米ふくまる」の消費拡大事業の実施 ・「市産米ふくまる」のイベントＰＲ実施 ・「ふくまる」栽培に対する作付け支援の実施	
	H30			
	H31			
説明	H28…交流センターを活用したレストランに取り組んだが、特産品認証の店制度の研究等が未実施となっているため57.1%とした。（4項目÷7項目＝57.1%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
特産品認証店制度																				
検討																				
特産品認証制度																				
検討機関による検討																				
地域ポイント制度との連携																				
実施準備																				
特産品認証制度構築																				
実施																				
地産地消レストラン																				
ふくまるブランド化																				
ふくまる消費拡大																				
ふくまるイベントＰＲ																				
ふくまる作付け支援																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			―		
平成２８年度	・市内農産物等を扱う飲食店を認証する制度を構築するとともに、湖山の宝巡りパスポートと連携するなど、認証店に対しては積極的なPRができるよう進めていく。 ・交流センターを活用し地場産品を使ったレストラン事業の実施。 ・地場産品の学校給食での使用割合を高める取組み。 ・子どもたちを対象とし、地元産物や食育、循環型社会の取組みについて、教育できる場づくりを進める。	[内容] ・地産地消レストラン(かすみキッチン)のオープン(7/16) ・施策推進部署及び関連部署で構成する勉強会あるいはプロジェクトチームにより、給食の取り組みを検討する。 ・市産米「ふくまる（県推奨品種）」の地域ブランド化の検討及び取り組みを実施。(併せてイベント等での試食、消費拡大宣伝活動を実施) [結果] 「ふくまる」に関する取り組み ・かすみがうら祭りにおける PR 活動 　試食及びアンケート調査の実施 ・ブランド力強化に向けた準備 　県特別栽培農産物の認証申請 ・市民からの意見聴取 　試食会及びモニタリング・インタビューの実施 ・PR 資材等の作成 　ポスター、リーフレット、のぼり旗、テーブルクロス ・知的財産制度への取り組み 　商標調査及び登録出願手続き（出願中） ・地産地消レストラン…9,232 人 ・かすみキッチンＢＢＱ…21 人	0.0%	・地元産の食材の判断・仕入れ方法（業者選定）・量の確保・経費等が課題となっている。	・年に数回、季節のもの、果物等なるべく加工しないものであれば、地元産の判断がしやすいのではないか等、勉強会で検討する。
平成２９年度	・施策推進部署及び関連部署で構成する勉強会あるいはプロジェクトチームにより、給食の取り組みを検討する。 ・市内農産物等を扱う飲食店を認証する制度を構築する。				

	・認証店に対しては積極的なPRができるよう進める。 ・地域ポイント制度との連携検討 ・地産地消レストラン(かすみキッチン) ・学校等給食における「市産米ふくまる」の消費拡大事業の実施 ・「市産米ふくまる」のイベントＰＲ ・ふくまる栽培に対する作付け支援の実施 ・ふくまる特別栽培米の取り組み（実証圃の設置） ・ふくまる特別栽培米（厳選米）のPR及び販路開拓（ＥＣサイトへの掲載）				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	1-2-1							1-2-1
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	６次産業化の推進		調査・研究					
施策名	**販路の拡大**		検討					
施策推進部署	まちづくり計画担当		実施					
関連部署	政策経営課　農林水産課　観光商工課		評価					
現在の課題	豊富な農水産物を有しているにもかかわらず、首都圏など消費地への PR や販売の面で十分とはいえない状況である。また、本市民に対してもこれら地域資源の周知ができていない。							
必要な対応	市内農水産物の販路拡大を図るため、消費先である首都圏における商品等ＰＲイベント等を実施する。また、販路拡大のための設備等の導入支援を行う。 ・首都圏へのＰＲ（交流イベント等） ・シティプロモーション・交流の推進 ・海外輸出に関する調査検討 ・販売支援共同設備等導入支援							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	50%			設備 1 か所 交流人口 2,000 人 （交流ｲﾍﾞﾝﾄ等参加者）
年度	H27　H28			
結果	2,547 人　3,113 人			
達成度説明	H27…交流人口は目標を達成しているが、設備が未整備のため 50%とした。 H28…交流人口は目標を達成しているが、設備が未整備のため 50%とした。			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・首都圏へのＰＲ（交流イベント等） ・シティプロモーション・交流の推進 ・海外輸出に関する調査検討 ・販売支援共同設備等導入支援
H28 進捗度	60.0%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・首都圏へのＰＲ ・シティプロモーションの推進	

	H28	・首都圏へのＰＲ ・シティプロモーションの推進 ・検討機関(勉強会等)の設置及び組織形態等研究	・海外に向けた可能性調査 ・農水産物保存設備等の購入支援の検討	
	H29		・シティプロモーションの推進 ・首都圏へのＰＲ ・海外に向けた可能性調査 ・組織形態等研究	
	H30			
	H31			
説明	H28…首都圏へのＰＲ及びシティプロモーションに取り組んでいるが、海外に向けた可能性調査及び農水産物保存設備等の購入支援の検討が未実施のなっているため 60.0%とした。 (3 項目÷5 項目＝60.0%)			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
組織形態研究																				
検討																				
組織化検討																				
実施																				
首都圏へのＰＲ																				
シティプロモーション																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		[内容] ・首都圏へのＰＲ ・シティプロモーションの推進 [結果] ・交流人口…2,547 人 ※販売個数 1 個を 1 人と推計。 ・日本台湾まつり…380 食 (台東区上野公園・8/1～8/2) (フィッシュ＆チップス及び白魚冷水茶漬け・8/1…200 食・8/2…180 食)	50.0%	・認知度向上のための取組みの検討	

		・オータムマルシェ…872パック （千代田区有楽町駅・11/21～11/23） （レンコン・11/21…393パック・11/22…207パック・11/23…272パック） ・女神まつり…1,295 （目黒区自由が丘・10/11～10/12） （水産物・10/11…216個・10/12…315個） （蓮根豚・10/11…163個・10/12…340個） （ﾌﾞﾙｰﾍﾞﾘｰ・10/11…98杯・10/12…163杯）			
平成２８年度	・シティプロモーションの推進を実施し、ＰＲの強化に努める。特にちよだフードバレーネットワークや産業能率大学等との連携を継続し、首都圏でのイベントに参加するなど、本市農水産物の宣伝を実施する。 ・首都圏の「全国うまいもの交流サロン」への参加。 ・ふるさと応援寄付（納税）の広報と連動した市産品のＰＲとシティプロモーションの推進。 ・販路拡大にあたっては、ジェトロ茨城と連携するなど、海外へ向けた可能性についても調査を行う。 ・収穫した農水産物については、保存技術により出荷の時期を遅らせるなど、商品の付加価値をあげられるような保存設備等の導入に対する支援の検討を行う。	［内容］ ・首都圏へのＰＲ ・シティプロモーションの推進 ・農業公社、地域商社、観光協会の各連携も含め、勉強会あるいはプロジェクトチームにより、組織形態を研究する。 ［結果］ ・交流人口…3,113人 ※販売個数1個を1人と推計。 ・自由が丘さくらまつり…200食 （自由が丘南口九品仏川沿道・4/2） （フィッシュ＆チップス…200食） ・自由が丘スイーツフェスタ…569食 （自由が丘広小路会場・5/3～5） （トルティーヤ及びパタータドッグ・5/3…165食・5/4…159食・5/5…245食） ・青山ファーマーズマーケット…124個 （国際連合大学前広場・6/25～26） （市推奨品「湖山の宝」など…124個） ・発見！茨城の味覚「かすみがうら湖の幸」…300人 （西武筑波店・9/4…100人・9/11…200人） （パンフレット等配布などによるプロモーション活動）	50.0%	・認知度向上のための取組みの検討	・実施体制の強化

		・自由が丘女神まつり…870 （自由が丘駅前中央会エリア・10/9～10） （ｻﾝｸﾞﾘｱ・10/9…150 杯・10/10…150 杯） （栗・10/9…100 ﾈｯﾄ・10/10…50 ﾈｯﾄ） （さつま芋・10/9…200 袋・10/10…100 袋） （さつま芋加工品・10/9…80 個・10/10 …40 個） ・筑波銀行ビジネス交流商談会…50 人 （つくば国際会議場・10/19…50 人） （パンフレット等配布などによるプロモーション活動） ◎オータムマルシェ…1,000 個 （JR 有楽町駅前広場・11/18～19） （芋及びレンコン、さつま芋つめ放題・11/18…500 個・11/19…500 個） ◎新生銀行かすみマルシェ （新生銀行本店・11/15） （かすみキッチンによる市産品販売）			
平成２９年度	・シティプロモーションを推進し、本市の知名度向上に努める。特にちよだフードバレーネットワークや産業能率大学等との連携を継続し、首都圏でのイベントに参加するなど、農水産物の宣伝や観光誘客に係るＰＲを実施する。 ・首都圏へのＰＲの実施。 ・販路拡大にあたっては、ジェトロ茨城との連携や地域商社事業など、海外へ向けた可能性について調査を行う。 ・農業公社、地域商社、観光協会の各連携も含め、勉強会あるいはプロジェクトチームにより、組織形態を研究する。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	1-2-2							1-2-2
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	６次産業化の推進		調査・研究					
施策名	**付加価値のある加工品の開発**		検討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当　農林水産課　観光商工課		実施					
関連部署	政策経営課　健康づくり増進課		評価					
現在の課題	豊富な農水産物を有しているにもかかわらず、首都圏など消費地への PR や販売の面で十分とはいえない状況である。また、本市民に対してもこれら地域資源の周知ができていない。							
必要な対応	市内農水産物の他商品との差別化を図るとともに、収益性の高い商品開発を行う取組み（研究開発、新規設備投資等）を支援し、本市の特産品「湖山の宝」として育成するとともに、積極的に情報発信を行う。 ・開発支援（大学等との連携、メニュー開発、規格外品の加工商品化） ・生産者の組織化によりブランディング推進 ・新たな加工場や設備の整備に対する支援（助成） ・湖山の宝に関する情報発信強化							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	10.0%　40.0%			新商品 20 品目 ※湖山ブランド
年度	H27　H28			
結果	2 品　6 品			
達成度説明	H27…2 品÷20 品＝10.0% H28…(2 品＋6 品)÷20 品＝40.0%			
H27 達成度	40.0%・2 品			
H28 達成度		120.0%・6 品		
H29 達成度				年 5 品
H30 達成度				
H31 達成度				
達成度説明	H27…年 5 品に対して 2 品であることから（2 品÷5 品＝40.0%） H28…年 5 品に対して 6 品であることから（6 品÷5 品＝120.0%）			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度		100.0%		・開発支援（大学等との連携、メニュー開発、
H28 進捗度	60.0%			

H29 進捗度					規格外品の加工商品化） ・生産者の組織化によりブランディング推進 ・新たな加工場や設備の整備に対する支援（助成） ・湖山の宝に関する情報発信強化
H30 進捗度					
H31 進捗度					
進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定		
	H27	・商品開発支援(地域産品開発) ・ブランディング推進(ブランド認証推進部会)			
	H28	・産官学連携による新たな加工品開発支援 ・果樹加工品の開発(ＤＭＯ推進事業) ・ブランディング推進(ブランド認証推進部会)	・湖山の宝巡りパスポートとの連携 ・加工場や設備整備に対する支援		
	H29		・産官学連携による新たな加工品開発支援 ・第二創業への支援等６次産業化促進 ・新商品の積極的なＰＲ ・地域ポイント制度との連携検討 ・ＥＣサイトを活用した販売展開 ・湖山の宝推奨品の育成 ・湖山の宝に関する情報発信の強化		
	H30				
	H31				
説明	H27…商品開発支援（地方創生先行型交付金）及びブランディング推進に取り組んだため 100.0%とした。 H28…商品開発支援及び果樹加工品開発（地方創生加速化交付金）に取り組んだが、新たな向上等に対する支援、湖山の宝に関する情報発信強化が未実施となっているため 60.0%とした。（3 項目÷5 項目＝60.0%）				

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
検討									→	→	→	→								
地域ポイント制度との連携																				
情報発信強化																				
実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
加工品開発支援																				
果樹加工品開発																				
ブランディング推進																				
湖山の宝推奨品育成																				
情報発信強化																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度	【地方創生先行型交付金活用】 H27 KPI…地域産品開発　2 件	[内容] ・開発の支援 ・農業振興事業(ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ認証推進部会) [結果] ・ドライフルーツ開発 （サンプル５品目） ・湖山の宝推奨品…新規 2 件・継続なし 2 件増(推奨品総計 18 件)	10.0%	・製造設備等の整備 ・推奨品の掘り起し	
平成２８年度	・産官学連携による新たな加工品の商品化に向けた取組みを実施。また、これら取組を実施する事業者に対してのハード支援を行う。 ・地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業に伴う、果樹を使った加工品の開発、販売 ・新商品については、湖山の巡りパスポートとの連携をするなど、積極的な PR の実施、細かな情報の提供を行う。	[内容] ・産業能率大学・筑波銀行との連携事業 ・市ＨＰ等により新商品認定について情報提供を実施 ・農業振興事業(ブランド認証推進部会) ・ｲﾍﾞﾝﾄにおける推奨品 PR 活動の実施 [結果] ・パタータドッグの開発 →自由が丘ｽｲｰﾂﾌｪｽﾀで販売 ・食べるサングリアの開発 →自由が丘女神まつりで販売 ・湖山の宝推奨品…新規 6 件・更新 2 件 6 件増(推奨品総計 24 件)	40.0%	・開発商品の普及 ・湖山の巡りパスポートを見直す。	・市内飲食店等との連携
平成２９年度	・産官学連携による新たな加工品の商品化に向けた取組みを実施。また、第二創業への支援など、６次産業化を促進する。 ・新商品について、各種ツールを使って積極的なＰＲの実施、細かな情報提供を進める。 ・地域ポイント制度との連携を検討する。 ・㈱かすみがうら未来づくりカンパニーと連携し、ＥＣサイトを活用し、推奨品の幅広い販売展開を進める。 ・湖山の宝推奨品の育成及び認定品の増を図る。 ・湖山の宝に関する情報発信の強化検討。				

平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	1-3-1		1-3-1
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	
施策	新たな企業進出の支援	年度別計画	
施策名	**積極的な企業誘致**	年度別計画	
施策推進部署	地方創生・事業推進担当	年度別計画	
関連部署	税務課	年度別計画	
現在の課題	利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を生かした企業誘致が十分に行われていない		
必要な対応	現在展開している企業立地促進助成金や空き工場等のあっ旋を図り、市内への新たな企業進出を促進する。 ・企業立地促進助成金の拡充（税制を含めた優遇措置） ・本社移転の場合は現行制度に上乗せ ・工業団地内等において空き工場や空き土地のあっ旋		

年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
調査・研究					
検討					
実施					
評価					

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	25.0%			本社1社 本社以外1社 新規雇用30人 新たな設備投資をする企業数5社
年度	H27			
結果	本社以外　1社			
達成度説明	H27…4項目のうち1項目(本社以外1社)達成のため25%とした。			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27進捗度		100.0%		・企業立地促進助成金の拡充（税制を含めた優遇措置） ・本社移転の場合は現行制度に上乗せ ・工業団地内等において空き工場や空き土地のあっ旋
H28進捗度		100.0%		
H29進捗度				
H30進捗度				
H31進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・企業立地促進助成金制度 ・固定資産税免除制度 ・企業立地促進融資利子補給金制度	
	H28	・企業立地促進助成金制度拡充 ・固定資産税免除制度	

		・企業立地促進融資利子補給金制度 ・空き地、空き工場の情報収集、マッチング ・既立地企業の拠点化支援		
	H29		・企業立地助成金制度の拡充及び情報発信 ・固定資産税免除制度 ・企業立地促進融資利子補給金制度 ・空き地、空き工場の情報収集、マッチング ・既立地企業の拠点化支援	
	H30			
	H31			
説明	H27…取り組み項目を実施しいるため 100.0%とした。 H28…取り組み項目を実施しいるため 100.0%とした。			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
実施																				
企業立地促進助成金拡充																				
固定資産材免除制度																				
融資利子補給金制度																				
空き工場等のあっ旋																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度	【地方創生先行型交付金活用】 H27 KPI…新規雇用者７人 …新規設備投資企業数２社	［内容］ ・企業立地促進助成金交付 ・固定資産税免除 ・融資利子補給金交付 ［結果］ ・新規雇用者数６人・設備投資企業１社 設備投資助成　25,382,000 円 雇用助成金　　1,800,000 円 ・固定資産税免除　１社 ・融資利子補給金　１社	25.0%	・制度の周知 ・排水施設等インフラの整備	
平成２８年度	・本社機能を含めた企業の移転等に対し、これま	［内容］	25.0%		

	での助成制度の上乗せを検討し、更なる立地推進を進める。 （本社機能移転の際の上乗せ、投下設備投資額上限の緩和など） ・工業団地内外の空き地や空き工場の情報収集を行い、あっ旋やマッチングを行う。 ・現在立地している企業の拡大については、用地の確保に努めるなど引き続き支援を行う。	・固定資産税免除 ［結果］ ・固定資産税免除　１社（継続）			
平成２９年度	・企業立地助成金制度の拡充及び情報発信 （敷地整備・インフラ整備助成金の追加、雇用条件の緩和） ・工業団地内外の空き地や空き工場の情報収集及び、あっ旋やマッチングを行う。 ・既立地企業の拠点化支援 ・固定資産税免除制度 ・企業立地促進融資利子補給金制度				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	1-3-2							1-3-2
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな企業進出の支援		調査・研究					
施策名	**窓口の一本化**		検討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当		実施					
関連部署			評価					
現在の課題	利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を生かした企業誘致が十分に行われていない							
必要な対応	市内の企業立地に適している土地について情報収集、情報発信を行う。また、進出希望企業に対して意向を把握するとともに、相談や支援手続きをワンストップ化できるよう体制づくりを行う。 ・コンシェルジュ配置 ・企業の意向調査 ・立地場所のＰＲ（ポスター・チラシ・ＨＰ等）							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	50.0%			コンシェルジュ１人
年度	H28			
結果	１人配置　（兼務）			
達成度説明	H28…1 人配置をしているが、兼務であるため 50.0%とした。			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度	100.0%			・コンシェルジュ配置 ・企業の意向調査 ・立地場所のＰＲ（ポスター・チラシ・ＨＰ等）
H28 進捗度	90.0%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・ＰＲパンフレット作成 ・企業誘致ＨＰの構築 ・企業の意向調査	
	H28	・コンシェルジュ配置(兼務) ・空き地、空き工場の情報収集、マッチング ・企業訪問(意向調査)の実施	

		・企業立地実務研修の受講 ・首都圏等の企業への積極的な誘致活動		
	H29		・コンシェルジュ配置 ・空き地、空き工場の情報収集、マッチング ・企業訪問(意向調査)の実施 ・市内立地企業の情報交換の場づくり	
	H30			
	H31			
説明	H27…ＰＲパンフレット作成、企業誘致ＨＰの構築（地方創生先行型交付金）及び企業の意向調査に取り組んだため100.0%とした。 H28…空き地、空き工場の情報収集、マッチング及び企業の意向調査に取り組んだが、積極的な誘致活動については一部の実施となっているため90.0%とした。（4.5項目÷5項目＝90.0%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
ＨＰ構築		■	■	■																
企業訪問	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
コンシェルジュ						■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
企業立地実務研修					■				■				■				■			
産業立地研修							■				■				■					
積極的な企業誘致					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課　題		(Action)　改善等
平成２７年度	【地方創生先行型交付金活用】	[内容] ・企業誘致やシティプロモーションとしてのＰＲ用パンフレットの作成 ・企業誘致・創業支援等専用ＨＰの構築（空き土地・空き工場の物件情報の提供含む） ・企業の意向調査 [結果] ・ＰＲ用パンフレット作成	0.0%	・空き土地・空き工場登録の掘り起こし ・市内立地企業の情報交換の場づくり	

		・専用ＨＰ開設 ・意向調査…9 社 5/19…3 社・6/23…3 社・7/28…3 社			
平成２８年度	・コンシェルジュを配置し、企業立地や創業等の相談をできるよう体制づくりを行う。 ・工業団地内外の空き地や空き工場の情報収集を行い、あっ旋やマッチングを行う。 ・首都圏等の企業に対し、積極的な誘致に向けた取組みを行う。	［内容］ ・空き土地、空き工場の物件情報提供 ・コンシェルジュ配置 1 名 ・企業の意向調査の実施 ［結果］ ・空き土地　3 件 ・コンシェルジュ配置 1 名(兼務) ・企業立地実務研修の受講 ・意向調査…6 社(5/20…3 社・7/12…3 社)	50.0%		
平成２９年度	・専任のコンシェルジュを配置し、企業立地や創業等の相談をできるよう体制づくりを行う。 ・工業団地内外の空き地や空き工場の情報収集を行い、あっ旋やマッチングを行う。 ・市内立地企業の情報交換の場を設け、既立地企業の要望等を把握する。 ・首都圏等の企業に対し、積極的な誘致に向けた取組みを行う。 ・企業訪問の実施 ・企業立地実務研修の受講				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	1-3-3							1-3-3
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな企業進出の支援		調査・研究					
施策名	**都市計画区域の見直し**		検討					
施策推進部署	都市整備課		実施					
関連部署	地方創生・事業推進担当　政策経営課　農林水産課　農業委員会		評価					
現在の課題	利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を生かした企業誘致が十分に行われていない							
必要な対応	神立駅周辺やインターチェンジ周辺など、新たに企業進出が可能となるよう都市計画の見直しに関する検討、県等との協議を進める。 ・用途地域見直し（工専地域等の拡大）							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				工専地域 10㌶拡大
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・用途地域見直し（工専地域等の拡大）
H28 進捗度		100.0%		
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・既存企業の要望確認(企業訪問)の実施	
	H28	・既存企業の要望確認(企業訪問)の実施 ・都市計画法上の立地可能性調査	
	H29		・市街化調整区域内における工場立地及び市街化編入の再検証 ・企業訪問(意向調査)の実施
	H30		
	H31		

説明	H28…既存企業の要望確認及び都市計画法上の立地可能性調査に取り組んだため 100.0%とした。

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
立地の可能性																				
企業の要望確認																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			―		
平成２８年度	・向原工業団地をはじめとした工業専用地域の見直しに向けた取組みを進め、既存企業の敷地拡大等の要望に対応する。 ・既存企業等の要望確認・農振の見直し・工専地域の拡大など	［内容］ ・都市計画法に基づく立地の可能性について調査 ・市街化調整区域への敷地拡張の可能性について調査 ・市街化編入の可能性について調査 ・企業の意向調査の実施 ［結果］ ・都市計画法に基づく地区計画で検討可、ただし、農振農用地、一種農地等の見直しを検討する必要あり。 ・市街化調整区域へ拡張できる開発許可の基準なし。 ・市街化の編入は市街化区域の充足率が満たされていないため困難。 ・意向調査…6 社(5/20…3 社・7/12…3 社)	0.0%		
平成２９年度	・市街化調整区域内（農業振興区域の見直し（H30.4 頃）も連動）における工場立地の再検証を実施する。 　地区計画による立地の検証 　市街化編入の再検証 ・他市町村の実例を情報収集する。 ・企業訪問の実施				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	1-3-4							1-3-4
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな企業進出の支援		調査・研究					
施策名	**インフラ整備**		検討					
施策推進部署	政策経営課		実施					
関連部署	都市整備課		評価					
現在の課題	利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を生かした企業誘致が十分に行われていない							
必要な対応	市内の遊休地等へ新たな企業進出が想定できる地区については、関係者との協議を進めながら、インフラ等の整備を実施する。 ・立地に必要なインフラについて優先的に整備する。（スマートインター等の整備）							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				ｽﾏｰﾄｲﾝﾀｰ設置に向けた取組み 進捗率 0%⇒50% ※進捗率５０％ (方向性・取り組みの検討) 新規参入企業数 １社
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・立地に必要なインフラについて優先的に整備する。（スマートインター等の整備）
H28 進捗度	50.0%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27		
	H28	・立地企業の拠点化の推進(企業訪問の実施)	・スマートインター整備に向けた調査研究及び関係機関との協議
	H29		・スマートインター整備に向けた調査研究及び関係機関との協議 ・立地企業の拠点化の推進(企業訪問の実施)
	H30		
	H31		

説明	H28…取り組み項目２項目中１項目の実施となっているため 50.0%とした。（1 項目÷2 項目＝50.0%）	

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
関係機関との協議																				
企業訪問の実施																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			—		
平成２８年度	・スマートインター整備に向けた調査・研究、場所の検討や茨城県、関東地方整備局及び NEXCO など関係機関との協議。 ・新規の企業誘致だけでなく、立地企業の拠点化の推進	[内容] ・国が選定する準備段階調査箇所に向けて、県高速道路対策室等と協議 [結果] ・スマートＩＣ設置を進めるため、関東地方整備局が実施するスマートＩＣ相談会にエントリーが必要となる。県高速道路対策室と連絡調整しながら次年度の相談会へエントリーを進める。	0.0%	・スマートＩＣの必要性と整備効果の検討	・関東地方整備局が実施するスマートＩＣ相談会へエントリー
平成２９年度	・スマートインター整備に向けた調査・研究、場所の検討や茨城県、関東地方整備局及び NEXCO など関係機関との協議。 ・新規の企業誘致だけでなく、立地企業の拠点化の推進				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	1-4-1							1-4-1
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	創業・起業の支援		調査・研究					
施策名	**創業・起業の推進**		検討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当		実施					
関連部署	秘書広聴課　健康づくり増進課　子ども家庭課　生涯学習課		評価					
現在の課題	雇用の創出を目的とした創生施策に対し、現在は創業に対する支援制度を設けておらず、本市への創業者受け入れ態勢が整っていない。							
必要な対応	地域資源等活用した創業･起業・第二創業を推進するため、相談窓口の設置、セミナー等の開催、専門家（商品企画、販促、金融等）等による支援体制の構築を行う。また、国の制度等を活用しながら、初期投資経費の一部を助成する。 ・創業支援事業計画策定による創業支援 ・相談窓口設置（ワンストップ窓口） ・創業塾・講演会・セミナー等の開催 ・専門家による支援の制度化 ・事務所のあっ旋 ・創業支援助成制度創設（H28～）							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	37.5%			創業・起業　56社 （14社×4年） ※相談窓口において相談して創業した件数
年度	H28			
結果	21社			
達成度説明	H28…21社÷56社＝37.5%			
H28達成度	150.0%　・21社			
H29達成度				年14社
H30達成度				
H31達成度				
達成度説明	H28…21社÷14社＝150.0%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27進捗度				・創業支援事業計画策定による創業支援 ・相談窓口設置（ワンストップ窓口）
H28進捗度		100.0%		
H29進捗度				
H30進捗度				

H31 進捗度					・創業塾・講演会・セミナー等の開催 ・専門家による支援の制度化 ・事務所のあっ旋 ・創業支援助成制度創設（H28～）
進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定		
	H27	・創業支援事業計画策定 ・大人大学講座の開講 ・相談窓口設置			
	H28	・創業支援ネットワーク会議の設置 ・相談窓口設置 ・創業啓発講演会の開催 ・創業支援セミナーの開催 ・創業支援補助制度の実施 ・大人大学講座の開講			
	H29		・創業支援ネットワーク会議の開催 ・創業相談窓口の設置 ・創業啓発講演会の開催 ・創業支援セミナーの開催 ・空き店舗(事務所)バンク制度構築の検討 ・専門家支援制度の検討 ・事業承継支援制度の検討 ・大人大学講座の開講		
	H30				
	H31				
説明	H28…取り組み項目を実施しているため 100.0%とした。				

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
検討									→	→	→	→								
空き店舗等バンク																				
専門家支援制度																				
事業承継支援制度																				
実施			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
創業支援ﾈｯﾄﾜｰｸ																				
創業支援事業計画策定																				
相談窓口設置																				

創業啓発講演会																						
創業支援セミナー																						
創業支援補助制度																						
事務所等のあっ旋																						
専門家支援制度																						
事業承継支援制度																						

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		[内容] ・創業支援事業計画の策定 ・相談業務の開始　H27.2.1～ ・創業支援補助制度創設 ・大人大学「新企画プランナー講座」の開講 （地域の担い手の発掘と育成を目標に20代～40代の若い人を対象に実施。「地元特産の栗の需要を拡大するため新しい事業を企画してみよう！」というテーマでワークショップ形式で実施。） [結果] ・創業支援事業計画認定　H28.1.13 ・０社(2/1～3/31相談窓口利用創業数) ・創業支援ネットワーク設立(2/1) ・創業支援事業補助要綱(3/31告示) ・大人大学講座 申込者11人・4回実施 11/13…7人・12/11…4人 １/22…3人・2/19…4人	―	・創業機運の醸成	
平成２８年度	・創業支援事業計画に基づき、創業・第二創業・新事業展開に対する支援（創業支援補助制度）の実施。 ・ワンストップ窓口の確立と支援制度の周知	[内容] ・創業支援ネットワーク会議 7月28日・11月17日 ・創業相談窓口設置 ・創業啓発講演会　10月7日	37.5%	・現段階の大人大学の一番の目的はとりあえず若者を集めることであるため、それなりに成果が	・せっかく集まった大人大学受講生を大切にし、大人クラブへの誘導を図る。

		・創業支援セミナー H28.10.23～H28.12.18（全6回） ・女性のための創業支援セミナー H29.3.5 ・創業支援補助制度 ・大人大学「ズバリなっとく稲吉神立学」 （20代30代の若い人を対象に、本市の商工業等の中心地域であり、時代とともに変化を遂げてきた稲吉神立地区の多業種の経営者に、時代の変遷にどのように対応してきたか、今後の展望などを聞き、実際のビジネスの現場を学ぶ機会とする。） ［結果］ ・創業啓発講演会…12名参加 ・創業支援セミナー…受講者12名 ・女性のための創業支援セミナー…受講者7名 ・創業支援補助制度 交付決定…新事業展開2件 ・21社(4/1～3/31相談窓口利用創業数) 商工会…13・金融公庫…7 保証協会…1 ・大人大学「ズバリなっとく稲吉神立学」 10／28　居酒屋　８人 11／25　電器屋　６人 1／20　レストラン（ピザ屋）７人 2／24　認定農業者（稲・果樹）６人		上がったと考えるが、最後に学んだことを話し合ったり、発表する場を設けるべきであったかもしれない。	
平成２９年度	・創業支援ネットワーク会議の開催 ・創業相談窓口の設置 ・創業啓発講演会の開催 ・創業支援セミナーの開催 ・空き店舗(事務所)バンク制度構築の検討 ・専門家支援制度の検討				

	・事業承継支援制度の検討 ・大人大学講座の開講				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	1-5-1		1-5-1
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	年度別計画	
施策	就業環境の改善促進	年度別計画	
施策名	**女性の活躍できる場づくり**	年度別計画	
施策推進部署	地方創生・事業推進担当　子ども家庭課　生涯学習課	年度別計画	
関連部署	秘書広聴課	年度別計画	
現在の課題	女性が就労しやすい環境づくりができておらず、休職などの復帰等がスムーズに行われていない。		
必要な対応	本市出身の若者（特に女性）がUターンし市内で就職ができるよう、女性が就労しやすい環境づくり（託児所設置や産休･育休制度等）を行う企業を支援する。また、若者（特に女性）に対して、商工会との協働により市内産業の情報発信等を積極的に実施する。 ・企業等の託児所設置等の充実・設置補助 ・若者が就労しやすい環境づくり ・市内産業の情報発信や就職セミナー等の開催		

年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
調査・研究					
検討					
実施					
評価					

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				託児所設置箇所数 5 か所
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・企業等の託児所設置等の充実・設置補助 ・若者が就労しやすい環境づくり ・市内産業の情報発信や就職セミナー等の開催
H28 進捗度	66.7%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・大人大学講座の開講	
	H28	・大人大学講座の開講 ・託児所設置意向調査 ・30 歳の大同窓会の検討、実施準備、実施 ・ファミリーサポートセンター事業の調査・検討	・託児所設置助成制度の検討 ・企業等の雇用情報の収集
	H29		・労働団体との意見交換

			・ファミリーサポートセンターの設置及び運用開始 ・大人大学講座の開講（４講座） ・30 歳の大同窓会の実施	
	H30			
	H31			
説明	H28…大人大学講座及び 30 歳の大同窓会等(地方創生加速化交付金)に取り組んだが、託児所設置助成制度の検討等が未実施となっているため 66.7%とした。（4 項目÷6 項目＝66.7%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究					→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
労働団体等と意見交換										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
就労環境づくり									■	■	■	■								
託児所設置意向調査						■	■													
共同設置研究									■	■	■	■								
ファミリーサポートセンター					■	■														
検討					→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
企業支援制度													■	■	■	■				
情報発信方法													■	■	■	■				
就職支援セミナー									■	■	■	■								
30 歳の大同窓会						■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
就労環境づくり									■	■	■	■								
ファミリーサポートセンター					■	■	■	■												
実施準備							→		→	→										
30 歳の大同窓会							■													
ファミリーサポートセンター									■	■										
実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
大人大学講座	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
大人クラブ					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
若者向け組織の連携等									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
企業支援制度																	■	■	■	■
情報発信の取組み																	■	■	■	■
就職支援セミナー													■	■	■	■	■	■	■	■

30歳の大同窓会																				
ファミリーサポートセンター																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容］ ・大人大学「ワーキング・ウーマンライフのすてきライフ」ミニ講演会の開講 ・大人大学「あなたの魅惑を再上昇させるスキルアップ講座」の開講 ［結果］ ・「ワーキング・ウーマンライフのすてきライフ」ミニ講演会 7/12…参加者数 25 人 ・「あなたの魅惑を再上昇させるスキルアップ講座」 10/23…6 人・11/27…7 人 12/18…6 人・1/29…6 人	—	・企業との連携	
平成２８年度	・企業等の託児所設置可能性の調査、助成制度の検討。 ・若者(特に女性)が就労しやすい環境づくりを進めるため、企業等の雇用情報の収集を進める ・女性のための復職支援セミナー等の開催 ・同窓会をきっかけとして、Uターンを考えている方に対し、地元での就職や起業などのあっ旋・支援を行うための体制構築を行う。この同窓会を開催するにあたり、地元に残っている中心となる人を中心に「呼びかけ隊」を結成、30 代の同窓会名簿の作成、企画会社協働による「呼びかけ隊」の構築、また、雇用創出のための関係者・協力者への調整等を行う。	［内容］ ・「３０歳の大同窓会」の実施 本年度に３０歳になる市内４中学校卒業生を対象に同窓会を実施。 対象者…450 人 ・託児所設置アンケート実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施に向けた調査・検討・要綱制定 ・大人大学（20～40 代対象） 「簡単サクサクお手軽ライフ講座」 「ズバリなっとく稲吉神立学」 ・大人クラブ 20～40 代を対象とした、以前の青年会のような地域の若者の組織「大人クラブ」の設立。 ［結果］ ・３０歳の大同窓会…H29.1.28 実施	0.0%	・実行委員の確保 ・参加者の確保 ・準備事務の実施 ・企画内容の精査 ・託児所設置調査結果から、事業所が単独で、託児所を設置するのは困難。 ・現段階の大人大学の一番の目的はとりあえず若者を集めることであるため、成果が上がったと考えるが、講座の内容は担当者が一人	・３０歳の大同窓会 参加者を増加させるため、実施内容やコンセプトなど大幅な見直しが必要である 参加費の減額見直し 実行委員の大幅な増員が必要 実行委員が自ら継続して活動するためのきっかけづくりとなるような仕組みの構築が必要 「Ｕターン相談コーナー」「就業・起業相談コーナー」の充実 ・大人大学講座の企画については担当者だけでなく、担当係で協議、検討する。 ・大人クラブとして、イベントや催し

		実行委員…10 人 参加者…58 人 アンケート結果 市内在住で継続して住みたい意向あり…89.0% 市外在住者で今後市内へ住みたい意向あり…46.1% ・回答２事業所（未回答１事業所） 回答内容 Ａ社：過去に検討したが、課題が多く実現しなかった。 Ｂ社：単独設置の予定は無いが、他社との共同設置・運営の検討を行政に要望する。 ・大人大学 「簡単サクサクお手軽ライフ講座」 ①ナチュラルお掃除教室…　６人 ②簡単アウトドア教室…　８人 ③プロに教わるゴルフ教室…７人 ④新感覚 NIGHT 果樹狩り…　13 人 「ズバリなっとく稲吉神立学講座」 ①居酒屋から眺める稲吉神立学…８人 ②電器屋から眺める稲吉神立学…６人 ③レストランから眺める稲吉神立学…７人 ④農家から眺める稲吉神立学…６人 ・大人クラブ 5／27 設立総会（会員 13 人） 6／26 会員交歓会　６人 7／21 企画会議　４人 10／23 企画会議　２人 10／28 大人大学へ参加　３人 12／5 企画会議　４人 12／30 イベント企画 「餅つき＆そば打ちパーティー」		で企画してきたため、内容が若干偏っていたように感じる。 ・28 年度設立した大人クラブの目標であった会の安定化、会員の定着に向けて事業展開し、成果は上がったと考えるが、今後は、クラブ内でただ楽しむだけでなく、クラブ外へアピールするような地域活動にも取り組んでほしい。	への参加や自主企画などにも取り組んでもらえるよう働きかけていく。

		５人＋一般 10 人 1／12 企画会議　４人 1／20 大人大学へ参加　３人 2／8 企画会議　３人 2／19 イベント企画 「かすみキッチン＆いちご狩り」 ４人＋一般６人 2／24 大人大学参加　２人 3／9 企画会議　３人 3／18 イベント企画 「ヨナカツでタイムスリップ」 ３人＋一般１人			
平成２９年度	・３０歳の大同窓会 ①同窓会の開催、協賛及び支援 ・かすみがうら市商工会、かすみがうら地域産業プラットフォーム等の協力を得て、当該年度に３０歳になる方を対象に同窓会を開催する。 ②Ｕターン相談の実施 ・同窓会開催時に相談コーナーを設置する。 ③就業・起業相談の実施 ・同窓会開催時に相談コーナーを設置する。 ④相談者へのフォローアップ ・相談者へ市の情報等（創業支援セミナー等）の提供を行う。 ⑤地域ポイント制度活用の案内 ⑥いばらきふるさと県民制度への加入勧奨 ⑦生涯学習課と連携し、成人式実行委員から大人クラブまでの中間的な活動ステージとなるよう検討を実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施に向けた準備及び事業開始 準備：援助会員の募集・研修実施、依頼会員の募集及び会員登録				

	事業開始：アドバイザーによる提供会員と依頼会員の利用調整 ・大人大学、大人クラブ 大人大学から大人クラブへの流れを作る。 更に平成27年度復活した高校生会(会員９人)や自主運営する成人式を目指して毎年組織する成人式実行委員会と絡めた活動に取り組む。 中学生ジュニアリーダー⇒高校生会⇒成人式実行委員会⇒大人クラブの流れを作り、最終的には地域に残る、若しくは戻る若者を増やす。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	2-1-1							2-1-1
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	スポーツによる地域活性化		調査・研究					
施策名	**自然環境を活かしたスポーツのイベント開催**		検討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当　政策経営課　観光商工課		実施					
関連部署	秘書広聴課　生涯学習課		評価					
現在の課題	交流人口の増加に対する施策として、現在はエンデューロといったイベントがあるが、その他、地域資源を活用したイベントが少ない。また、イベントごとの連携（情報共有）が図れていない。							
必要な対応	現在実施しているかすみがうらエンデューロでのノウハウを活かし、地域特産品の販促活動と一体となったツアー企画やイベント開催を行い、交流人口の増加を図る。 ・サイクリングプログラムを核とした地域活性化 DMO 推進事業 ①地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業 ②地域の特産物を活かしたレストラン事業 ③フルーツなど地域資源を活用した６次産業化事業 ④地域内での交流を促進するシェアスペース運営事業 ⑤PR 並びに情報発信・広告宣伝、地域での雇用促進・人材育成事業 ⑥データ収集・分析 ・トレッキングイベントの開催							

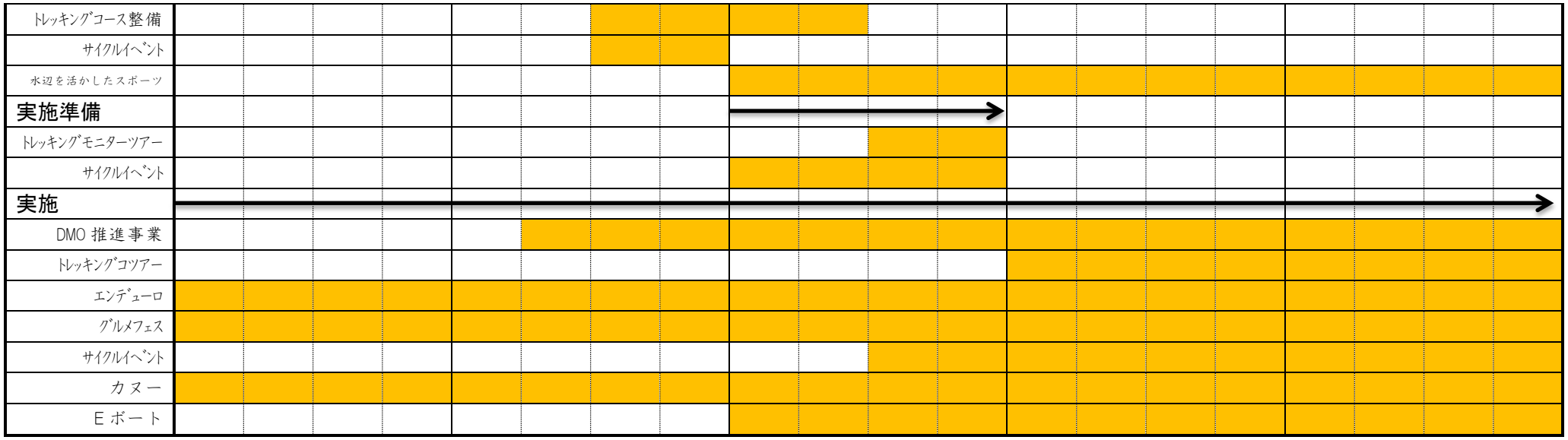
項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	3.4%			交流人口　5,600 人増加 講座開講 8 回 イベント開催 4 回
年度	H27　・H28			
結果	14 人　176 人			
達成度説明	H27…14 人÷5,600 人＝0.3% H28…(14 人＋176 人) ÷5,600 人＝3.4%			
H27 達成度	1.0%			交流人口　1,400 人増加 ｻｲｸﾘﾝｸﾞ 600 人/年 ﾄﾚｯｷﾝｸﾞ 600 人/年 ｲﾍﾞﾝﾄ 100 人/回 講座 100 人/2 回
H28 達成度	12.6%			
H29 達成度				
H30 達成度				
H31 達成度				
達成度説明	H27…14 人÷1,400 人＝1.0%(サイクリング…14 人) H28…176 人÷1,400 人＝12.6%(ライドクエスト…71 人・レンタサイクル…105 人)			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度	66.7%			・サイクリングプログラムを核とした地域活性化DMO推進事業 ・トレッキングイベントの開催
H28 進捗度	66.7%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・サイクリングプログラム構築 ・トレッキングコースの整備(ボランティア)	・トレッキングコースの調査
	H28	・地域活性化ＤＭＯ推進事業実施 ・エンデューロの開催 ・グルメフェスの開催 ・新規サイクリングイベントの検討	・トレッキングモニターツアーの実施 ・アプリ開発の検討
	H29		・地域活性化ＤＭＯ推進事業実施 ・かすみがうらエンデューロ・グルメフェスの開催 ・かすみがうらエンデューロと連動する地域資源を活用したサイクリングイベントの開催 ・トレッキングイベントのモニターツアーを実施するなど、イベントの実施に向け準備を進める。 ・新たなサイクルイベントの実施 ・Ｅボート大会の実施 ・水辺を活かしたスポーツの検討
	H30		
	H31		

説明	
	H27…サイクリングプログラム構築(地方創生先行型交付金)等に取り組んだが、トレッキングコースの調査が未実施となっているため66.7%とした。(2項目÷3項目＝66.7%) H28…地域活性化ＤＭＯ推進事業(地方創生加速化交付金)等に取り組んだが、トレッキングモニターツアー等が未実施となっているため66.7%とした。 (4項目÷6項目＝66.7%)

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
検討							→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→



年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度	【地方創生先行型交付金活用】 H27 KPI…モニタリング参加人数　30 人	[内容] ・地域資源活用サイクリングプログラム等開発業務委託実施 ・トレッキングコースの調査 ・カヌー体験等 ・かすみがうらエンデューロ ・霞ヶ浦まるごとグルメフェス ・雪入山桜ウォーク [結果] ・サイクリングプログラム構築 モニタリング参加者…14 人 ・カヌー体験…10 回・377 人 教室（海洋クラブと連携） 市民向け／ｶﾇｰ教室及び那珂川カヌーツーリング 観光向け／イベントの際のカヌー体験 ・エンデューロ＆グルメフェス…約 5,500 人 ｴﾝﾄﾘｰ 1,145･ｸﾞﾙﾒﾌｪｽ…6,764 食	0.3%	・情報発信・ＰＲ ・リピーターの確保 ・イベント間の連携	

		・山桜ウォーク…悪天候により中止			
平成２８年度	・地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業 事業実施にあたって民間が主体となり法人の設立を行い、交流センターを拠点とし、関連する様々な事業を展開する。 ・トレッキングコースの整備を行うほか、モニターツアーの実施をするなど、イベントの実施に向け準備を進める。 ・パンフの作成、アプリ開発等の検討。 ・かすみがうらエンデューロ・グルメフェスの開催 ・サイクリング事業へ地域ポイント等を活用する仕組みづくりを検討する。	［内容］ ・かすみがうらエンデューロ ・霞ヶ浦まるごとグルメフェス ・雪入山桜ウォーク ・ライドクエストの実施 ・新たなサイクルイベントの検討 ・サイクリング事業へ地域ポイント等を活用する仕組みづくりを検討 ・カヌー体験 ［結果］ ・エンデューロ＆グルメフェス…約 4,000 人 ｴﾝﾄﾘｰ…約 1,300・ｸﾞﾙﾒﾌｪｽ…約 4,000 人 ・山桜ウォーク…133 人 ・カヌー体験…6 回・358 人 教室（海洋クラブと連携） 市民向け／カヌー教室及び那珂川カヌーツーリング 観光向け／ｲﾍﾞﾝﾄの際のカヌー体験 ※土浦海洋クラブ（ラクスマリーナ）との連携事業あり ・ライドクエスト…71 人 ・レンタサイクル…105 人 ・新規サイクルイベント「ライドハンターズ（予定参加者数２００人）」を計画	3.4%		
平成２９年度	・かすみがうらエンデューロ・グルメフェスの開催 ・かすみがうらエンデューロと連動する地域資源を活用したサイクリングイベントの開催 ・トレッキングイベントのモニターツアーを実施するなど、イベントの実施に向け準備を進める。 ・新たなサイクルイベントの実施 ・カヌーについては、従来の事業に加え、土浦海				

	洋クラブ（ラクスマリーナ）との連携による事業も進める。 ・Ｅボート大会の実施 ・水辺を活かしたスポーツの検討				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	2-1-2							2-1-2
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	スポーツによる地域活性化		調査・研究					
施策名	**ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実**		検討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当　政策経営課　観光商工課		実施					
関連部署			評価					
現在の課題	交流人口の増加に対する施策として、現在はエンデューロといったイベントがあるが、その他、地域資源を活用したイベントが少ない。また、イベントごとの連携（情報共有）が図れていない。							
必要な対応	山・湖などの地域資源を活かしたスポーツによる集客を促進するため、安全で快適に利用できるサイクリング・トレッキングコースや拠点となる施設の整備を行う。 ・案内標識、トイレ、サイクルラックや空気入れ等の施設整備 ・インバウンドに向けた外国語の案内表示、Wi-Fi 等の整備の充実 ・雪入ふれあいの里公園などを拠点としたトレッキングコース・施設の整備							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				施設 1ヶ所
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・案内標識、トイレ、サイクルラックや空気入れ等の施設整備 ・インバウンドに向けた外国語の案内表示、Wi-Fi 等の整備の充実 ・雪入ふれあいの里公園などを拠点としたトレッキングコース・施設の整備
H28 進捗度	60.0%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・サイクリングプログラム構築 ・トレッキングコース案内標識設置(ボランティア)	
	H28	・トレッキングコース整備及び標識設置 ・サイクリングサイン整備の実施 ・サイクリング拠点整備の検討	・トレッキングコースのトイレ整備の調査研究 ・インバウンド対応のサイン整備

	H29		・トレッキングコースのトイレ整備検討 ・トレッキングコース周辺のトイレ整備検討 ・トレッキングコース整備及び標識設置 ・サイクリング拠点整備の強化 ・既存施設のイノベーション検討 ・インバウンド対応のサイン整備 ・雪入への林道整備の検討 ・宿泊施設整備の調査研究	
	H30			
	H31			
説明	H28…トレッキングコース整備及び標識設置、サイン整備に取り組んだが、トレッキングコース上のトイレ整備の調査研究などが未実施となっているため 60.0%とした。（3 項目÷5 項目＝60.0%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
トイレ整備																				
補助事業の整理																				
案内標識の精査																				
宿泊施設の整備																				
検討																				
トイレ整備																				
施設イノベ検討																				
サイクリング拠点整備																				
実施準備																				
トイレ整備																				
施設イノベ設計																				
サイン整備設計																				
実施																				
トイレ整備																				
トレッキングコース整備等																				
イベント開催																				
核施設イノベ																				

サイン整備工事																				
ｻｲｸﾘﾝｸﾞ拠点整備																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容］ ・地域資源活用サイクリングプログラム等開発業務委託実施（再掲） ・サイクリングコース・イベントプログラムの検討（再掲） ・トレッキングコース案内標識の設置（ボランティアによる設置） ［結果］ ・サイクリングプログラム構築 ・雪入探検隊による案内標識設置	―	・トイレ等訪問者利用施設の整備	
平成２８年度	・ソフト面の検討に併せて、ハード面として、標識をはじめとした施設（サイン等）、コースの整備を行う。また、サイクリングについては、休憩箇所におけるサイクルラック等の設置やシャワー室、バーベキュー場の整備検討を行う。 ・サイン整備の際にはインバウンド対応を踏まえたものとする。	［内容］ ・雪入公園地内登山道の整備工事実施（12 月工事予定） ・加速化交付金を活用してサイン整備の設計、一部実施 ・次期再編交付金の活用について検討 ・サイクリング拠点整備の検討 ［結果］ ・雪入探検隊による案内標識設置 ・雪入公園地内登山道 129.4m整備 ・地方創生交付金活用による拠点整備	0.0%	・トイレ等訪問者利用施設の整備	
平成２９年度	・トレッキングコース上でのトイレ整備を検討。 ・標識をはじめとした施設（サイン等）、コースの整備を行う。 ・サイクリングについては、休憩箇所におけるシャワー室等の整備を行う。 ・既存施設のイノベーションについて具体的な検討を実施。 ・サイン整備の際にはインバウンド対応を踏まえたものとする。				

	・トレッキングコース周辺のトイレ整備について検討。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	2-2-1		2-2-1
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	年度別計画	
施策	体験型観光の推進		
施策名	**体験型観光の推進**		
施策推進部署	観光商工課		
関連部署	政策経営課　農林水産課　生涯学習課		
現在の課題	観光交流については、インバウンドも含めリピーターとして訪れてもらう施策が必要である。		
必要な対応	本市の強みでもある観光果樹園をはじめ体験型農業、漁業のイベントを開催し、本市の自然資源や特産品を知ってもらう。また、一時的な観光ではなく、繰り返し訪れたくなるよう、貸農園や宿泊施設（民泊等）の整備を進める。 ・農業体験（観光果樹園含む）、漁業体験の充実 ・体験型農場の整備及び貸農園の整備 ・体験型観光の宿泊場所の整備（民泊等） ・体験型観光マップ、ルートの作成 ・体験イベント（収穫祭等）の開催 ・霞ケ浦の遊覧・筑波山系の散策の機能充実 ・観光協会の法人化の検討 ・筑波山地域ジオパーク構想を活用した地域づくりの連携事業		

年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
調査・研究					
検討					
実施					
評価					

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	8.3% → 16.1%			体験者数　1,000 人
年度	H27　H28			
結果	83 人　78 人			
達成度説明	H27…83 人÷1,000 人＝8.3% H28…161 人(83+78) ÷1,000 人＝16.1%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・農業体験（観光果樹園含む）、漁業体験の充実 ・体験型農場の整備及び貸農園の整備 ・体験型観光の宿泊場所の整備（民泊等）
H28 進捗度	62.5%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				
進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定	

	H27	・板橋区交流バスツアー ・ＪＡＦ自然体験イベント ・ジオガイドの養成		・体験型観光マップ、ルートの作成 ・体験イベント（収穫祭等）の開催 ・霞ケ浦の遊覧・筑波山系の散策の機能充実 ・観光協会の法人化の検討 ・筑波山地域ジオパーク構想を活用した地域づくりの連携事業
	H28	・板橋区交流バスツアー ・観光協会法人化に向けた取り組み等の研究 ・ジオパーク協議会事業実施(マップ作成等) ・ジオパーク関連イベントの開催 ・ジオガイドの養成	・遊覧イベントに向けた取り組み ・貸農園、技術指導者等との調整 ・ＪＡＦ自然体験イベント	
	H29		・板橋区交流バスツアー ・ＪＡＦ自然体験イベント ・観光協会法人化に向けた取り組み等の研究 ・体験型観光の実施とＰＲ活動。 ・ジオパーク啓発及びイベント開催の検討及び実施 ・新たな体験（漁業）の検討、実施	
	H30			
	H31			
説明	H28…板橋区交流バスツアー等に取り組んだが、遊覧イベントに向けた取り組み等が未実施となっているため62.5%とした。（5 項目÷8 項目＝62.5%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
観光協会法人化																				
検討																				
観光協会法人化																				
ジオパークの活用																				
漁業体験																				
実施準備																				
観光協会法人化																				
実施																				
板橋区ﾊﾞｽﾂｱｰﾄ																				
JAF 体験イベント																				
ジオパーク協議会																				

ｼﾞｵﾊﾟｰｸ関連ｲﾍﾞﾝﾄ																				
農業体験																				
観光協会法人化																				
ジオガイドの養成																				
漁業体験																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容］ ・果樹農園 ・板橋区交流バスツアー ・ＪＡＦ自然体験イベント ・市民学芸員ジオ部会によるジオパークガイドの養成と市民向けジオ講座の開講 ［結果］ ・果樹農園…143,000 人(8 月～11 月) ・板橋区交流バスツアー…2 回・71 人(6/27…27 人・9/26…44 人) ・ＪＡＦ自然体験イベント…1 回・12 人(3/26) ・市民学芸員ジオ部会会員　10 人	8.3%	・新規訪問者増加策 ・リピーター確保 ・ツアー後の展開の取組み	
平成２８年度	・遊覧イベントの実施に向けた取組み ・観光協会の事業拡大に向け、法人化へ向けた取組みを検討。 ・体験型観光を実施していくにあたっては、貸農園、技術指導者、圃場等の確保といった調整を行う。 ・筑波山地域ジオパーク推進協議会による、PV やマップの作成（協議会事業として実施）。 ・筑波山地域ジオパーク推進協議会による、ジオツアーの企画及びデモツアー実施（協議会事業として実施）。	［内容］ ・果樹農園 ・板橋区交流バスツアー ・レンタサイクルを活用したジオツアーの開催 ・地域資源を活用したジオ関連イベントの開催 ・市民学芸員ジオ部会によるジオパークガイドの養成と市民向けジオ講座の開講 ［結果］ ・果樹農園…141,000 人(8 月～11 月) ・板橋区交流バスツアー…2 回・78 人	16.1%	・今年度筑波山地域がジオパークに認定になり地域資源の活用の推進が求められている。	

		(6/25…39 人・9/24…39 人) ・市民学芸員ジオ部会会員　10 人 ・ジオパーク関連普及啓発活動 （生涯学習課関連） ①企画展:目指せ筑波山地域ジオパーク『筑波山地域ジオパークを楽しもう！』　約 1,000 人 ②企画展記念講演会『筑波山地域ジオパークと常世思想』　37 人 ③企画展『ちょっと昔の米づくり　陸の発明家　本澤庄十郎』 ④企画展記念講演会『筑波山地域のお米、なぜ美味しい？土壌とお米の良い関係』 ⑤雪入山権現山ジオツアー　46 人 ⑥筑波山地域ジオツアー ～人と石の文化編～　23 人 ～人と水の文化編～　20 人 ⑦古代米づくり教室 7 回　17 人 ⑧霞ヶ浦学講座　5 回　26 人 ⑨祝　筑波山地域日本ジオパーク認定！学芸員と巡る出島半島ジオツアー　24 人 ⑩筑波山地域ジオパークと地域活性化シンポジウム　28 人			
平成２９年度	・観光協会の事業拡大に向け、法人化へ向けた取組みを検討。 ・体験型観光の実施とＰＲ活動 ・地域資源を活用したジオパークの啓発及びイベントの開催について検討及び実施 ・ジオパークガイドの養成 ・新たな体験（漁業）の検討、実施				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	2-2-2		2-2-2
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	年度別計画	
施策	体験型観光の推進	年度別計画	
施策名	**新たな「食」メニューの開発**	年度別計画	
施策推進部署	観光商工課	年度別計画	
関連部署	地方創生・事業推進担当　政策経営課　健康づくり増進課　農林水産課	年度別計画	
現在の課題	観光交流については、インバウンドも含めリピーターとして訪れてもらう施策が必要である。		
必要な対応	本市の特産品を使用した新たな「食」メニューについて、大学や専門家等との協力体制を構築しながら開発を進める。また、首都圏への情報発信を強化するとともに、食の文化祭等の開催による話題づくりを行う。 ・大学や専門家と協力しながら、新たなメニューの開発 ・飲食店マップの作成（SNS を活用した情報発信等） ・地域資源の掘り起こし（食の文化祭、食のコンテスト等）		

年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
調査・研究					
検討					
実施					
評価					

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				新規作成 5 食(種類) ※地元産品を活用したメニュー等の開発
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・大学や専門家と協力しながら、新たなメニューの開発 ・飲食店マップの作成（SNS を活用した情報発信等） ・地域資源の掘り起こし(食の文化祭、食のコンテスト等)
H28 進捗度	25.0%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27		
	H28	・レストラン事業(ＤＭＯ推進事業)メニュー開発	・市内飲食店マップ作成及び湖山の宝巡りパスポートとの連携 ・大学等と連携した地域食材の料理開発 ・料理コンテストの開催

	H29		・大学等と連携した地域食材の料理開発 ・地域食材を使った料理コンテストの開催検討 ・地域ポイント制度との連携検討	
	H30			
	H31			
説明	H28…レストラン事業（ＤＭＯ推進事業）メニュー開発（地方創生加速化交付金）に取り組んだが、市内飲食店マップ作成及び湖山の宝巡りパスポートとの連携や大学等と連携した地域食材の料理開発、料理コンテストの開催が未実施となっているため 25.0%とした。（1 項目÷4 項目＝25.0%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
料理コンテスト																				
メニュー開発																				
検討																				
料理コンテスト																				
新メニュー																				
地域ポイント制度との連携																				
実施準備																				
料理コンテスト																				
実施																				
料理コンテスト																				
新メニュー																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			―		
平成２８年度	・地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業に伴うレストラン事業において、メニュー開発等を行う。 ・市内飲食店マップを作成、「湖山の宝巡りパスポート」などを活用し、情報発信を行う。 ・大学や専門家と連携した地域食材の料理を開発し、様々なコンテンツを利用してＰＲする。	[内容] ・湖山の宝巡りパスポートの見直しを検討。 ・レストラン事業において、メニュー開発等を行う。 [結果]	0.0%	・湖山の宝巡りパスポートを見直す。	

	・イベントにあわせ、地域食材を使った料理コンテストを開催、優秀作品を地元の店のメニューに入れてもらうなど検討する。				
平成２９年度	・地域ポイント制度との連携検討 ・大学や専門家と連携した地域食材の料理を開発し、様々なコンテンツを利用してＰＲする。 ・イベントにあわせ、地域食材を使った料理コンテストの開催を検討、優秀作品を地元の店のメニューに入れてもらうなど検討する。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	2-2-3							2-2-3
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	体験型観光の推進		調査・研究					
施策名	**リピーターの確保**		検討					
施策推進部署	観光商工課		実施					
関連部署			評価					
現在の課題	観光交流については、インバウンドも含めリピーターとして訪れてもらう施策が必要である。							
必要な対応	本市の特産品や観光資源などを好きになってもらい、何度も訪れてみたくなるよう「地域ポイント制度を構築し、観光情報の発信やクーポンやポイント制度等のサービス機能の充実を図り、交流の活発化につなげる。 ・地域ポイント制度の普及啓発 ・観光情報等の情報発信、スポーツイベントの参加者など、他の施策で得られた情報の共有及び活用							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	7.9% 9.1%			登録者数　1,000 人
年度	H27　H28			
結果	79 件　91 件			
達成度説明	H27…79 件÷1,000 人＝7.9% H28…91 件÷1,000 人＝9.1%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・地域ポイント制度の普及啓発 ・観光情報等の情報発信、スポーツイベントの参加者など、他の施策で得られた情報の共有及び活用
H28 進捗度	60.0%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・湖山の宝巡りパスポート登録の啓発	
	H28	・湖山の宝巡りパスポート登録の啓発 ・湖山の宝巡りパスポート制度の研究 ・サイクリングプログラムのＰＲ並びに情報発信・広告宣伝事業の実施	・様々なイベント、サイクリング、観光等の紹介として、湖山の宝巡りパスポートを活用 ・観光情報等の共有及び活用
	H29		・地域ポイント制度登録の啓発

			・地域ポイント制度の研究、検討	
	H30			
	H31			
説明	H28…湖山の宝巡りパスポート登録の啓発及び制度の研究、調査、検討等、サイクリングプログラムの PR 並びに情報発信・広告宣伝(地方創生加速化交付金)に取り組んだが、様々なイベント等の湖山の宝巡りパスポート活用、観光情報等の共有が未実施となっているため 60.0%とした。 (3 項目÷5 項目＝60.0%)			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
パスポート																				
地域ポイント制度																				
検討																				
パスポート																				
地域ポイント制度																				
実施																				
パスポート																				
地域ポイント制度																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		[内容] ・湖山の宝巡りパスポート登録の啓発 [結果] ・新規登録 12 件(登録総数 79 件)	7.9%	・登録制度の見直し ・他のイベントとの情報共有	
平成２８年度	・地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業に伴う PR 並びに情報発信・広告宣伝事業の実施 ・様々なイベント、サイクリング、観光等の紹介として、湖山の宝巡りパスポートを活用していく。 ・登録者(かすみがうら市のファンクラブ)の増加を目指す。	[内容] ・湖山の宝巡りパスポート登録の啓発 [結果] ・新規登録 12 件(登録総数 91 件) ※H28.10.31 現在 ・湖山の宝巡りパスポートの制度を検討した結果、来年度以降見直しを図る。	9.1%	・湖山の宝巡りパスポートを見直す。	
平成２９年度	・地域ポイント制度構築及び実施				

	・サイクリングプログラム等のＰＲ情報発信				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	2-3-1							2-3-1
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	Uターン定住の推進		調査・研究					
施策名	**子どもたちへ地域の魅力(良さ)を伝える**		検討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当		実施					
関連部署	学校教育課　生涯学習課		評価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。							
必要な対応	進学等で市外へ出て行く子どもたちも就職等でUターンしてくるよう中学生を対象とした教育プログラムを構築し、まちづくり教育やキャリア教育を行い、地方創生に関するスキルアップを図る。 ・学校への出前事業の開催 ・まちの未来を考えるワークショップ ・地場産品や歴史文化を題材としたキャリア教育							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				18歳定住率 維持
年度				
結果				
達成度説明	H27…436人÷420人＝103.81%〈H26.4.1(17歳)→H27.4.1(18歳)〉 H28…393人÷398人＝98.74%〈H27.4.1(17歳)→H28.4.1(18歳)〉			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27進捗度				・学校への出前事業の開催 ・まちの未来を考えるワークショップ ・地場産品や歴史文化を題材としたキャリア教育
H28進捗度		100.0%		
H29進捗度				
H30進捗度				
H31進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・ふるさと教育の推進(歴史マンガ作成など) ・出前講座の実施	
	H28	・ふるさと教育の推進(歴史マンガ作成など) ・出前講座の実施 ・子どもミライプロジェクトの実施	

		・３年間のプログラム構築		
	H29		・ふるさと教育の推進 ・出前講座の実施 ・子どもミライプロジェクトの実施	
	H30			
	H31			
説明	H28…取り組み項目(地方創生加速化交付金)を実施しているため100.0%とした。			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
検討						→	→													
子どもミライ出前授業																				
子どもミライワークショップ																				
子どもミライマルシェ																				
実施準備							→	→	→	→	→	→	→	→						
子どもミライ出前授業																				
子どもミライワークショップ																				
子どもミライマルシェ																				
実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
子どもミライ出前授業																				
子どもミライワークショップ																				
子どもミライマルシェ																				
ふるさと教育(歴史マンガ等)																				
出前資料館																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		[内容] ・ふるさと教育の推進 （ふるさとに誇りと愛着を持ってもらうため、本市出身の偉人を主人公にした「歴史マンガ」を作成、発行。市内全小中学生に無料配布している。） （つくばビジネスカレッジと連携）	—	・地元企業、団体との連携	

		・出前講座の実施 （小中学校からの依頼に応じて学芸員、市民学芸員などが出前講座（地域学習）を実施。 [結果] ・歴史マンガ作成 H26…伊東甲子郎＆竹内百太郎 H27…折本良平 ・出前資料館…市内外合わせて 18 回 ※資料館小中学校見学受け入れ 24 校			
平成２８年度	・子どもたちが理解しやすい教材・コンテンツの検討・作成 地方創生といったキーワードに関するマンガ・映像教材等の製作、専門家・関係者・協力者等との調整、ヒアリングの実施 ・地方創生に関する「出前授業」の検討 専門家を派遣し中１年生を対象に分かりやすい授業の実施 ・「子どもミライワークショップ」・地元企業や事業者による「キャリア教育プログラム」（全 3 回程度）の企画検討	[内容] ・「子どもミライプロジェクト」の実施 出前授業の実施 教材の制作 市内の若手経営者等により組織した地域産業プラットフォームのメンバーの講演と意見交換を実施 ・子どもミライ学習実施計画の策定 ３年間のプログラムの構築 １年；子どもミライ出前授業 （講義、体験談の講演、作文等） ２年；子どもミライワークショップ （講義、現場見学、新商品企画書作成、講評・選考、新商品づくり） ３年；子どもミライマルシェ （講義、販売体験、学習の総括） ・ふるさと教育の推進 （ふるさとに誇りと愛着を持ってもらうため、本市出身の偉人を主人公にした「歴史マンガ」を作成、発行。市内全小中学生に無料配布している。） （つくばビジネスカレッジと連携） ・出前講座の実施 （小中学校からの依頼に応じて学芸	0.0%	・中学校との連携 ・市内事業者や農家との連携 ・産業能率大学の学生との連携	

		員、市民学芸員などが出前講座（地域学習）を実施。 ［結果］ ・「子どもミライプロジェクト」出前授業 2/7 下稲吉中　215 名　6 クラス 2/10 霞ヶ浦中　130 名　4 クラス 2/17 千代田中　67 名　2 クラス ・歴史マンガ作成 細野ぜん兵衛 市内全小中学生に無料配付 ・出前資料館…市内外あわせて 11 回 ※資料館小中学校見学受け入れ 17 校			
平成２９年度	・「子どもミライ学習」の実施 １年；子どもミライ出前授業 （講義、体験談の講演、作文等） ２年；子どもミライワークショップ （講義、現地資源見学、新商品企画書作成、講評・選考、新商品づくり） ・学習教材映像及びパンフレット作成 ・地域産業プラットフォームメンバーとの連携 ・歴史マンガ作成 ・出前資料館				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	2-3-2							2-3-2
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	Ｕターン定住の推進		調査・研究					
施策名	**住居の確保**		検討					
施策推進部署	政策経営課		実施					
関連部署			評価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。							
必要な対応	現在実施している空き家バンク制度の助成対象の拡充等を図り、良質な空き家を確保するとともに、情報提供を強化しＵＩＪターンで新たに住居を求める人たちの定住を促進する。また、活用できそうな空き家の掘り起しについて、地域住民との協力体制を構築する。 ・空き家バンク物件修繕補助（現行20万円上限）の拡充 ・空き家バンク物件募集（ポスター・チラシ・広告等） ・地域住民の協力による空き家の掘り起こし							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	20.0%			空き家バンク成約数20件
年度	H27			
結果	4件			
達成度説明	H27…4件÷20件＝20.0%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27進捗度		100.0%		・空き家バンク物件修繕補助（現行20万円上限）の拡充 ・空き家バンク物件募集（ﾎﾟｽﾀｰ、ﾁﾗｼ、広告等） ・地域住民の協力による空き家の掘り起こし
H28進捗度	60.0%			
H29進捗度				
H30進捗度				
H31進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・空き家バンク物件修繕補助の実施 ・空き家バンク物件募集(納税通知書に同封)	
	H28	・空き家バンク物件修繕補助の実施 ・空き家バンク物件募集(納税通知書に同封) ・ふるさと回帰支援センターとの連携	・空き家バンク物件修繕補助の拡充 ・空き家の掘り起こし
	H29		・空き家バンク物件修繕補助の実施

			・空き家バンク物件募集 ・ふるさと回帰支援センターとの連携 ・空き家等実態調査の実施 ・空き家等対策協議会の設置	
	H30			
	H31			
説明	H27…空き家バンク物件修繕補助(地方創生先行型交付金)及び物件募集に取り組んだため 100.0%とした。 H28…空き家バンク物件募集等に取り組んだが、空き家の掘り起こし等が未実施となっているため 60.0%とした。 (3 項目÷5 項目＝60.0%)			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
危険家屋の調査																				
潜在空き家の分析																				
実施																				
物件募集																				
物件修繕補助																				
ふるさと回帰ｾﾝﾀｰ連携																				
協議会設立																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度	【地方創生先行型交付金活用】 H27 KPI…移住者 5 人・2 世帯	[内容] ・空き家バンク物件修繕補助交付 ・募集チラシの配布(納税通知書同封) [結果] ・成約数 4 件、移住者 7 人(2 世帯)	20.0%	・空き家バンク登録物件の掘り起こし	
平成２８年度	・地元住民の協力を得ながら、空き家情報を把握し、空き家バンク物件登録数を増やす。 また、県外からの転入者を増やすため、ふるさと回帰支援センターとの連携など、首都圏において本市のＰＲを実施していく。 ・リフォーム助成金の拡充の検討。	[内容] ・空き家バンク物件修繕補助交付 ・募集チラシの配布(納税通知書同封) ・社総交を活用して危険家屋の調査を実施する。(予定) [結果]	20.0%		

	・危険家屋の調査などにより空き家の掘り起こしを実施する。	・登録件数…1 件 ・成約件数…0 件 ・空き家バンク登録件数の増加が進まない中で、助成金制度は応募の状況を加味しながら検討する。			
平成２９年度	・地元住民の協力を得ながら、空き家情報を把握し、空き家バンク物件登録数を増やす。 ・また、県外からの転入者を増やすため、ふるさと回帰支援センターとの連携など、首都圏において本市のＰＲを実施していく。 ・リフォーム助成金の拡充の検討。 ・社総交（1/2）を活用し、市内の空家件数及び戸別ごとの空家状態の把握 ・空き家等実態調査業務委託を実施し、市内の空家を把握する。 ・市の空き家等対策を効果的に推進するため、有識者等による協議会を設置する。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	3-1-1							3-1-1
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	結婚・子育て支援の充実		調査・研究					
施策名	**婚活支援**		検討					
施策推進部署	秘書広聴課		実施					
関連部署	地方創生・事業推進担当　農林水産課　生涯学習課		評価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。							
必要な対応	若者の結婚希望をかなえるため、出会いの場、きっかけを提供する。出会いの場については、商店街との協働で実施する街コンなど、企画運営を行う。 ・出会いの場の提供 ・婚活パーティーの実施、街コンの開催（歩いて行けるお店）							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				成婚定住者数　10組
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27進捗度				・出会いの場の提供 ・婚活パーティーの実施、街コンの開催（歩いて行けるお店）
H28進捗度	66.7%			
H29進捗度				
H30進捗度				
H31進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・婚活パーティーの実施 ・出会いサポートセンターの活用 ・大人大学講座の開講	
	H28	・婚活パーティーの実施 ・出会いサポートセンターの活用 ・大人大学講座の開講 ・大人クラブの新設	・サイクリングプログラムを活用した婚活イベントの検討 ・30歳の大同窓会の実施（赤い糸パーティー）

	H29		・婚活パーティーの実施 ・出会いサポートセンターの活用 ・大人大学講座の開講 ・大人クラブ活動の支援	
	H30			
	H31			
説明	H28…婚活パーティーの実施、出会いサポートセンターの活用、大人大学の講座、大人クラブに取り組んだが、30歳の大同窓会に同時開催を予定した赤い糸パーティーやサイクリングを活用した婚活イベントの検討が未実施となっているため66.6%とした。（4項目÷6項目＝66.6%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
実施準備			→	→																
大人クラブ設立																				
実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
婚活パーティー																				
大人大学																				
高校生会																				
成人式実行委員会																				
大人クラブ																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容］ ・婚活パーティーの実施 ・出会いサポートセンター活用 ・大人大学「男子力・女子力アップ講座」の開講 ・成人式実行委員会活動の拡充 ・高校生会の復活 ［結果］ ・婚活パーティー 2回・93人参加・成立14組 ・カップリングパーティ	―	・参加者の確保 ・成婚定住者の増加	

		(11/21…参加 37 人・成立 4 組) ・本市×桜川市婚活バスツアー(板橋区との連携含む)(2/20…参加 56 人・成立 10 組) ・マリッジサポーター(登録総数 11 人) ・男子力・女子力アップ講座 6/19…13・7/17…14・8/21…11・9/18…13 ・成人式実行委員会活動の拡充・会員数…12 人 ・高校生会の復活・会員数…9 人(H28 度初め)			
平成２８年度	・サイクリングプログラムを活用した婚活イベントの検討 ・赤い糸パーティーの実施 ３０代の本市出身者を対象に取材、赤い糸パーティーのパンフレット企画、印刷送付、企画会社協働によるパーティー企画運営、参加者カルテの作成 ・大人クラブの新設及び高校生会、成人式実行委員会活動の拡充 大人大学受講生を中心に昔の青年会的組織「大人クラブ」を新設する。あわせて、高校生会、成人式実行委員会の活動も拡充し、高校生会が終わったら成人式実行委員会へ入会、成人式実行委員会が終わったら大人クラブへ入会。との流れを作り、地元に残ってもらう若者を増やす。大人クラブ…12 人・高校生会…9 人・成人式実行委員会…現在募集中)	[内容] ・婚活パーティーの実施 ・出会いサポートセンターの活用 ・マリッジサポーター登録 ・「30 歳の大同窓会」の実施/対象者…450 人 ・大人大学の開講 「簡単サクサクお手軽ライフ講座」 「ズバリなっとく稲吉神立学講座」 ・大人クラブの設置 ・成人式実行委員会活動の拡充 ・高校生会活動の拡充 [結果] ・婚活パーティー 7/30　参加者 19 名・成立…3 組 11/26　参加者 26 名・成立…3 組 2/8　参加者 39 名・成立…4 組 ・出会いサポートセンターの活用 ・マリッジサポーター登録(13 名) ・大人大学 「簡単サクサクお手軽ライフ講座」 ①ナチュラルお掃除教室…　６人 ②簡単アウトドア教室…　８人 ③プロに教わるゴルフ教室…７人 ④新感覚 NIGHT 果樹狩り…　13 人 「ズバリなっとく稲吉神立学講座」 ①居酒屋から眺める稲吉神立学…８人	0.0%	・婚活パーティー参加者の確保 ・婚活パーティー開催場所の検討 ・参加者の確保が重要 ・成婚定住者の増加 ・実行委員の確保 ・参加者の確保 ・準備事務の実施 ・現段階の大人大学の一番の目的はとりあえず若者を集めることであるため、成果が上がったと考えるが、講座の内容は担当者が一人で企画してきたため、内容が若干偏っていたように感じる。 ・28 年度設立した大人クラブの目標であった会の安定化、会員の定着に向けて	・婚活パーティーの実施 参加人数の確保をするためには、役所内施策とのタイアップや近隣市町村との連携を検討していく。 ・大人大学講座の企画については担当者だけでなく、担当係で協議、検討する。 ・大人クラブとして、イベントや催しへの参加や自主企画などにも取り組んでもらえるよう働きかけていく。 ・高校生会、成人式、大人クラブが連携できるような機会を作る。

		②電器屋から眺める稲吉神立学…６人 ③レストランから眺める稲吉神立学…７人 ④農家から眺める稲吉神立学…６人 ・大人クラブ 5／27 設立総会（会員 13 人） 6／26 会員交歓会　６人 7／21 企画会議　４人 10／23 企画会議　２人 10／28 大人大学へ参加　３人 12／5 企画会議　４人 12／30 イベント企画 「餅つき＆そば打ちパーティー」 ５人＋一般 10 人 1／12 企画会議　４人 1／20 大人大学へ参加　３人 2／8 企画会議　３人 2／19 イベント企画 「かすみキッチン＆いちご狩り」 ４人＋一般６人 2／24 大人大学参加　２人 3／9 企画会議　３人 3／18 イベント企画 「ヨナカツでタイムスリップ」 ３人＋一般１人 ・成人式実行委員会…8/20 設立 会議を重ね、成人式の運営、記念品の選択、オープニングアクトの企画運営を行った。また、前年度の成人式実行委員が高校生会と一緒にふれあい生涯学習フェアのボランティアスタッフとして活動した。 ・高校生会 子ども会事業や、ふれあい生涯学習		事業展開し、成果は上がったと考えるが、今後は、クラブ内でただ楽しむだけでなく、クラブ外へアピールするような地域活動にも取り組んでほしい。 ・成人式実行委員会が成人式が終わったら解散ではなく、その後も活躍できるようなシステムづくりが必要。	

		フェア、子育てひろば、文化財一斉公開など、各種事業等への協力。			
平成２９年度	・婚活パーティーの実施 婚活事業…3 回実施予定 通常開催及び役所内連携、土浦市との連携を図り婚活事業を計画する。 ・カップル成立記念品 お食事券　⇒かすみキッチン・ボンジュール等 一人　1,500 円×10 組 ・大人大学の開講 ・大人クラブ、高校生会、成人式実行委員会 それぞれの活動内容の拡充を図ると同時に、これらの若者向け組織の連携を進め、中学生ジュニアリーダー⇒高校生会⇒成人式実行委員会⇒大人クラブの流れを作り、最終的には地域に残る、若しくは戻る若者を増やしたい。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	3-1-2							3-1-2
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	結婚・子育て支援の充実		調査・研究					
施策名	**成婚定住者への助成**		検討					
施策推進部署	秘書広聴課		実施					
関連部署	政策経営課		評価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。							
必要な対応	婚活パーティー等をきっかけに成婚し、市内に居住することになった者に対して、結婚祝い金を支給する。 ・成婚へのお祝金（新築および空き家バンク等による定住）							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				成婚定住者数10組(再掲)
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27進捗度				・成婚へのお祝金（新築および空き家バンク等による定住）
H28進捗度	50.0%			
H29進捗度				
H30進捗度				
H31進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27		
	H28	・成婚・定住のお祝金制度の創設	・定住・Ｕターンの生活相談支援体制・助成事業の検討
	H29		・成婚定住奨励金制度のＰＲ
	H30		
	H31		

説明	H28…成婚定住の御祝金制度の創設に取り組んだが、定住・Ｕターンの生活相談支援体制・助成事業の検討が未実施となっているため50.0%とした。（1項目÷2項目＝50.0%）

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
実施準備							→													
要綱制定																				
実施							→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
成婚定住奨励金																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			―		
平成２８年度	・定住・Ｕターンの生活相談支援体制・助成事業の検討 ・成婚・定住のお祝金制度の検討	[内容] ・成婚定住奨励金要綱の制定 [結果] ・要綱制定 10 月 31 日、同日施行 0 件	0.0%		
平成２９年度	・成婚定住奨励金制度 ・結婚支援事業でのＰＲ				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	3-1-3							3-1-3
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	結婚・子育て支援の充実		調査・研究					
施策名	**妊婦等への助成**		検討					
施策推進部署	健康づくり増進課		実施					
関連部署			評価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。							
必要な対応	妊婦の経済的負担や不安を軽減するため、通院費用を助成する。また、高額な費用を要する不妊治療に係る助成の充実を図り、出産に対する希望をかなえる。 ・妊婦への助成 ・不妊治療への助成の拡充							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				満足度・住みやすさ 50%
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・妊婦への助成 ・不妊治療への助成の拡充
H28 進捗度		100.0%		
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・不妊治療への助成	
	H28	・不妊治療への助成制度の拡充 ・妊婦の不安を軽減するため、通院にかかる費用(タクシーなど)助成制度の検討	
	H29		・不妊治療助成制度の実施
	H30		
	H31		

説明	H28…取り組み項目を実施しているため 100.0%とした。	

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究							→	→												
不妊治療拡充																				
タクシー助成																				
検討							→	→												
不妊治療拡充																				
タクシー助成																				
実施準備							→	→												
不妊治療拡充																				
実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
不妊治療助成																				
不妊治療拡充																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		[内容] ・不妊治療助成 [結果] ・助成者数 25 人(延 36 件) 実績(妊娠)9 人	—	・対象治療の拡充	
平成２８年度	・不妊治療に対しての助成拡充、茨城県の戦略においても不妊治療費助成事業については記載しているため、それらを踏まえた拡充策を検討。 ・妊婦の不安を軽減するため、通院にかかる費用(タクシーなど)助成制度についても検討する。	[内容] ・不妊治療拡充検討 （男性不妊、不育治療） ・タクシー助成検討 [結果] ・助成者数 23 人(延 37 件) 実績(妊娠)8 人 ・市内の移動は自家用車が主要な移動手段となっている状況にあり、タクシーなど助成制度の利用見込み者は少ないものと思われる。	0.0%	・対象治療の拡充	

平成２９年度	・不妊治療の助成実施				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	3-1-4							3-1-4
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	結婚・子育て支援の充実		調査・研究					
施策名	**子育て支援の充実**		検討					
施策推進部署	子ども家庭課		実施					
関連部署	政策経営課　健康づくり増進課　都市整備課　生涯学習課		評価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。							
必要な対応	子育て時期の経済的負担を軽減するため、支援の充実に向けたポイント制導入の仕組みづくりを進める。また、保育所の入所制度を見直すなど、母親の職場復帰を円滑にできるようにする。 ・ポイント制の導入等（転入ポイント・結婚ポイント・出産ポイント） ・保育所の入所予約制導入に向けた検討 仕事と子育ての両立を円滑に行えるよう、出産や子育てに対する就業環境の改善、支援制度の充実、及びそれを実践している企業を広くＰＲするとともに、その取組みに対する支援を行う。 ・子育て奨励企業への補助（育児休暇取得推奨等） ・育児休業時の助成 ・育児中の短時間就労等 親子が気軽に集うことができる交流の場、既存施設の利用促進（条件緩和等）、アスレチックなどのある公園を整備する。また、子育てに関する不安解消に向け、子育て世帯の交流促進に努め、その活動支援を行う。 ・公園や図書館等の環境の充実整備 ・子育て相談窓口の充実（ワンストップ化、情報発信強化） ・ママ友の集える場所づくり ・子育て世代の交流促進（活動支援） ・やまゆり館の利用促進（利用時間の延長、対象年齢の緩和等）							

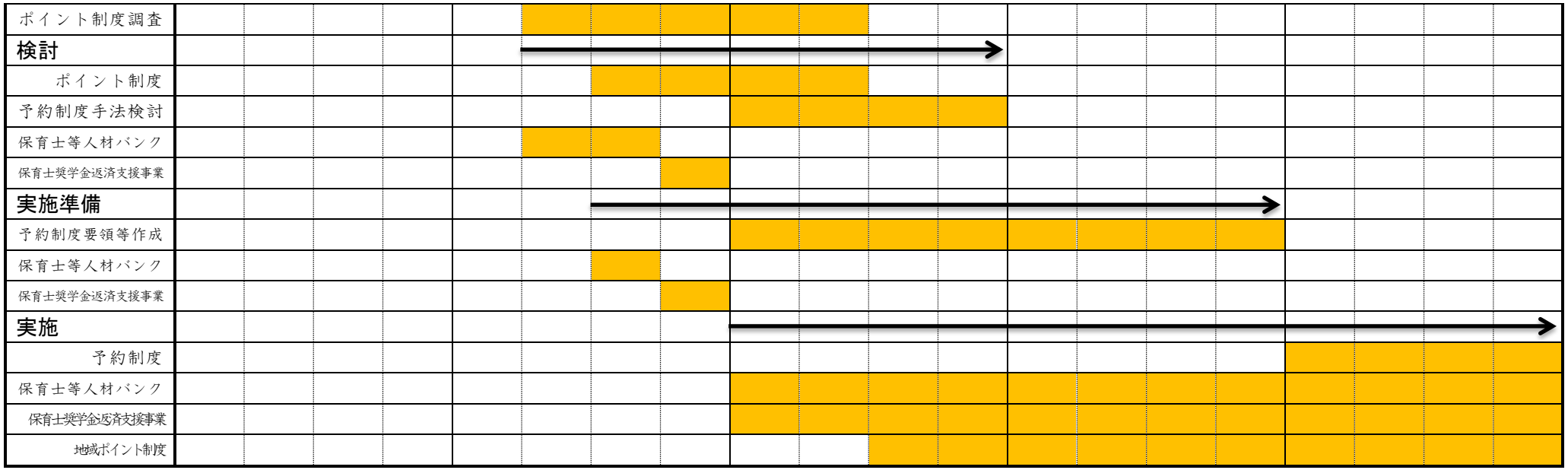
項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				満足度・住みやすさ 50%（再掲） 都市公園設置に向けた取組み 進捗率0%⇒50% ※進捗率50%（方向性・取
年度				
結果				
達成度説明				

		り組みの検討）

項目	25% 50% 75%	必要な対応
H27 進捗度		・ポイント制の導入等（転入ポイント・結婚ポイント・出産ポイント） ・保育所の入所予約制導入に向けた検討 ・子育て奨励企業への補助（育児休暇取得推奨等） ・育児休業時の助成 ・育児中の短時間就労等 ・公園や図書館等の環境の充実整備 ・子育て相談窓口の充実（ワンストップ化、情報発信強化） ・ママ友の集える場所づくり ・子育て世代の交流促進（活動支援） ・やまゆり館の利用促進（利用時間の延長、対象年齢の緩和等）
H28 進捗度	62.5%	
H29 進捗度		
H30 進捗度		
H31 進捗度		

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・家庭教育学級、子育て広場の実施 ・保護者のネットワークづくり支援 ・子育て相談窓口の充実	
	H28	・ポイント制度導入先進事例調査 ・ポイント制度導入に向けた検討 ・家庭教育学級、子育て広場の実施 ・保育士等人材バンク制度の検討及び実施 ・保育士奨学金返済支援事業補助制度の検討及び実施準備	・企業と連携した制度充実に向けた取り組み ・公園及び図書館設置の調査研究 ・子育て支援センターの設置検討
	H29		・総合的なポイント制度の導入 ・国の動向（予約体制への補助）を注視しながら、保育所予約制度実施方法の検討。 ・子育て支援センターの設置検討 ・保育士等人材バンク制度実施 ・保育士奨学金返済支援事業補助制度実施 ・家庭教育学級、子育て広場の実施
	H30		
	H31		
説明	H28…ポイント制度導入先進事例調査検討等に取り組んだが、企業と連携した制度充実に向けた取り組み等が未実施となっているため 62.5%とした。（5 項目÷8 項目＝62.5%）	

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究						→	→	→	→	→	→									



年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容］ ・子育て相談窓口の充実 （情報発信強化） ・保護者のネットワーク作りの支援 （子育ての悩みなど、相談できる保護者どおしのネットワーク作りを支援するため、小・中学１年生保護者を対象に「家庭教育学級」を、就学前の幼児の保護者を対象に「子育てひろば」を実施。） ・家庭教育学級（市内小中学校に委託し、１校年３～10 回程度実施。） ・保護者のネットワーク作りの支援 （子育ての悩みなど、相談できる保護者どおしのネットワーク作りを支援するため、小・中学１年生保護者を対象に「家庭教育学級」を、就学前の幼	―	・アプリ活用の周知、利用者の増加	

		児の保護者を対象に「子育てひろば」を実施。） ・家庭教育学級（市内小中学校に委託し、1校年3～10回程度実施。） ［結果］ ・子育て支援アプリの開発 ・子育てひろば…年7回実施 参加者延べ人数…942人 ・家庭教育学級 参加者延べ人数…4,024人			
平成２８年度	・成婚・出産・育児の節目におけるポイント制導入に向けた検討。（ポイントを利用し、入学時用意品の購入に充てるなど） ・企業と連携し、育児休業や子育て中の方に対する制度充実に向けた取組みを行う。 ・やまゆり館で実施している子育て拠点事業のような取り組みを、霞ヶ浦地区でも実施可能か検討する。また、保育所で既に実施している拠点事業を含めた事業の情報発信を行う。 ・市街化区域における公園や図書館の設置に向けた調査研究。 ・保育所の予約制度導入に向けた調査検討。 ・切れ目のない支援を目的とした窓口の一本化【（仮）子育て支援センターの設置検討等。】	【内容】 ・ポイント制度の導入 子育て支援として、乳児期における先進事例の調査。 ・保護者のネットワーク作りの支援 （子育ての悩みなど、相談できる保護者どおしのネットワーク作りを支援するため、小・中学１年生保護者を対象に「家庭教育学級」を、就学前の幼児の保護者を対象に「子育てひろば」を実施。） ［結果］ ・子育てひろば…年８回実施 参加者延べ人数…863人 ・家庭教育学級 参加者延べ人数…3,416人 ・保育士等人材バンク制度実施の検討、要綱制定…H28.11.30設置 登録者…1人 ・保育士奨学金返済支援事業補助制度のH29年度実施に向けた検討・要綱制定	0.0%	・ポイント制度の導入 結婚・出産・育児の一連の流れに沿った総合的なポイント制度の検討。 ・保育所予約制度 閉所予定のさくら保育所からの転所児童への影響（H30年度まで） ・子育て広場 子育てネットワーカーから、おしゃべりタイムを入れたことで、流れが停滞する旨の意見があったが今後も継続する。	・関連部署と連携をしながらポイント導入制度を検討していく。 ・予約制度に伴う他の入所希望者への待機等の影響を考慮に入れて引き続き実施方法について検討を行う。 ・子育て広場 おしゃべりタイムを継続 ・家庭教育学級 人権教育を継続
平成２９年度	・総合的なポイント制度の導入。 ・国の動向（予約体制への補助）を注視しながら、保育所予約制度実施方法の検討。				

	・切れ目のない支援を目的とした窓口の一本化【(仮)子育て支援センターの設置検討等。】 ・保育士等人材バンク制度を実施し、保育園等での就労を希望する保育士等を支援することで保育人材の確保を図る。 ・保育士奨学金返済支援事業補助制度を実施し、保育園等への就職後の経済支援や保育人材確保・離職防止を図る。 ・子育て広場 ・家庭教育学級				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	3-2-1		3-2-1
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	年度別計画	
施策	教育環境の充実	調査・研究	
施策名	**特色ある教育の実施**	検討	
施策推進部署	政策経営課	実施	
関連部署	学校教育課　生涯学習課	評価	
現在の課題	転出者が多い状況の理由の一つに、「学力が高く教育の充実している自治体に魅力度が高い」ことが挙げられている。		
必要な対応	本市の特性を活かした学習・教育プログラムを展開し、子どもの個性を伸ばし、将来の本市の発展に寄与する人材を育成する。特に、英語や理数科に対する興味・関心を高めるための体験･実験授業の充実、地元産業との協働によるキャリア教育などを展開する。 ・英語教育、理数教育等の充実 ・地元産業との連携によるキャリア教育（就労体験）		

年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
調査・研究					
検討					
実施					
評価					

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				6～23 歳人口割合 16.8%の維持 ※平成 27 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳より算出
年度				
結果				
達成度説明	H28…7,153 人÷42,761 人＝16.7%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・英語教育、理数教育等の充実 ・地元産業との連携によるキャリア教育(就労体験)
H28 進捗度	71.4%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・子ども大学の開講 ・放課後や土曜日の学習支援	
	H28	・子ども大学の開講 ・放課後や土曜日の学習支援 ・英会話広場への支援 ・ジオパークを活用した教育の実施 ・子どもミライプロジェクト【再掲】	・特色ある教育プログラムの構築に向けた調査研究 ・学習支援ボランティアの検討

	H29		・特色ある教育プログラムの構築に向けた調査研究 ・子ども大学の開講 ・放課後や土曜日の学習支援 ・英会話広場への支援 ・学習支援ボランティアの検討 ・ジオパークを活用した教育の実施 ・子どもミライプロジェクト【再掲】 ・小中連携推進のため、小学校への英語の乗り入れ授業の実施	
	H30			
	H31			
説明	H28…子ども大学の開講等に取り組んだが、特色ある教育プログラムの構築に向けた調査研究等が未実施となっているため 71.4%とした。（5 項目÷7 項目＝71.4%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
指導要領の見直し																				
特色づくりの研究																				
検討																				
ジオパーク教育																				
学習環境の充実																				
子どもﾐﾗｲ出前授業																				
子どもﾐﾗｲﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ																				
子どもﾐﾗｲﾏﾙｼｪ																				
実施																				
子ども大学																				
各種学習支援																				
子どもﾐﾗｲ出前授業																				
子どもﾐﾗｲﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ																				
子どもﾐﾗｲﾏﾙｼｪ																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題	(Action)　改善等

平成２７年度		［内容］ ・子ども大学の開講 （大学教授など、様々な分野の専門家の話を聞いたり、体験活動をしたり、自ら考えたりしながら、今まで知らなかった新しい世界を学んでいく。これら、多様な知識との出会いは、知的好奇心や学問への興味を高めるきっかけとなり、子どもたちの未来を育み、将来の可能性を広げる。） ・放課後や土曜日の学習支援 （地域の子どもは地域で育てるの観点から、地域のボランティア団体（下稲吉中学区三校連支援ボランティア）と連携し、地域の子どもたちの学習支援に取り組んだ。） ［結果］ ・子ども大学の開講 前期講座４回 6/20…39 人・7/19…32 人 8/1…36 人・8/19…37 人 後期講座４回 11/21…45 人・12/19…46 人 1/31…42 人・3/5…42 人 ・放課後の学習支援 年 57 回・延べ参加人数…1,293 人 ・土曜日の学習支援 年 50 回・延べ参加人数…816 人 ・	—	・特色あるプログラムの実現	
平成２８年度	・特色ある教育プログラムの構築に向けた調査研究 ・三校連（下稲吉中・下稲吉小・下稲吉東小）で実施している、放課後・土曜日学習支援については、地区公民館事業に取り上げ、市民協働で事	［内容］ ・子ども大学の開講 ・放課後や土曜日の学習支援 （いなよし学習広場） 現在、ほかの中学校区でも同様の活動	0.0%	・わかりやすい映像作成 ・地域性を考慮した講師の割り振り ・詳細な意見の把握	・子ども大学 聴講生制度は継続。 ・土曜日の学習支援 霞ヶ浦中学区では下稲吉中学区三

	業を支援する。 ・子ども大学の開講(内容の充実) ・英会話広場への支援 (単なる英語の学習ではなく、自由な英会話という切り口で、なかよしスポーツクラブが新たに取り組む「英会話広場」を支援(委託)する。) ・学習支援ボランティアの検討。 ・子どもミライプロジェクト【再掲】 ・郷土愛の醸成や地域資源の発見のために出前授業などでジオパークを活用	ができるよう準備を進めている。 [結果] ・子ども大学の開講 前期講座４回 6/25…35 人・7/9…34 人 8/6…27 人・9/10…30 人 後期講座４回 11/12…33 人・12/10…37 人 2/11…37 人・3/11…39 人 ＊空きがある場合は市外の小学生も受講できる聴講生制度を設けた。 ・放課後の学習支援(下稲吉中)－ 年 53 日間・延べ参加人数…1,339 人 ・土曜日の学習支援(いなよし学習広場) 年 46 日間・延べ参加人数…1,006 人 ・子どもミライ出前授業の実施		・子ども大学 28 年度前期は前年度後期よりも参加人数が減ったため、その対策として市外の小学生も受講できる聴講生制度を設けた。市外の子どもたちと一緒に学ぶことで、市内の子どもたちにも良い刺激になっていると考える。 ・土曜日の学習支援 霞ヶ浦中学区でも下稲吉中学区三校連方式（新たに組織を立ち上げで実施）による事業化を目指したが、かなわなかった。	校連方式ではない新たな切り口の事業化を目指す。
平成２９年度	・特色ある教育プログラムの構築に向けた調査研究 ・三校連(下稲吉中・下稲吉小・下稲吉東小)で実施している、放課後・土曜日学習支援については、地区公民館事業に取り上げ、市民協働で事業を支援する。 ・放課後の学習支援・土曜日の学習支援 新たな方式での下稲吉中学校区以外での事業展開を目指す。 ・子ども大学の開講(内容の充実) ・英会話広場への支援				

	・学習支援ボランティアの検討。 ・子どもミライプロジェクト【再掲】 ・ジオパークを活用し郷土愛の醸成や地域資源の発見する教育を実施（指導要綱等に位置づけ） ・小中連携を推進するため、英語の非常勤講師を市内３中学校に配置し、中学校区の小学校において、１クラス週１時間、英語の学習を指導する。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	3-2-2							3-2-2
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	教育環境の充実		調査・研究					
施策名	**学費負担の軽減**		検討					
施策推進部署	政策経営課		実施					
関連部署	学校教育課		評価					
現在の課題	少子化の原因の一つに「子育てにお金がかかる」といった経済的な不安が挙げられている。							
必要な対応	子育て時期の経済的負担を軽減するため、本市独自の奨学金等の制度づくりを行う。また、子どもたちの学習意欲を高めるよう学習施設等の充実を図る。 ・奨学金制度の仕組みづくり ・学習施設や環境の確保・充実							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				6～23 歳人口割合 16.8%の維持 ※平成 27 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳より算出
年度				
結果				
達成度説明	H28…7,153 人÷42,761 人＝16.7%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・奨学金制度の仕組みづくり ・学習施設や環境の確保・充実
H28 進捗度	50.0%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27		
	H28	・本市独自の奨学金制度の仕組みを検討	・学習環境の公的施設等活用の検討
	H29		・本市独自の奨学金制度の仕組みを検討 ・既存施設をイノベーションした活用を検討
	H30		
	H31		
説明	H28…本市独自の奨学金制度の仕組みを検討したが、学習できる環境をつくるため、公的施設等の活用の検討が未実		

	施となっているため 66.7%とした。（1 項目÷2 項目＝50.0%）	

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
奨学金制度																				
学習施設																				
検討																				
奨学金制度																				
学習施設																				
実施準備																				
学習施設実証実験																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			―		
平成２８年度	・本市独自の奨学金制度の仕組みを検討 ・学習できる環境をつくるため、公的施設等の活用の検討。	［内容］ ・奨学金制度について調査研究中であるが、当面は企業からの「ふるさと納税」の創設なども含めた仕組みづくりの検討を継続する。 ・FM との関係性を整理して、公的施設の有効活用を検討する。 ［結果］ ・奨学金制度創設案及び奨学金運用シミュレーション案を作成した。運用を開始するためには、事業のスクラップアンドビルドを検討する。	0.0%		
平成２９年度	・本市独自の奨学金制度の仕組み及び運営主体を検討 ・学習環境の充実を図るため既存施設をイノベーションした活用について検討する。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	3-2-3							3-2-3
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	教育環境の充実		調査・研究					
施策名	**非行防止と健全育成の推進**		検討					
施策推進部署	生涯学習課		実施					
関連部署	防災安全担当　学校教育課		評価					
現在の課題	学力が高く、教育の充実している自治体に対する魅力度が高いため、転出者が多い状況である。また、子育てにお金がかかるといった経済的な不安から少子化となっている。							
必要な対応	青少年の非行防止と健全育成を推進するため、各種団体と連携しスポーツの推進を図る。また、地域住民の協力のもと、地域でのパトロールなど青少年育成活動を積極的に行う。また、地域の子どもは地域で育てるという観点に基づき、学校、家庭、地域の連携協力により、市民総ぐるみでの青少年の健全育成に取り組んでいく。 ・スポーツクラブの充実 ・地域住民の協力によるパトロールの強化 ・地域連携による学力の向上 ・家庭（保護者）の教育力の向上 ・安心安全な子供たちの居場所づくり ・各種体験活動を通しての青少年健全育成 ・青少年健全育成団体の支援及び連携							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				地域見守り隊 3 団体
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・スポーツクラブの充実 ・地域住民の協力によるパトロールの強化
H28 進捗度	80.0%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				
進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定	

	H27	・スポーツ少年団の活動支援 ・土曜日・放課後の学習支援及び体験教室 ・子ども大学の開講 ・家庭の教育力充実事業 ・青少年育成霞ヶ浦市民会議各種事業の実施 ・市子ども会育成連合会活動の支援 ・青少年相談員活動の支援（パトロール、啓発活動）		
	H28	・スポーツ少年団の活動支援 ・土曜日・放課後の学習支援及び体験教室 ・子ども大学の開講 ・家庭の教育力充実事業 ・青少年育成霞ヶ浦市民会議各種事業の実施 ・市子ども会育成連合会活動の支援 ・青少年相談員活動の支援（パトロール、啓発活動） ・自主防犯活動組織等防犯装備の貸与	・青少年の非行防止と健全育成推進施策の検討 ・各種団体との連携及び施策の検討	
	H29		・スポーツ少年団の活動支援 ・土曜日・放課後の学習支援及び体験教室 ・子ども大学の開講 ・家庭の教育力充実事業 ・青少年育成霞ヶ浦市民会議各種事業の実施 ・市子ども会育成連合会活動の支援 ・青少年相談員活動の支援（パトロール、啓発活動）	
	H30			
	H31			
説明	H28…スポーツ少年団の活動支援等に取り組んでいるが、青少年の非行防止と健全育成推進施策の検討、各種団体との連携及び施策の検討未実施となっているため 80.0%とした。（8 項目÷10 項目＝80.0%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
実施準備																				
学習支援体制の確立																				
実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
スポーツ年団の活動支援																				
各種青少年健全育成活動																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容・結果］ ・土曜日・放課後の学習支援及び体験教室 ①下中学区三校連支援ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱに委託 放課後学習支援（下中）⇒57 回延 1,294 人 土曜日学習支援⇒50 回　延 816 人 放課後の体験教室（下東小）⇒10 回 186 人 ②新治小　生涯学習課直営 放課後の体験教室⇒9 回 241 人 ・子ども大学の開講⇒8 回開講　327 人 ・家庭の教育力充実事業 ①家庭教育学級の開講 ⇒全小中学校委託・講演会等各種講座開講 ②子育てひろばの開講 ⇒各種体験教室実施・年 8 回延 924 人参加 ・青少年育成霞ヶ浦市民会議各種事業の実施 ①ウィークエンドコミュニティスクール ⇒各種体験教室を開講・5 回延 261 人 ②中学生の主張大会⇒7/26 開催 ③青少年心身健全育成事業（ジュニア和太鼓講座）⇒7 回　延 113 人 ④立志式及び成人式への助成 ⑤その他青少年健全各種事業への助成 ・市子ども会育成連合会活動支援 ⇒親子釣り大会など　延 454 人参加 ・市スポーツ少年団活動の支援 ⇒10 種目、28 チーム、 指導員 186 人、団員 677 人 ・青少年相談員活動の支援⇒相談員数 40 人 巡回指導、店舗訪問　22 回 あいさつ声かけ　　延 6 校 警察との連絡協議会　3 回 ⇒イベントでの啓発･巡回指導など	―	・各種団体との連携	
平成２８年度	・青少年の非行防止と健全育成推進施策の検討。 ・各種団体との連携及び施策の検討。 ・青少年健全育成団体と連携し、ウィークエンド	［内容・結果］ ・土曜日・放課後の学習支援及び体験教室 ①下中学区三校連支援ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱに委託	0.0%		・ウィークエンドコミュニティスクールは今後も各種団体との連携で事業展開していく。

	コミュニティスクールの回数の増と内容の拡充に努める。	放課後の学習支援（下中）⇒申込者数45人 土曜日の学習支援⇒申込者数 38 人 放課後の体験教室（下東小）⇒申込者数25人 ・子ども大学の開講⇒前期終了 4 回延 126 人 ・家庭の教育力充実事業 ①家庭教育学級の開講 ⇒全小中学校委託・講演会等各種講座開講 延べ参加人数…3,416 人 ②子育てひろばの開講 ⇒各種体験教室実施・4 回延 528 人 ・青少年育成霞ヶ浦市民会議各種事業の実施 ①ウィークエンドコミュニティスクール ⇒様々な青少年健全育成団体と連携し、家庭や学校では経験できないような各種体験教室を開講 年 11 回開講　延参加人数 607 人 ②中学生の主張大会⇒7/26 開催 発表者 6 人　観衆 104 人 ③青少年心身健全育成事業（ジュニア和太鼓講座）⇒7 回　延 142 人 ふれあい生涯学習フェア、かすみがうら祭りでステージ発表 ④立志式及び成人式への助成 ⑤その他、高校生会など、青少年健全各種事業への助成 ・市子ども会育成連合会活動支援 ⇒親子釣り大会など ・市スポーツ少年団活動の支援 ⇒10 種目、24 チーム、 指導員 163 人、団員 655 人 ・青少年相談員活動の支援⇒相談員数 40 人 ⇒イベントでの啓発・巡回指導など ・自主防犯活動組織等防犯装備の貸与 2 組織（防犯チョッキ 2 着・防犯腕章 2 枚・帽子 17 個・防犯ホイッスル 2 個・防犯合図灯 2 本）			

平成２９年度	・土曜日・放課後の学習支援及び体験教室 ・子ども大学の開講 ・家庭の教育力充実事業 ①家庭教育学級の開講 ②子育てひろばの開講 ・青少年育成霞ヶ浦市民会議各種事業の実施 ①ウィークエンドコミュニティスクール ②中学生の主張大会 ③青少年心身健全育成事業（ジュニア和太鼓講座） ④立志式及び成人式への助成 ⑤高校生会など、青少年健全各種事業への助成 ・市子ども会育成連合会活動の支援 ・市スポーツ少年団活動の支援 ・青少年相談員活動の支援（パトロール、啓発活動） ・自主防犯活動組織等防犯装備の貸与				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-1-1							4-1-1
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	コミュニティの活性化		調査・研究					
施策名	**コミュニティの活動の拠点の確保および拡充**		検討					
施策推進部署	秘書広聴課		実施					
関連部署	生涯学習課		評価					
現在の課題	少子高齢化の進展に伴い、地域の活動が減少しコミュニティの希薄化が懸念されている。							
必要な対応	地域コミュニティ活動を活発化するため、地域内に立地する民間施設等を有効活用できる仕組みづくりを行う。また、その施設活用に対する助成を行う。 ・地域・民間施設の有効活用 ・施設活用時の支援・助成等							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度		145.0%		
年度		58 人		地域のリーダー育成 40 人
結果				
達成度説明	H28…58 人÷40 人＝145.0%			
H27 達成度				
H28 達成度		580.0%		
H29 達成度		58 人		年 10 人
H30 達成度				
H31 達成度				
達成度説明	H28…58 人÷10 人＝580.0%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・地域・民間施設の有効活用 ・施設活用時の支援・助成等
H28 進捗度	33.3%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・市民協働的な活動の推進	

	H28	・市民協働的な活動の推進（まちづくりファンド）	・地域コミュニティ活動の活性化に向け、本市としての新たな方向性の研究 ・講演会の開催	
	H29		・地域コミュニュティ活動の活発化に向け、新たな方向性の研究 ・市民協働的な活動の推進（まちづくりファンド） ・活動団体の連絡協議会の設立に向けて検討	
	H30			
	H31			
説明	H28…市民共同的な活動の推進等に取り組んでいるが、地域コミュニティ活動の活性化に向け、本市としての新たな方向性の研究が未実施となっているため 33.3%とした。（1 項目÷3 項目＝33.3%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
検討																				
連絡協議会設立																				
実施																				
市民協働的活動推進																				
連絡協議会																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容］ ・市民協働的な活動の推進 （まちづくりファンド事業） ［結果］ ・実績０件	―	・事業の周知	
平成２８年度	・近隣市での取組みを参考としつつ、市民活動、地区公民館活動、地域防災等も考慮した総合的なコミュニティとしての体制づくりを目指すなど、地域コミュニティ活動の活性化に向け、本市としての新たな方向性を見出していく。	［内容］ ・市民協働的な活動の推進 （まちづくりファンド事業） ［結果］ ・実績０件 ・1/22　市民活動勉強会　参加者 57 名	145.0%	・事業の周知 ・連絡協議会の設立に向けて検討 ・地区公民館活動とのバランスを取りながら、さらには生涯学習課との調整を	・事業の周知や制度の照会（ＮＰＯ法人への周知）

				図り、検討していく。	
平成２９年度	・近隣市の取組を参考としつつ、市民活動、総合的なコミュニュティとしての体制づくりをめざし活動の活発化に向け、新たな方向性を見出していけるよう推進を図る。 ・市民協働のまちづくりに向けて、事業の推進を図る。（まちづくりファンド事業） ・活動団体の連絡協議会の設立に向けて検討				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-1-2							4-1-2
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	コミュニティの活性化		調査・研究					
施策名	**地縁的コミュニティの活性化**		検討					
施策推進部署	秘書広聴課　生涯学習課		実施					
関連部署			評価					
現在の課題	少子高齢化の進展に伴い、地域の活動が減少しコミュニティの希薄化が懸念されている。							
必要な対応	地域コミュニティ活動を維持継続するため、地域リーダー養成講座等の開催を行うとともに、地域での活動を支援する。 ・社会貢献活動の実施 ・養成（出前）講座等の展開 ・リーダーの育成と確保 ・市民協働的な活動の推進							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度		145.0%		
年度		58 人		地域のリーダー育成 40 人
結果				
達成度説明	H28…58 人÷40 人＝145.0%			
H27 達成度				
H28 達成度		580.0%		
H29 達成度		58 人		年 10 人
H30 達成度				
H31 達成度				
達成度説明	H28…58 人÷10 人＝580.0%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・社会貢献活動の実施 ・養成（出前）講座等の展開 ・リーダーの育成と確保 ・市民協働的な活動の推進
H28 進捗度		100.0%		
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				
進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定	

	H27	・新しい地区公民館の形づくり事業 ・霞ヶ浦地区の各地区公民館施設の統廃合に係る地域説明会の開催 ・市民協働的な活動の推進		
	H28	・区長懇談会の開催 ・地区公民館コミュニティ事業の実施		
	H29		・区長懇談会の開催 ・地区公民館コミュニティ事業の実施	
	H30			
	H31			
説明	H28…取り組み項目を実施しているため 100.0%とした。			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
実施準備		→	→	→																
地区公民館形作り																				
実施					→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
区長懇談会																				
地区公民館活動																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容］ ・新しい地区公民館の形づくり事業 ・霞ヶ浦地区の各地区公民館施設の統廃合に係る地域説明会の開催 ［結果］ ・公民館と協働・ｺﾐｭﾆﾃｨを学ぶ(7/18・22 人) ・地域の課題と財産の洗い出し(8/1・21 人) ・ｺﾐｭﾆﾃｨ推進員の活動を考える(8/22・23 人) ・地区公民館コミュニティ事業計画案の作成(8/27…23・2/13…23) ・地域説明会/参加者…5 日間 5 か所・計 82 人 10/26…18 人(下大津)・10/27…20 人(牛渡)	—	・地域コミュニティ活動の活性化	

		10/28…16人(安飾)・10/29…17人(志士庫第一) 10/30…11人(志士庫第二)			
平成２８年度	・地区公民館コミュニティ事業 　行政が考え、準備したものに市民が参加するという従来の方式ではなく、地域の課題や財産をキーワードに、地区住民代表のコミュニティ推進員が中心になって、市民自らが企画した地域独自の特色あるコミュニティ事業を、市民と行政（中学校区毎の地区公民館）が市民協働の関係で事業展開していく。 　それと同時に、下稲吉中地区については、施設としての地区公民館の位置付けがなされていないことから、既存の公共施設のいずれかを、地区公民館に位置付けるよう準備を進めていく。	［内容・結果］ ・区長懇談会の開催 　市長を交えテーマを設け議論し、市の事業に対し共通認識を図る。 行政とのパイプ役として事業推進を図る。 　11/28　区長懇談会開催 　　テーマ…地方創生について 　　参加者…34名 ［内容・結果］ ・霞ヶ浦中地区公民館 　各支館とも継続慣例的に横並びで実施している事業が多かったが、昨年度からの「下大津の桜まつり」や 28年度の「下大津地区活性化講座」など、目的を明確にした地区の特色あるコミュニティ事業を事務局から投げかけたところ、美並支館で新たに自主的に「新春の集い事業」が、また、次年度安飾地区で地区活性化講座を実施したいとの申し入れがあり、佐賀地区では防災安全室との連携で「防災マップ作り」が実施されるなど、新たな試みが見られるようになった。 ①地区球技大会・6地区(6/12～7/3) 　ソフト52・バレー45チーム総参加者数1,145人 ②地区体育祭【新規事業】10／16開催 　参加者・来場者　1,000人 ③ハイキング 　下大津・10/29福島県檜原湖52人 　美並・10/30静岡県三島市70人 　牛渡・11/6神奈川県江の島77人	145.0%	・地域コミュニティ活動の活性化 ・千代田中地区公民館コミュニティ推進員が意欲をもって事業の計画、推進に取り組み始めたが、任意の団体の活動と委嘱された推進員の活動の違いが理解できていない。 ・下稲吉中地区公民館コミュニティ推進員が意欲をもって取り組んでいる各種事業が確実に実績を上げているが、活動の拠点がないことに対しての不満が出始めている。	・霞ヶ浦中地区公民館の支館で新たな事業が取り組み始めた。スクラップ＆ビルトの時期に来ていると感じるので、公民館役員たちと話し合っていく。 ・千代田中地区公民館 　コミュニティ推進員と職員の役割を明確にする。コミュニティや市民協働に対する職員の理解力を上げていく。 ・下稲吉中地区公民館 　活動拠点が確保できるよう関係部署と協議をしていく。

		佐賀・10/30 東京都皇居 91 人 安飾・11/6 埼玉県長瀞 31 人 志士庫・10/30 福島県五色沼 48 人 ④移動講座 佐賀・8/21 長野県軽井沢 112 人 志士庫・7/17 東京都浅草 68 人 牛渡・2/5 横浜中華街 58 人 安飾・2/19 横浜中華街 29 下大津・2/25 東京都巣鴨 67 人 美並・2/26 東京都庁 79 人 ⑤歩く会 11/12(日)　開催予定 エンデューローコース(歩崎) 文化財一斉公開と同時開催 ⑥下大津地区地域活性化講座【新規】 11/30～3/22（全 5 回） 延べ参加人数 85 人 ⑦下大津の桜まつり（下大津支館） ２９年４月１日開催　300 人参加 ・千代田中地区公民館 ①交流サロン（ちよだ広場） 毎週日・木曜日　千代田公民館 22 回　延 190 人（９月末実績） ②コミュニティ研修会 6/12…36 人・6/26…25 人・9/6…37 人 公民館のあり方など、地域活性化について学び、考える。 ③コミュニティ視察研修会 ７／31・・福島県川俣町　42 人 ８／27・・東京都調布市　17 人 先進地を訪れ、まちづくりについて考える。 ④ハイキング 10／15　群馬県みどり市　38 人 ・下稲吉中地区公民館 ①交流サロン（おしゃべりカフェ）			

		毎週木曜日大塚ふれあいセンター 34 回　延 280 人 ②土曜日の学習支援 毎週土曜日　大塚児童館 22 回　延 486 人（9 月末実績） 地域住民(三校連ボランティア)が地区の小中学生の学習（自習）の支援をする。 ③みんなの夏まつり 8 月 20 日　下稲吉中学校 参加者・来場者　2,000 人 盆踊り、ステージ発表、模擬店など、多くの地域住民が集まる催 ④親子で学ぶ防災教室 1 月 22 日　92 人			
平成２９年度	・区長懇談会の開催 ・地区公民館コミュニティ活動事業の実施				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-2-1							4-2-1
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな拠点の整備		調査・研究					
施策名	**神立駅周辺の開発**		検討					
施策推進部署	都市整備課		実施					
関連部署	政策経営課　農林水産課　農業委員会		評価					
現在の課題	市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている。							
必要な対応	神立駅周辺の整備に併せて良好な住宅市街地の形成に向けた取組みを進める。また、ＵＩＪターン者の移住･定住を促進するため、都市機能の充実を図る。 ・神立駅周辺・停車場線の整備に合わせた土地利用の見直し ・区域の見直しによる住宅用地の確保 ・コンパクトシティの構築等（駅を中心としたもの）							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				用途区域の見直し１箇所 神立駅を中心とした住宅用地面積 5㌶増
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・神立駅周辺・停車場線の整備に合わせた土地利用の見直し ・区域の見直しによる住宅用地の確保 ・コンパクトシティの構築等(駅を中心としたもの)
H28 進捗度	66.7%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・停車場線沿線の用途変更協議	
	H28	・用途区域見直しについて茨城県との協議 ・用途区域見直しの実施時期の検討	・駅前開発に併せ、JR 神立駅を中心としたコンパクトシティに向けた検討
	H29		・都市計画道路神立停車場線沿線の用途区域の見直し及び神立駅西口土地区画整理地内の準防火地区の指定に向けた業務委託

			・都市施設再生調査を行い、都市公園や道路などの今後の整備方針等を検討	
	H30			
	H31			
説明	H28…用途区域見直しについて茨城県との協議、用途区域見直しの実施時期の検討に取り組んだが、コンパクトシティに向けた検討が未実施となっているため 66.7%とした。（2 項目÷3 項目＝66.7%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
実施																				
茨城県協議																				
業務委託																				
用途変更																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容］ ・停車場線から 30 ﾒｰﾄﾙを供用開始時に第 1 種低層住居専用及び第 1 種中高層住居専用区域から第 1 種住居地域への用途変更協議 ［結果］ ・茨城県と協議済み	—	・停車場線沿線のまちづくり（活力創出）	
平成２８年度	・用途区域の見直しを進め、停車場線沿い両側 30 ｍを第 1 種住居区域に変更する。このことで、住宅だけではなく店舗等の建築も可能となる。 ・駅前開発に併せ、JR 神立駅を中心としたコンパクトシティに向けた検討。	［内容］ ・用途区域見直しについて県と協議 ・用途区域見直しの実施時期の検討 ・用途区域見直しの業務委託を予算要求する。 ［結果］ ・県との用途地域見直しの事前協議の結果、市意向に対し、特段意見は無し。 ・用途区域見直し時期は２９年度予定 ・用途地域変更及び準防火地域指定業務委託の平成２９年度予算を確保。	0.0%		

平成２９年度	・都市計画道路神立停車場線沿線の用途区域の見直し及び神立駅西口土地区画整理地内の準防火地区の指定に向けて業務委託を発注。 ・用途区域見直しについて茨城県と継続協議 ・用途地域見直しの公告時期の検討 ・都市施設再生調査を行い、都市公園や道路などの今後の整備方針等を検討				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-2-2		4-2-2
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	
施策	新たな拠点の整備	年度別計画	
施策名	**千代田石岡インターチェンジ周辺等の活用**	年度別計画	
施策推進部署	地方創生・事業推進担当	年度別計画	
関連部署	政策経営課　都市整備課	年度別計画	
現在の課題	市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている。		
必要な対応	高速交通網に近接という利便性を活かした土地の有効活用を推進する ・企業誘致（流通拠点）に向けた土地利用の検討		

年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
調査・研究					
検討					
実施					
評価					

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				拠点整備に向けた取組み進捗率 0%⇒50% ※進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・企業誘致（流通拠点）に向けた土地利用の検討
H28 進捗度		100.0%		
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27		
	H28	・千代田石岡ＩＣ周辺の調査	
	H29		・千代田石岡ＩＣ周辺の意向調査等の実施
	H30		
	H31		
説明	H28…取り組み項目を実施しているため 100.0%とした。		

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究					→	→	→	→	→	→	→	→								
土地状況調査																				
地権者意向調査																				
検討											→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
整備の方向性																				
取組み方法																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			―		
平成２８年度	・千代田石岡インターチェンジ周辺について、流通業の進出を可能としているエリアという点も踏まえ、企業誘致に向けた取組みを進めていく。 ・土地状況の確認、地権者への接触。誘致へのＰＲ。	[内容] ・千代田石岡インターチェンジ周辺調査の実施 [結果] ・土地所有者、状況等の調査実施	0.0%		
平成２９年度	・千代田石岡インターチェンジ周辺の地権者の意向調査の実施 ・意向調査の結果を踏まえ、整備の方向性の検討				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-2-3		4-2-3
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	
施策	新たな拠点の整備	年度別計画	
施策名	**情報発信のための拠点づくり**	年度別計画	
施策推進部署	政策経営課	年度別計画	
関連部署	情報広報課	年度別計画	
現在の課題	市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている。		
必要な対応	茨城空港からの誘客など、国内外からの観光客誘引を目的とした拠点づくりを検討していく。 ・市をＰＲ(情報発信)するための拠点（道の駅、直売所など）づくりの検討		

年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
調査・研究					
検討					
実施					
評価					

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				拠点整備に向けた取組み進捗率 0%⇒50%(再掲) ※進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・市をＰＲ(情報発信)するための拠点（道の駅、直売所など）づくりの検討
H28 進捗度	50.0%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27		
	H28	・国道 6 号線の千代田石岡ＩＣ周辺や国道 354 号線沿いなど、情報発信拠点づくりの調査研究	・市場ニーズ調査の実施
	H29		・市場ニーズ調査の実施 ・ニーズ調査の分析結果を踏まえ、具体的な情報発信拠点づくりについて検討する。
	H30		
	H31		

説明	H28…情報発信拠点づくりの制度等の研究に取り組んだが、市場ニーズ調査が未実施となっているため 50.0%とした。(1 項目÷2 項目＝50.0%)	

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究									→	→										
市場ニーズ調査・分析																				
検討									→	→	→	→								
拠点づくりの検討																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			―		
平成２８年度	・国道 6 号線の千代田石岡インターチェンジ周辺や国道 354 号線沿いなど、情報発信拠点づくりについて調査研究を進めていく。	［内容］ ・情報発信拠点づくりの調査研究・情報の収集を行った。 ［結果］ ・基幹産業である果樹観光の振興地域における誘導案内が不十分であることが課題とされた。	0.0%	・情報収集のみとなっている。事例及びニーズの調査が必要。	・引き続き調査及び検討していく。
平成２９年度	・供給体制の確保が可能か、拠点づくりに関する市場のニーズを調査し分析する。 ・ニーズ調査の分析結果を踏まえ、具体的な情報発信拠点づくりについて検討する。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-2-4							4-2-4
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな拠点の整備		調査・研究					
施策名	**廃校の活用**		検討					
施策推進部署	財産調整担当		実施					
関連部署	政策経営課		評価					
現在の課題	市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている。							
必要な対応	少子化の影響を受け統廃合された学校について、地域住民等との協働により、地域の拠点となる利用方法を検討し、実践する。 ・地域の拠点づくりに向けた用途変更等（売却、賃貸、転用）							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	16.7%			6ヵ所
年度	H28			
結果	1か所			
達成度説明	H28…1か所÷6か所＝16.7%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27進捗度				・地域の拠点づくりに向けた用途変更等（売却、賃貸、転用）
H28進捗度		100.0%		
H29進捗度				
H30進捗度				
H31進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・地域の拠点づくりに向けた用途変更の検討等	
	H28	・廃校活用ニーズ調査の実施 ・公的利用の可能性の整理 ・活用事業者等の公募（５か所）	
	H29		・廃校施設活用の事業化調整（民活４か所・公共１か所） ・公募不調施設の取扱い再検討
	H30		
	H31		

説明	H28…取り組み項目を実施しているため 100.0%とした。	

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究			→	→																
市民ワークショップ																				
事業者公募手法研究																				
検討						→	→	→												
廃校活用ニーズ調査																				
廃校施設見学会																				
実施準備							→	→												
事業者公募・選考																				
実施									→	→	→	→								
事業化調整																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		[内容] ・地域の拠点づくりに向けた用途変更の検討等 [結果] ・公共施設のあり方に関する地域懇談会ワークショップの開催 ・参加者…延べ 169 人 (10/31…60 人・11/22…56 人・12/13…53 人)	—	・地域ニーズとの整合 ・公的利用の可能性の有無 ・老朽度、耐震性 ・利用用途規制等	
平成２８年度	・霞ヶ浦地区の廃校の利活用について方向性を決定する。 廃校活用ニーズ調査の実施 公的利用の可能性の整理 活用事業者等の公募条件整理、公募	[内容] ・廃校活用ニーズ調査として、廃校施設見学会、公募要項の検討、公募等 [結果] ・廃校施設見学会（9/21） 参加者…事業者 16 社、市民 26 人 ・活用事業者の公募 応募状況…4 事業者のべ 7 か所	16.7%	・優先交渉権者の提案事業の具体化 ・公募不調施設 1 か所	・地域コミュニティ拠点等との兼ね合い調整 ・公募不調施設の取扱い再検討

		優先交渉権者の決定…4 か所（3 事業者） ・利用方向決定…1 か所（公的利用）			
平成２９年度	・公的利用施設（旧宍倉小）の基本設計 ・廃校施設活用（優先交渉権者の提案内容）の事業化調整支援 事業内容の具体化協議、地元説明会、契約締結等 ・公募不調施設（旧安飾小）の取扱い再検討 再公募、公的利用等の調整				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-3-1		4-3-1
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	
施策	災害に備えたまちづくり	年度別計画	
施策名	**防災体制の拡充**	年度別計画	
施策推進部署	防災安全担当　消防総務課	年度別計画	
関連部署	政策経営課　生涯学習課	年度別計画	
現在の課題	危機管理の意識を高め、災害に対応した体制の整備など、防災に強いまちづくりが求められている。		
必要な対応	高齢化が進む中、災害に備えた地域力を高める必要があるため、自主防災組織の拡充を図るとともに、民間企業等との連携体制の構築を支援する。そのため、必要となる防災資機材等の購入費や活動費への助成を行う。 ・自主防災組織の拡充 ・民間企業消防協力隊の組織化 ・企業等との連携強化（災害協定など） ・装備への助成（活動支援を含む。）		

年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
調査・研究					
調整・検討					
実施					
評価					

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	15.0%			民間企業消防協力隊 5 団体 自主活動実施団体 20 団体
年度	H27			
結果	6 団体			
達成度説明	H27…6 団体÷20 団体×1/2＝15.0%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・自主防災組織の拡充 ・民間企業消防協力隊の組織化 ・企業等との連携強化（災害協定など） ・装備への助成（活動支援を含む。）
H28 進捗度	83.3%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・自主防災組織の拡充 ・自主防災組織補助金交付 ・防災士育成事業補助金交付 ・災害時応援協定締結	
	H28	・自主防組織の拡充	・民間企業消防協力隊の組織化に向けた検討(組織の

		・自主防災組織補助金交付 ・防災士育成補助金交付 ・災害時応援援助協定 ・企業、団体等と連携した総合防災訓練	役割、連携内容、支援の方法など）	
	H29		・自主防組織の拡充 ・自主防災組織補助金交付 ・防災士育成補助金交付 ・災害時応援援助協定 ・民間企業消防協力隊の組織化	
	H30			
	H31			
説明	H28…自主防組織の拡充、自主防災組織補助金及び防災士育成補助金交付、災害時応援援助協定、企業、団体等と連携した総合防災訓練に取り組んだが、民間企業消防協力隊の組織化に向けた検討が未実施となっているため 83.3%とした。（5 項目÷6 項目＝83.3%）			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
先進地事例調査																				
補助制度調査																				
事前企業調査																				
地域調査																				
検討・準備																				
連係内容																				
組織の役割																				
支援方法																				
実施準備																				
補助金要綱の改正																				
応援協定の拡充																				
実施																				
補助制度構築																				
応援協定締結																				
協力隊設置																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容］ ・自主防災組織の拡充 ・自主防災組織補助金交付 ・防災士育成事業補助金交付 ・災害時応援協定締結 ［結果］ ・自主防災活動研修会(11/30…64 人) ・自主防災組織新規認定…1 団体 （認定総数 6 団体） ・自主防災組織補助交付…3 団体 ・防災士育成補助交付…5 人 ・災害時応援協定締結…4 団体 （総数 20 団体） ・災害時相互応援協定(総数 8 団体)	15.0%	・組織化の促進	
平成２８年度	・自主防災組織の拡充について自治総合センターの助成事業を活用するなど、組織率 UP に向けた取組みを行う。 ・企業と連携した防災訓練の取組み、災害協定の拡充など。 ・消防法に基づいた消防組織の設置とは別に、民間企業消防協力隊の組織化に向けた取組みを検討していく（組織の役割、連携内容、支援の方法など)。	［内容］ ・自主防組織の拡充 ・自主防災組織補助金交付 ・防災士育成補助金交付 ・災害時応援援助協定 ・企業、団体等と連携した総合防災訓練 ［結果］ ・自主防災組織設置のお願い （区長会総会） ・自主防災組織補助交付…4 団体 （認定総数 6 団体） ・防災士育成補助交付…4 人 （資格取得者 44 名） ・災害時応援協定新規締結…1 団体 （総数 21 団体） ・企業、団体等による市総合防災訓練への参加…8 団体（公共団体を除く） ・消防団協力事業所…１５団体	15.0%	・組織化の促進	

		・下稲吉中地区公民館 親子防災教室の開講　92 人参加			
平成２９年度	・自主防災組織の拡充について県の助成事業を活用するなど、組織率 UP に向けた取組みを行う。 ・企業や民間団体と連携した防災訓練の取組み、災害協定の拡充。 ・企業と連携した防災訓練の取組み、災害協定の拡充など。 ・消防法に基づいた消防組織の設置とは別に、民間企業消防協力隊を組織化し、構築する。 ・霞ヶ浦中地区公民館佐賀支館 防災マップ作り事業				
平成３０年度					
平成３１年度					

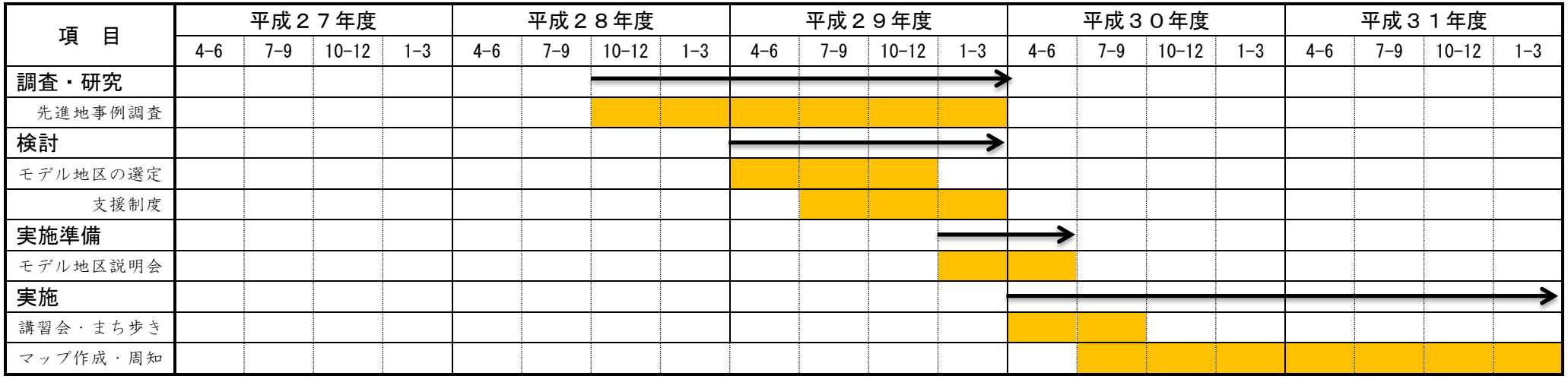
施策コード	4-3-2							4-3-2
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	災害に備えたまちづくり		調査・研究					
施策名	**災害マップづくり（危険個所・災害発生時の避難等）**		検討					
施策推進部署	防災安全担当		実施					
関連部署	消防総務課		評価					
現在の課題	危機管理の意識を高め、災害に対応した体制の整備など、防災に強いまちづくりが求められている。							
必要な対応	安心して住むためには地域の実情を把握することが大切であることから、地域住民による災害危険マップの作成を支援する。 特に狭あい道路や崖地等の物理的な危険な箇所に加え、一人暮らしの高齢者や障害者等の災害時の避難において支援が必要な人を把握し、その対策の検討を促す。 ・地域コミュニティ単位のマップ作り（一人暮らし確認含む。）							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				マップ作成ｺﾐｭﾆﾃｨ 20 団体
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・地域コミュニティ単位のマップ作り（一人暮らし確認含む。）
H28 進捗度	87.5%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27		
	H28	・防災マップ作成経費の検討 ・先進地事例調査 ・自主防災組織との連携 ・モデル地区構築の検討 ・支援制度の検討 ・モデル地区の選定	・作成した地区防災マップの情報共有(HP 等)

		・モデル地区説明会		
	H29		・先進事例調査 ・自主防災組織や防災士との連携 ・モデル地区にて防災マップづくり講座の実施 ・作成した地区防災マップの情報共有(HP 等)	
	H30			
	H31			
説明	H28…先進地事例調査、自主防災組織との連携、モデル地区構築の検討等に取り組んだが、作成した地区防災マップの情報共有(HP 等)が未実施となっているため 87.5%とした。 (7 項目÷8 項目＝87.5%)			



年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			―		
平成２８年度	・各地区において、防災マップの作成に関する経費の助成。 ・作成した地区防災マップの情報共有(HP 等)。	[内容] ・先進地事例調査 ・自主防災組織との連携 ・モデル地区の選定・打診 ・支援制度の検討 [結果] ・佐賀地区を選定	0.0%		

		・茨城県自主防災組織防災講習会等運営費補助事業を活用 ・災害図上訓練資料を県防災士会へ請求			
平成２９年度	・モデル地区にて防災マップづくり講座の実施				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-4-1							4-4-1
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	環境に配慮した暮らしやすい環境づくり		調査・研究					
施策名	**住居の確保(再掲)**		検討					
施策推進部署	政策経営課		実施					
関連部署			評価					
現在の課題	地域に豊かな自然環境を有しているが、それを活かした土地利用をしていない。							
必要な対応	現在実施している空き家バンク制度の助成対象の拡充等を図り、良質な空き家を確保するとともに、情報提供を強化しＵＩＪターンで新たに住居を求める人たちの定住を促進する。また、活用できそうな空き家の掘り起しについて、地域住民との協力体制を構築する。 ・空き家バンク物件修繕補助（現行 20 万円上限）の拡充 ・空き家バンク物件募集（ポスター・チラシ・広告等） ・地域住民の協力による空き家の掘り起こし							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度	20.0%			空き家バンク成約数 20 件
年度	H27			
結果	4 件			
達成度説明	H27…4 件÷20 件＝20.0%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度		100.0%		・空き家バンク物件修繕補助（現行 20 万円上限）の拡充 ・空き家バンク物件募集（ﾎﾟｽﾀｰ、ﾁﾗｼ、広告等） ・地域住民の協力による空き家の掘り起こし
H28 進捗度	60.0%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・空き家バンク物件修繕補助の実施 ・空き家バンク物件募集(納税通知書に同封)	
	H28	・空き家バンク物件修繕補助の実施 ・空き家バンク物件募集(納税通知書に同封) ・ふるさと回帰支援センターとの連携	・空き家バンク物件修繕補助の拡充 ・空き家の掘り起こし
	H29		・空き家バンク物件修繕補助の実施

			・空き家バンク物件募集 ・ふるさと回帰支援センターとの連携 ・空き家等実態調査の実施 ・空き家等対策協議会の設置	
	H30			
	H31			
説明	H27…空き家バンク物件修繕補助(地方創生先行型交付金)及び物件募集に取り組んだため 100.0%とした。 H28…空き家バンク物件募集等に取り組んだが、空き家の掘り起こし等が未実施となっているため 60.0%とした。 (3 項目÷5 項目＝60.0%)			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
危険家屋の調査																				
潜在空き家の分析																				
実施																				
物件募集																				
物件修繕補助																				
ふるさと回帰ｾﾝﾀｰ連携																				
協議会設立																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度	【地方創生先行型交付金活用】 H27 KPI…移住者 5 人・2 世帯	[内容] ・空き家バンク物件修繕補助交付 ・募集チラシの配布(納税通知書同封) [結果] ・成約数 4 件、移住者 7 人(2 世帯)	20.0%	・空き家バンク登録物件の掘り起こし	
平成２８年度	・地元住民の協力を得ながら、空き家情報を把握し、空き家バンク物件登録数を増やす。 また、県外からの転入者を増やすため、ふるさと回帰支援センターとの連携など、首都圏において本市のＰＲを実施していく。 ・リフォーム助成金の拡充の検討。	[内容] ・空き家バンク物件修繕補助交付 ・募集チラシの配布(納税通知書同封) ・社総交を活用して危険家屋の調査を実施する。(予定) [結果]	20.0%		

	・危険家屋の調査などにより空き家の掘り起こしを実施する。	・登録件数…1 件 ・成約件数…0 件			
平成２９年度	・地元住民の協力を得ながら、空き家情報を把握し、空き家バンク物件登録数を増やす。 ・また、県外からの転入者を増やすため、ふるさと回帰支援センターとの連携など、首都圏において本市のＰＲを実施していく。 ・リフォーム助成金の拡充の検討。 ・社総交（1/2）を活用し、市内の空家件数及び戸別ごとの空家状態の把握 ・空き家等実態調査業務委託を実施し、市内の空家を把握する。 ・市の空き家等対策を効果的に推進するため、有識者等による協議会を設置する。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-4-2							4-4-2
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	環境に配慮した暮らしやすい環境づくり		調査・研究					
施策名	**エネルギーの地産地消**		検討					
施策推進部署	政策経営課		実施					
関連部署	地方創生・事業推進担当　環境保全課		評価					
現在の課題	エネルギーの分散化が求められる中、エネルギーの地産地消に向けた取組みから地域のセキュリティを高めるといった観点も必要である。							
必要な対応	バイオマス等の再生可能エネルギーを活用した地域づくりを推進する。 ・再生可能エネルギー活用の啓発							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				再生可能エネルギー施設1か所 実験地域の設定1か所
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・再生可能エネルギー活用の啓発
H28 進捗度	50.0%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27		
	H28	・先進地事例の調査や研究	・専門機関との協議
	H29		・先進地事例の調査や研究 ・レジリエンス機能を踏まえた再エネ活用構想等の策定検討
	H30		
	H31		
説明	H28…先進事例の調査や研究に取り組んだが、専門機関との協議が未実施となっているため50.0%とした。（1項目÷2項目＝50.0%）		

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究																				
勉強会・研修																				
視察																				
検討																				
レジリエンス機能																				
再エネ活用構想																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			―		
平成２８年度	・地域資源を活用した再生可能エネルギーの活用に向けた取組みとして、先進地事例の調査や研究。(生ごみを活用したメタンガスの生成によるバイオマス発電など) ・専門機関との協議。	[内容] ・当面は研修への参加や勉強会の開催などにより、レジリエンス機能を含めた調査研究を継続していく。 [結果] ・先進事例の調査等を実施し、取り入れ実現性などの検討を図った。	0.0%		
平成２９年度	・地域資源を活用した再生可能エネルギーの活用に向けた取組みとして、先進地事例の調査や研究。(生ごみを活用したメタンガスの生成によるバイオマス発電など) ・先進事例等の視察研修の実施。 ・レジリエンス機能を踏まえた再エネ活用構想等の策定を検討。				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-4-3							4-4-3
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	環境に配慮した暮らしやすい環境づくり		調査・研究					
施策名	**田舎暮らしの良さ、自然との触れ合いの場の提供**		検討					
施策推進部署	政策経営課		実施					
関連部署	農業委員会　農林水産課		評価					
現在の課題	地域に豊かな自然環境を有しているが、それを活かした定住促進施策を実施していない。							
必要な対応	スローライフを好む人の移住・定住を促進するため、農地のあっ旋や営農の支援を行う。 ・小型農機具等の購入補助 ・農地あっ旋の拡充							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				補助件数 12 件
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・小型農機具等の購入補助 ・農地あっ旋の拡充
H28 進捗度	66.7%			
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27		
	H28	・空き家バンクとの連携 ・空き家バンク物件募集（納税通知書に同封）	・農地のあっ旋、小型農機等の助成制度を構築
	H29		
	H30		
	H31		
説明	H28…空き家バンクとの連携などに取り組んだが、農機等の助成制度構築が未実施となっているため 66.7%とした。 （2 項目÷3 項目＝66.7%）		

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			―		
平成２８年度	・移住・定住を促進するため、農地のあっ旋、小型農機等の助成制度を構築、また、空き家バンクとの連携により、首都圏を中心に二地域居住も視野に入れた対象者の募集を行う。	【実施】 ・空き家バンク登録制度の周知（納税通知書に同封） ・セミナーの実施（県主体） 【結果】 ・空き家バンク制度の募集及び移住希望者へのセミナーへ参加し募集等に努めた。当日は７名の移住希望者等へ当市のＰＲを行った。	0.0%		
平成２９年度					
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-5-1							4-5-1
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	公共交通ネットワーク等の充実		調査・研究					
施策名	**通学しやすい環境づくり**		検討					
施策推進部署	政策経営課		実施					
関連部署			評価					
現在の課題	多くの世代を通じて、交通に不便を感じている人が多い。							
必要な対応	通学に係る経済的負担や送迎を軽減するため、通学定期券の助成を行い、あわせて公共交通の利用促進を図る。 ・通学定期券の助成(再掲)							

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				6～23 歳人口割合 16.8%の維持(再掲)
年度				
結果				
達成度説明	H28…7,153 人÷42,761 人＝16.7%			

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・通学定期券の助成(再掲)
H28 進捗度		100.0%		
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27		
	H28	・通学定期券助成制度の制度設計	
	H29		・通学定期券助成制度の実施
	H30		
	H31		
説明	H28…取り組み項目を実施しているため 100.0%とした。		

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究					→	→	→													
通学定期助成																				
検討							→													
通学定期助成																				
実施準備								→												
通学定期助成																				
実施									→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
通学定期助成																				

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度			―		
平成２８年度	・学生を対象とした通学定期券の助成制度を創設 (H28 年度に制度設計)	[内容] ・通学定期券の助成制度について調査研究やＪＲ等との協議を経て具体的な制度設計中。 [結果] ・通学定期券助成制度の構築	0.0%	・通学定期券助成制度の運用面での問題点を検討する。	
平成２９年度	・学生を対象とした通学定期券の助成制度の運用開始				
平成３０年度					
平成３１年度					

施策コード	4-5-2		4-5-2
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	年度別計画	
施策	公共交通ネットワーク等の充実	年度別計画	
施策名	**生活利便性の向上**	年度別計画	
施策推進部署	まちづくり計画担当	年度別計画	
関連部署		年度別計画	
現在の課題	多くの世代を通じて、交通に不便を感じている人が多い。		
必要な対応	市内において安心して生活ができるよう、公共交通網の充実を図る。特に駅周辺と集落地域のアクセス強化に取組む。 ・市内の公共交通網の充実（市内循環バスとデマンド型タクシーの運行） ・神立駅のハブ化 ・新規バス路線の設置 ・常磐線特急・快速等の神立駅増便の要望		

年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
調査・研究					
検討					
実施					
評価					

項目	25%	50%	75%	KPI(H31)
達成度				新規バス路線 1路線新設
年度				
結果				
達成度説明				

項目	25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				・市内の公共交通網の充実（市内循環バスとデマンド型タクシーの運行） ・神立駅のハブ化 ・新規バス路線の設置 ・常磐線特急・快速等の神立駅増便の要望
H28 進捗度		100.0%		
H29 進捗度				
H30 進捗度				
H31 進捗度				

進捗状況	年度	取り組み実施	取り組み予定
	H27	・市内公共交通網の充実 ・ＪＲ常磐線神立駅の利便性向上の要望	
	H28	・地域公共交通再編実施計画の策定調査 ・デマンド型タクシーの運行 区域運行（千代田地区・霞ヶ浦地区）	

		・霞ヶ浦広域バス運行事業費補助 ・常磐線ＪＲ神立駅の利便性向上の要望活動		
	H29		・既存バス路線再編の調整 ・神立駅アクセス路線導入の検討 ・デマンド交通再編の調整 ・常磐線ＪＲ神立駅の利便性向上の要望活動	
	H30			
	H31			
説明	H28…取り組み項目(地方創生加速化交付金)を実施しているため 100.0%とした。			

項　目	平成２７年度				平成２８年度				平成２９年度				平成３０年度				平成３１年度			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
調査・研究					→	→	→	→												
再編実施計画策定					■	■	■	■												
検討									→	→	→									
新規バス路線									■	■	■									
乗合タクシー再編									■	■	■									
霞ヶ浦広域バス拡充									■	■	■									
実施準備												→	→	→						
新規バス路線												■	■	■						
乗合タクシー再編												■	■	■						
霞ヶ浦広域バス拡充												■	■	■						
実施															→	→	→	→	→	→
新規バス路線															■	■	■	■	■	■
乗合タクシー再編															■	■	■	■	■	■
霞ヶ浦広域バス拡充															■	■	■	■	■	■

年　度	(Plan)　取組計画	(Do)　実施内容・結果	(Check)　達成度・課題		(Action)　改善等
平成２７年度		［内容］ ・市内公共交通網の充実 ・ＪＲ常磐線神立駅の利便性向上の要望活動 ［結果］	—	・利用者の増加	

		・公共交通網形成計画策定(3/15) ・デマンド型タクシーの運行 延べ 10,061 人 千代田地域…5,380 人 かすみがうら地域…4,681 人 ・常磐線整備促進期成同盟会(常磐線のダイヤ改正等に関する市町村要望) (2/1…東日本旅客鉄道㈱水戸支社) (2/9…東日本旅客鉄道㈱)			
平成２８年度	・地域公共交通再編実施計画の策定 ・神立駅を中心とした公共交通網の再編成を行う。 ・路線網の再編やデマンド交通の見直しなど、地域公共交通ネットワークの再構築を行う。 ・常磐線ＪＲ神立駅　利便性向上の要望活動（特急の停車など）	[内容] ・市内公共交通網の充実 [結果] ・地域公共交通再編実施計画の策定 ・デマンド型タクシーの運行 区域運行（千代田地区・霞ヶ浦地区） ・霞ヶ浦広域バス運行事業費補助	0.0%	・再編事業による市内交通網の改善	・交通事業者との連携強化
平成２９年度	・既存バス路線再編の調整 ・神立駅アクセス路線導入の検討。 ・デマンド交通再編の調整。 ・常磐線ＪＲ神立駅　利便性向上の要望活動（特急の停車など）				
平成３０年度					
平成３１年度					